

大分県の国際交流・協力の現状

令和7年度版
(令和8年度発行)

大分県企画振興部
国際政策課

目 次

○県・市町村の国際化推進の取組	
1 大分県の国際化関連事業（令和7年度）	1
2 市町村の国際化関連事業（令和7年度）	9
○多文化共生社会づくりの状況	
3 在留外国人登録の状況	25
4 留学生の状況	26
5 大分県芸術文化スポーツ振興財団（おおいた国際交流プラザ）の事業	28
6 大分県外国人総合相談センター概要	32
7 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいたの令和7年度事業	33
8 おおいた留学生ビジネスセンター概要	34
○国際交流の状況	
9 姉妹都市・友好都市提携交流、友好交流提携の状況	35
10 教育機関の姉妹校・協定校提携の状況	38
11 語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）の状況	39
12 海外の大分県人会の状況	41
13 大分県海外親善大使、めじろんサポーターの状況	42
14 大分県の地域間交流の状況	
アジア	43
北米	59
中南米	61
欧州	62
大洋州	68
中東	69
アフリカ	69
15 多様な分野での国際交流の状況	
①芸術・文化交流	71
②スポーツ交流	
・日独スポーツ少年団交流事業	74
・高校生日韓スポーツ活動交流事業	74
・大分国際車いすマラソン大会	74
③教育・学術交流等	
・高校生の海外留学等	75
・教職員の海外派遣	77
④青少年交流	
・訪日教育旅行に伴う学校交流等	78
○国際協力・国際貢献の状況	
16 独立行政法人 国際協力機構（JICA）事業の状況	79
○産業・経済交流の状況	
17 貿易の状況	
①輸入	81
②輸出	81
18 産業技術交流の状況	
①海外技術・文化研修員受入事業等	83
②自治体職員協力交流事業	83
③海外派遣事業（農業関係）	84
19 観光の状況	
①外国人宿泊客数の動向	85
②旅券発行・海外渡航	86
〔付属資料〕	
1 国際交流関係機関等	
①国等の国際交流関係機関	89
②県内市町村の国際交流担当課	90
③県内国際交流団体	91
2 日本語教室一覧	101
3 大分県海外戦略	103

県・市町村の 国際化推進の取組

1 大分県の国際化関連事業（令和7年度）

●総務部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
学事・私学振興課 (芸術文化短期大学)	海外語学実習	次のとおり、海外語学実習を実施した。 ・韓国 実施校：釜山外国語大学 参加者：16名 実施期間：令和7年8月7日～22日 ・イギリス 実施校：オックスフォード大学セントヒルダカレッジ 参加者：3名 実施期間：令和7年8月16日～31日（1名） 令和7年8月30日～9月15日（2名） ・フランス 実施校：カヴィラム・アリアンスフランセーズ 実施期間：令和8年2月2日～24日 参加者：2名 ・オーストラリア 実施校：インパクト・イングリッシュ・カレッジ 実施期間：令和8年2月7日～3月16日 参加者：3名 ・中国 実施校等：湖北省・武漢市・江漢大学 実施期間：令和8年3月2日～28日 参加者：3名
	ボリビア・サンアンドレス大学との交流	包括的学術協定校であるボリビアのサンアンドレス国立大学との交流を推進するため、コーディネート担当教員が渡航して、国際セミナーや日本文化祭を計8回開催し、1,000名以上の教職員・学生らが参加した。 実施期間：令和7年8月～9月
	国際的イベントでのボランティア活動	第44回記念大分国際車いすマラソンに学生27名がボランティアとして参加した。また、本大会事務局からの依頼により、教員1名が大会の関係資料の翻訳や式典の通訳を行った。
		大分日米協会主催「アメリカンフェスティバル」に、学生8名がボランティアとして参加。また、教員1名が記念式典で通訳を担当した。 実施日：令和7年10月19日
	公開授業	国際系科目の公開授業を実施し、県民の国際理解を促進した。 ・西洋文化史特論 実施期間：前期（受講者6名）
	内閣府青年国際交流事業 「国際社会青年育成事業」	本学の学生6名（うち4名は国際総合学科）が内閣府青年国際交流事業「国際社会青年育成事業」大分県地方プログラムに参加。フランスから参加した青年8名と交流を行い、「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」をテーマに、学内のバリアフリー施設について、フランス語による発表を行った。 実施日：令和7年9月22日
学事・私学振興課 (看護科学大学)	授業	令和7年度後期「フランス語コミュニケーション」の授業の中で、別府大学とモンペリエ大学の交換留学生を招聘し、国際交流を目的としたワークショップを実施した。 実施時期：令和7年11月
	韓国 蔚山（ウルサン）大学との学生交流事業	蔚山大学の学生と教員を受け入れ、県内3カ所の施設見学及び学内での学生交流を実施した。 実施期間：令和7年7月14日～18日 参加者：蔚山大学 学部生8名、教員2名 蔚山大学へ学生と教員を派遣し、大学での講義受講や周辺地域の施設を見学した。 実施期間：令和7年8月18日～22日 参加者：本学 学部生8名、教員2名
	インドネシア ムハマディア大学との交流事業	オンラインで学生交流を実施し、各校2名ずつの小グループに分かれプレゼンテーションとディスカッションを通して互いの文化や看護について学んだ。 実施日：令和7年8月27日 参加者：本学 学部生38名、ムハマディア大学59名
	学術交流	第27回看護国際フォーラムを大分県看護協会との共催で開催した。 実施日：令和7年10月25日（オンライン開催） 内容：「求められる変革をどう実現するかーエビデンスを現場に実装するDNPへの期待ー」をテーマに、国内講師3名と米国講師1名が講演を行った。 参加者数：延べ389名（当日参加及びオンデマンド配信視聴含む）

●企画振興部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
国際政策課	海外ネットワーク強化対策事業	成長を続ける海外の活力を取り込み、本県産業の活性化を図るため、県内の民間事業者等が海外展開しやすい環境を整備したほか、大阪・関西万博等を契機に海外自治体との連携を強化した。 1 一体的プロモーションの実施 【米国】西海岸のサンフランシスコ周辺地域において、グローバル人材の育成などの人的交流の促進及び、観光誘客・県産品の販路拡大に向けたトップセールス等を実施した。 期 間：11月11日～12日（2日間） 参加者：県（佐藤知事、関係課）、大分日米協会、ジェトロ大分、ビジネスネットワーク参加企業等 内 容：スタンフォード大学への訪問（大学生向け遠隔講座、国際会議の大分開催準備で合意） サンフランシスコ市長への表敬訪問（多分野での交流促進の機運醸成） 在サンフランシスコ日本国総領事公邸でのレセプション開催等 【台湾】地理的に近く安定的な関係構築が見込める台湾において、国際・経済交流の促進、観光誘客、県産品の輸出拡大に向けて、一体的なプロモーションを実施した。 期 間：1月12日～13日（2日間） 参加者：県（尾野副知事、関係課）、県議会、ジェトロ大分、経済・学術関係者、加工品・農林水産関係団体、ツーリズムおおいた等 内 容：政府機関等への表敬訪問、経済交流・企業誘致セミナー、商談・販売促進活動、公式レセプション「大分県のタベ」 2 大阪・関西万博を契機とした海外自治体との関係強化（本県への招聘等） ・4/26 英国・ウェールズ政府 レヴェッカ大臣招聘（4/29 万博ウェールズデーに桑田副知事出席） ・6/30-7/2 台湾インフルエンサー招聘 ・9/3 万博オーストラリアデーへの知事出席 ・9/21-23 カナダ・プリンスエドワードアイランド州 ロブ・ランツ州首相招聘 ※大分県と同州との間で「友好交流に関する意向表明書」を締結 ・9/25 万博フィジーデーへの桑田副知事出席 ・9/30 日出町とボルトガル共和国モンテモール・オ・ペーリョ市との間で姉妹都市提携 ※ボルトガル側からの要請を受け県が仲介し実現 3 本県ゆかりの海外人材（海外県人会・留学生OB等）とのネットワーク強化 (1) ゆかり人材海外ネットワーク構築事業費補助金 ゆかり人材と県内企業との接点をつくり、海外展開への足掛かりを創出 〔対象経費〕 ゆかり人材が行う県内企業と連携したビジネス展開経費 〔補助上限〕 300千円（定額） 〔支援件数〕 4件 (2) 海外展開促進インセンティブ報奨金 (1)の活動支援を契機とし県内企業と海外企業の取引などをマッチングした場合に報奨金を交付 〔報酬額〕 300千円（定額） 〔支援件数〕 1件 4 アジアビジネス研究会（会員数180社） アジア各国への事業展開や人材確保等に関するセミナーや情報交換会を開催した。 〔開催数〕 5回 〔延べ参加者数〕 230人
	外国人留学生支援事業	将来、母国と大分県との交流の懸け橋となる人材の育成を図る目的で、県内の大学等に在学する私費外国人留学生に対して、奨学金の交付を行うとともに、大分県への理解を深めるための講座やスタディツアーを実施した。 ①私費外国留学生奨学金 支給額：月額30,000円 支給人数：80名 ②大分県講座 座学（3回） ・大分県の基礎知識、おおいた防災アプリ（講師：国際政策課） ・大分県での就職・起業 （講師：おおいた留学生ビジネスセンター等） ・多文化共生推進事業について（講師：国際政策課） スタディツアー（3回） ・第1回 別府市（別府市竹細工伝統産業会館、インターンシップ説明会） ・第2回 杵築市、宇佐市（るるパーク、宇佐神宮見学） ・第3回 臼杵市（臼杵石仏見学、酒蔵巡り）

国際政策課	多文化共生推進事業	多文化共生社会を推進し、外国人住民が日常生活や社会生活を円滑に営み、安全に安心して暮らすことのできる受入れ環境を整備するため、各種事業を実施した。 (1) 大分県外国人総合相談センターの運営 目 的：外国人住民や外国人に関わる人からの仕事や生活等の疑問や悩みに対し、多言語相談を行うもの。(詳細は32頁) (2) コミュニケーション支援 ①日本語教室ネットワーク会議の開催 目 的：日本語教室間の連携を構築し、教室の活動の底上げを図るため実施。 日 時：令和7年9月9日、令和8年2月8日 対 象：県内日本語教室代表者 等 ②日本語教室・日本語ボランティア研修(初級) 目 的：新たな人材を確保するため、日本語ボランティアに興味のある者等を対象に、初級者向け研修を実施。 実施期間：令和7年7月19日、27日(全2回) 講 師：立命館アジア太平洋大学 言語教育センター 教授 本田 明子 氏 内 容：ボランティアの役割、日本語教授法等の研修 等 受 講 者：37名 ③日本語教室・日本語ボランティア研修(中級) 目 的：既存の日本語ボランティア等を対象に、スキル向上を図るため、中級者向け研修を実施。 実施期間：令和7年10月5日、12日、18日(全3回) 令和7年11月2日、9日、16日(全3回) 講 師：立命館アジア太平洋大学 言語教育センター 教授 本田 明子 氏 内 容：日本語文法、教科書・教材づくり 等 受 講 者：42名 ④日本語教室・日本語ボランティア研修(上級) 目 的：日本語教育能力検定及び登録日本語教師試験などの資格取得を目指す日本語ボランティアを対象に研修を実施。 実施期間：令和8年3月8日、15日 講 師：総括コーディネーター 橋本 靖彦 氏 内 容：試験のガイダンス、学習法 受 講 者：41名 ⑤初級日本語教室の地域モデル 目 的：日本語がわからない外国人住民を対象に、地域住民とのコミュニケーション促進のため、市町村との共催により初級日本語教室をモデル的に実施。 実施期間：令和7年10月28日～11月29日(全8回) 令和8年2月14日～28日(全5回) 講 師：立命館アジア太平洋大学 言語教育センター 教授 本田 明子 氏 内 容：日本語での作文及び発話練習 等 受 講 者：55名 ⑥基礎日本語オンライン教室 目 的：地域日本語教室の空白地域を補完するため、基礎レベルのオンライン日本語教室を実施。 実施期間：令和7年10月27日～令和8年3月30日 内 容：シチュエーションを想定した会話の練習 等 受 講 者：47名(5クラス) (3) 生活支援 ①災害時外国人支援セミナーの実施(計2回) 日 時：令和7年8月22日、令和8年3月21日 対象者：行政職員、地域の防災士、外国人支援関係者 等 内 容：県の災害対応及び災害時の外国人支援体制、災害時の外国人支援事例の紹介、役立つコミュニケーションツール 等 講 師：・別府市企画戦略部政策企画課 村野 淳子 氏 ・大分地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 立川 眞彦 氏 ・大分地方気象台 要配慮者対策係長 松本 拓也 氏 ②国際交流団体ネットワーク会議 日 時：令和8年1月31日 対象者：国際交流団体、外国人総合相談窓口職員、地方自治体の国際交流関係職員 内 容：在住外国人の現状と県の施策紹介、事例発表 講 師：・グローバルおおの 代表 森 美由紀 氏 ・在大分県ベトナム人協会 会長 ファン・チュン・フック氏
-------	-----------	---

芸術文化振興課	芸術文化活用交流促進事業	東アジア文化都市2022大分県のレガシーを継承し、中国温州市、済南市、韓国慶州市との芸術文化交流の継続的普及を図った。 ○中韓芸術文化交流の実施 鶴崎踊り保存会を韓国慶州市の新羅文化祭に派遣。メインステージで県選択無形民俗文化財である鶴崎踊りを披露した。 ・渡航期間：令和7年9月13日（土）～9月14日（日） ・公演日：令和7年9月13日（土）18：40～19：00 ・派遣人数：11名 中国済南市より済南市歌舞劇院国楽団を受入れ、5月17日（土）に開催した「まちなかアートフェスタ」のメインステージで演奏を披露した。 ・開催日：令和7年5月17日（土） ・開催場所：大分駅前広場 メインステージ ・交流内容：「まちなかアートフェスタ」メインステージにおける楽器演奏の披露。
---------	--------------	---

●福祉保健部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
高齢者福祉課	外国人介護人材確保対策事業	県内の介護人材不足に対応するため、外国人介護人材が円滑に就労・定着できる取組を行った。 (1) 外国人介護人材受入推進協議会の開催（12月、3月） (2) 外国人介護人材受入予定事業所への研修会の開催（7月、12月、1月） (3) 外国人介護人材への集合研修等の実施（計8回） (4) 外国人介護人材交流会の実施（9月、県内2か所） (5) 大分県への留学・就労希望者への情報提供（7月）及びオンライン交流会の開催等による介護施設等とのマッチング支援の実施（2月） (6) 県内の日本語学校留学生への介護福祉士養成施設の進学説明会（7月、9月）

●生活環境部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
防災対策企画課	災害時の多言語情報リーフレット作成	災害時における外国人の情報収集を支援するため、各種情報のホームページを紹介するリーフレットを作成し、大分空港、多数の外国人が訪れる駅内の観光案内所、各市町村等へ配布するとともに県ホームページに掲載した。 作成部数：2,000部 配布時期：令和7年5月
	おおいた防災アプリ（多言語対応）の周知	「おおいた防災アプリ」（15言語に対応）を、留学生や技能実習生等に活用していただくため、広報用チラシのデータを大学コンソーシアムおおいた及び大分県技能実習生受入監理団体協議会へ送付し、アプリの周知を依頼した。

●商工観光労働部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
商工観光労働企画課	米日カウンシル知事会議	県内の中小企業の米国展開や技術の活用等を後押しするため、県内企業とともに米国西海岸を訪れ、展示会への訪問や、現地企業の視察等を行った。 期 間 令和7年11月9日～11月11日 内 容 ソノマ・カウンティとSCTを訪問するオプションプログラム シリコンバレー企業等の視察・商談 日本の中小企業の米国展開や最先端の技術・サービスを有する企業との協業による既存事業の成長や新規事業の実現を目指したい企業を対象に、シリコンバレーの最新情報を届けるセミナーを実施した。 期 間 令和8年2月18日 内 容 「日本企業米国進出の光と影」日本企業米国進出の成否を決めるのか何か？

工業振興課 (大分県 LSI クラスター形 成推進会議)	おおいた LSI クラ スター構想推進事業	県内半導体関連企業の海外展開促進のため、海外とのビジネス交流等を実施。 ・台湾企業との商談会 日 程：令和 7 年 4 月 2 3 日 場 所：熊本市 内 容：熊本県工業連合会、台湾電子製造設備工業同業公会（TEEIA） と連携して開催 台湾企業 1 8 社、大分県 1 0 社、熊本県 2 5 社が参加 全 1 0 0 商談を実施（うち大分県企業は 2 8 商談） 日 程：令和 7 年 9 月 9 日 場 所：台北市 内 容：熊本県工業連合会、台湾電子製造設備工業同業公会（TEEIA） と連携して開催 台湾企業 3 2 社、大分県 1 0 社、熊本県 1 5 社が参加 全 1 3 3 商談を実施（うち大分県企業は 4 8 商談）
先端技術挑戦 課（宇宙開発 振興班）	宇宙関連産業創出事 業	宇宙産業振興や発射場及び宇宙港を起点とした地方創生を推進するため、台湾政府及び台湾国家宇宙センター等 関係者と意見交換を実施した。 事業実施主体：先端技術挑戦課宇宙開発振興班 事 業 名：宇宙関連産業創出事業 参 加 者：台湾政府及び台湾国家宇宙センター等関係者 9 名 大分県 6 名 実 施 日：8 月 1 9 日
企業立地推進 課	企業誘致セミナー in 台北	大分県主催の企業誘致セミナーを通じて、台湾企業の県内立地・進出に関する理解を深め、誘致促進を図った。 【内容】 日時：2026 年 1 月 12 日(月)15:30～17:10 会場：オークラブレステージ台北 3 階 Ball room I・II 参加者数：93名 セミナー内容 1：大分という選択ー台湾人が知らない日本の宝 講演者：日本経済新聞社台北支局 支局長 羽田野 主 様 2：九州唯一のコンビナートから世界へークラサスケミカルが拓く産業の未来ー 講演者：クラサスケミカル株式 会社 代表取締役社長 福田 浩嗣 様 3：大分発の国際半導体ビジネス人材の育成 講演者：立命館アジア太平洋大学 社会連携部長 国際経営学部教授 藤田 正典 様 4：日本進出に向けた JETRO のサービス 講演者：JETRO 大分貿易情報センター 所長 中村 志信 様

産業人材政策課	外国人労働者受入対策強化事業	県と市町村が足並みをそろえて外国人材の適正・円滑な受入れに取り組むとともに、SNSを活用して外国人材に対し定期的な情報を発信する。また、外国人材の就業環境等の整備に取り組む企業等への支援を実施する。 ○外国人材の就業環境等整備促進補助 ・対象地域：県内全域 ・補助対象：外国人労働者等を受入れている県内企業等、監理団体 ・補助率：1/2以内 ・補助上限：通常枠上限50万円、賃上げ枠上限100万円、監理団体上限20万円 ○「外国人材の受入れ・共生のための対応策協議会」開催 開催日：7月28日、3月16日 主な内容：県、市町村及び関係機関の取組内容の共有、大分県外国人材の受入れ・共生のための対応策改訂。（3月） ○セミナーの開催 ・外国人材採用準備セミナー ～自社に合う外国人材採用の進め方～ 実施日：8月6日（大分市） 申込数：179名 内 容：在留資格制度の概要について 採用事例紹介 事例①業種：外食兼飲食料品製造業 事例②業種：建設業、農業、介護事業 事例③業種：製造業 ・業種別外国人材雇用セミナー及び座談会 実施日：11月27日（大分市） 申込数：25名 内 容：各業種に特化した受入れの流れについて（宿泊業・建設業） 座談会～外国人材雇用企業の事例から学ぶ～ ・業種別外国人材雇用セミナー及び座談会 実施日：12月12日（大分市） 申込数：29名 内 容：各業種に特化した受入れの流れについて（製造業・福祉（介護）） 座談会～外国人材雇用企業の事例から学ぶ～ ・外国人材雇用セミナー及び座談会（インドネシア編） 実施日：1月26日（大分市） 申込数：37名 内 容：インドネシアの国や人材の特性 インドネシア人材を雇用する際の留意点 県内で働くインドネシア人材からの話 座談会（インドネシア人材の受入れにむけた質疑応答、意見交換） ○SNSを活用した外国人材へ向けた定期的な情報発信業務 日本での就労を検討しているベトナム、インドネシア、ミャンマー、フィリピン在住の外国人材に向けて、大分県での仕事や暮らしを紹介する動画や記事を発信する。 ○大分県外国人材アドバイザーの設置 外国人材の円滑で適正な受入れを促進するために、大分県外国人材アドバイザーを設置。 ベトナム：佐々木 泉 氏（介護人材養成施設、送出機関経営） インドネシア：吉渡 剛 氏（介護人材養成施設、日本語学校、送出機関等顧問（アドバイザー）） フィリピン：吉武 ロドラ 氏（大分県フィリピン友好協会会長、送出機関代表）
---------	----------------	--

●農林水産部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
おおいたブランド推進課 (ブランドおおいた輸出促進協議会)	農林水産物輸出需要開拓事業	成長する海外需要を取り込み、農林水産事業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会を核とした県産農林水産物の輸出拡大の取組を支援した。 (1) 現地販売促進活動 ・実施時期：令和7年4月～令和8年3月 ・相手国・地域：香港、台湾、シンガポール、米国、マレーシア、ベトナム、EU、国内 ・実施回数：45回 (2) 輸出入事業者等の招聘 ・実施時期：令和7年4月～令和8年3月 ・相手国・地域：米国、EU、スリランカ ・実施回数：4回

●教育庁

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
高校教育課	おおいたグローバルリーダーズ育成事業	◎グローバルリーダー育成塾 【目的】世界に挑戦する気概を持つ人材の育成 【時期】4回(5月・9月・10月・12月) 【場所】大分県教育センター 【内容】①大学教員・起業家等による講演 ②「世界の課題解決に向けて私ができること」をテーマとした生徒間の協議・発表 【人数】延べ1120名(高校1・2年生) ◎中学校・高校留学フェア 【目的】留学意欲の喚起と留学情報の提供 【時期】1回(6月) 【場所】大分県教育センター 【内容】①大学教員・起業家等による講演 ②留学経験者による体験発表 ③留学支援団体による相談会 【人数】延べ49名(中学生・保護者・教員) ◎小中学生イングリッシュ・デイ・キャンプ 【目的】県内小中学生を対象に、英語コミュニケーション能力と、世界に挑戦し、多様な価値観をもつた者と協働するグローバル人材としての素地を培うことを目的として、毎年実施している。 【日時】8月23日(土)小学生(午前)中学生(午後) 【内容】英語によるディスカッション、プレゼンテーション等 【場所】大分県教育センター 【参加者】小学生59名、中学生53名 【指導者】ALT17名 ◎スタンフォード大学遠隔講座 【目的】世界と英語で渡り合える人材の育成 【時期】全10回(10月～3月) 【場所】受講生の自宅 【内容】スタンフォード大学と連携した同時双方向型のオンライン遠隔プログラム(テーマ:日米関係・起業家精神・SDGs等) 【人数】30名(高校1・2年生) ◎クロスカルチャープログラム・オンキャンパス 【目的】バーチャル留学を体験する機会の提供 【時期】10月～3月 【場所】受講生の自宅 【内容】立命館アジア太平洋大学と連携した同時双方向型のオンライン遠隔プログラム及び1泊2日APUでのキャンプ(テーマ:SDGs等) 【人数】30名(高校1・2年生) ◎グローバル活動サポートシステム 【目的】・グローバル教育の普及オンライン ・対面問わず世界とつながる機会の充実 【時期】通年 【場所】県立高校11校 【内容】①世界で活躍する起業家・研究者等による講演 ②留学生との協議・発表・交流 【人数】留学生延べ390名派遣

人権教育・部落差別解消推進室	日本語指導レベルアップ事業	【目的】 帰国・外国人児童生徒等の日本語能力に応じた日本語指導の充実を図るため、大学等と連携して県立高校及び小・中学校に日本語指導支援員を派遣した。 【実施時期】 令和7年4月～令和8年3月 【事業内容】 1 児童生徒一人ひとりの能力にあった日本語指導の実施 ①日本語指導支援員の派遣（国庫1/3） ②高等学校等に対する包括的な支援 2 日本語指導アドバイザーの派遣 3 日本語指導者の養成 ①「日本語指導者養成・ステップアップ研修」を実施 ②「日本語指導員養成研修」を実施 【派遣人数】 1 日本語指導支援員派遣人数 ①県立高校 6校 生徒12名
文化課	日韓文化活動交流事業	「日本国大分県教育委員会と大韓民国忠清南道教育庁との教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言」に基づき、本県の高校生と大韓民国忠清南道の高校生との文化交流を通じて、日韓友好の心情を培い、相互理解を深め、両国の文化の振興に寄与するとともに、本県高校生の文化活動の充実・発展に資する。 隔年毎に高校生を派遣、招聘する。 令和7年度は令和8年度の実施に向けての協議のみとし、交流事業自体は中止。

2 市町村の国際化関連事業（令和7年度）

市町村	事業名	事業内容
大分市	自動翻訳機能による大分市ホームページの多言語表示 (広聴広報課)	市報データをテキスト形式で毎月市ホームページに掲載した。
	小中学校における日本語指導が必要な児童生徒への支援 (学校教育課)	支援を必要とする学校へ日本語指導専任指導員、日本語指導講師、保護者への通訳者を派遣した。 (活用実績 児童生徒47名 保護者7名)
	おおいたナイトスクール「国際科」 (社会教育課)	○実施時期：2025年6月4日から2026年2月25日 ○実施場所：大分中央公民館 ○講師：さくら日本語教室 ○事業内容：日本語教室の講師による日本語の基礎からの学習や、特別講師による大分の文化や生活についての学習をした。 ○実施回数：32回 ○受講者：10人（最終受講者数）
	外国人向けごみ収集カレンダーの作成 (清掃業務課)	カレンダー日程表の分別内容をアイコン(マーク)式に変更し、日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語を記載した「外国人向けごみ収集カレンダー」を作成し、関係各学校を中心に配布するとともに本庁、各支所へ設置し、ホームページに掲載した。 作成部数：2,117部 (令和7年度作成・令和8年度使用分)
	多言語音声翻訳アプリの活用 (救急救命課)	令和7年度は全14隊で多言語音声翻訳アプリを活用。外国人对応事業137件、うち、活用実績6件。 また、国際課職員、通信指令課職員及び救急救命課の日勤救急隊が連携し、多言語音声翻訳アプリを活用したシミュレーション訓練を実施した。
	多言語電話通訳 (通信指令課)	多言語通報の対応件数（実績：35件） 多言語通報に対応するための訓練（英語、中国語）を実施した。（令和8年1月に2回実施：参加計31名）
	国際化・国際交流イベント支援事業 (国際課)	申請件数(R7.5時点)：10件 補助決定事業：8件 ※補助決定事業のうち1件は、国際情勢の影響で中止
	国際交流員招聘事業 (国際課)	配置人数：1名 アメリカ（英語、フィリピン語）
	任期付短時間勤務職員 (中国語)の配置 (国際課)	配置人数：1名 中国（中国語、韓国語）
	庁内多言語化推進 (国際課)	①多言語映像通訳サービス（13言語） ②市民宛通知文書や申請書等の多言語化
	「多言語コールセンター」の設置 (国際課)	佐賀関地域大規模火災により災害対策本部が設置されたことからコールセンターを設置した。
	日本語ボランティア養成講座実施事業 (国際課)	日本語の教え方の基礎などを学習する～入門編～と日常生活で用いられる基本的な日本語の教え方などを学習する～中級編～を実施した。 【概要】 日本文理大学別科日本語課程講師の古川俊雄氏を講師とする「日本語ボランティア養成講座～入門編～」を全3回（令和7年11月23日、11月30日、12月7日）実施。また、同講師による「日本語ボランティア養成講座～中級編～」を全3回（令和8年1月18日、1月25日、2月1日）実施。
	外国人児童生徒の就学指導 (児童生徒支援課)	本市に居住し、小学校及び中学校並びに義務教育学校に入学を希望する外国人への就学案内及び就学の意向確認を行った。 入学前に新入学児童生徒の保護者を対象に「就学案内」を4か国語で作成し送付することにより、就学の意向等を把握している。
	「国際課公式SNS」運用事業 (国際課)	・Facebook投稿：159件 ・Instagram投稿：160件
	多言語対応防災ガイドブックの周知 (国際課)	大分市公式HPへ掲載し、広く周知を図った。
	留学生と交流を進める会 (大在公民館)	大在で暮らす留学生を中心に会員との交流はもとより、地区住民と留学生および日本人学生との交流を図る。 実施時期：①令和8年2月8日実施 ②令和7年12月21日実施 場 所：①公民館調理室(料理) ②公民館ロビー・調理実習室(餅つき) 参加人数：①24名 ②45名 内 容：①料理交流会 ②交流餅つき大会
	海外姉妹友好都市交流 (アメリカ合衆国 オースティン市) オースティン市青少年交流 (国際課)	■中学生オースティン市派遣事業 英語圏の姉妹都市であるオースティン市との友好関係を活かした交流事業を通じて、異なる文化に向き合う姿勢や外国語でのコミュニケーションを図る資質・能力を養い、広い視野を持ち、激動する国際社会で生きていくことができる人材の育成を目指す。 実施時期：令和8年1月17日～1月29日 ※寒波の影響による帰国便の変更により、当初27日（火曜日）の予定が29日（木曜日）の帰国になった。 派遣人数：大分市内中学生6名

大分市	ハーバード大学生との交流会 “SWIM” (国際課)	ハーバード大学生による英作文やスピーチ力を磨くワークショップを開催した。 実施時期：①令和7年7月12日(土)(事前英語講座) ②令和7年8月10日(日) 場 所：荷揚複合公共施設 6階 多目的大会議室 募集人数：①89名②81名
	青少年国際理解推進事業 (WORLD QUEST in OITA (ワールド・クエスト・イン・おおいた)) (国際課)	実施時期：令和7年9月13日(土曜日) 場 所：荷揚複合公共施設 6階 多目的大会議室 参加者数：大分市内の小学生(1～4年生)72名
	English Boot Camp (国際課)	実施時期：令和7年8月18日(月)、19日(火)、20日(木) 場 所：荷揚複合公共施設 6階 多目的大会議室 参加人数：97名(3日間合計) (小5年・6年生 40人、中学生：57人)
	英語で遊ぼう (中央公民館)	実施場所：中央公民館大会議室 (荷揚BASE2階) 実施時期：令和7年5月～令和8年2月 実施回数：前期8回・後期8回(第1・第3土曜日) 対 象：小学校2年生～6年生 参加者数：延べ347人(前期202人 後期145人) 受講者前期34人、後期27人
	英語で遊びましょうA (小1～小3児童対象) 英語で遊びましょうB (4歳～就学前の子ども対象) (南部公民館)	実施時期・回数：月1回(5月～2月)全10回(土曜日)実施 実施場所：大分南部公民館 和室 参加人数：小学生対象A 17名 就学前対象B 20名 延べ人数 255名
	子ども英会話教室 (鶴崎公民館)	実施回数：10回(土曜日) 参加者数：募集定員15名(小学校1～4年生対象) 実施場所：鶴崎公民館 講義室3 実施内容：外国人講師による発音、書くこと、話すことを学ぶ講座
	えいごであそぼ (大南公民館)	歌やダンスを通して子どもが英語に親しみを大いに持つことができた。 実施時期：5月10日～9月27日 実施回数：8回 参加者数：受講者11人 延べ人数63人 実施場所：大南公民館 研修室A・B
	英語で遊ぶリトミック (大在公民館)	小学1～3年生を対象に、英語での指示や合図で体を動かしたり歌を歌ったりして簡単なゲームを行い、自然な形で英語に慣れ親しんだ。 【令和7年度実績】 実施時期：令和7年5月24日～令和8年2月28日 ※全10回 参加人数：延べ104名
	外国語指導助手招聘事業 (学校教育課)	実施時期：通年 派遣人数：32名 夏季休業中、小中学校3校に複数名のALTを派遣し、イングリッシュ・キャンプを実施した。様々な出身国のALTと英語による活動や交流を行った。 (イングリッシュ・キャンプ参加児童生徒数：136名、ALT延べ人数：26名)
	帰国子女及び外国人の体験入学 (児童生徒支援課)	小学校及び中学校並びに義務教育学校における体験入学を実施した。 体験入学人数：外国人等40人
	おでかけENGLISH ～留学生と英語で遊ぼう～ (国際課)	実施時期：6月～3月 場 所：大分市内の幼稚園、保育園(所)、こども園等 派遣回数：20回(園) 派遣回数：20回(3月末時点) 派遣留学生数：100名 参加園児数：600名

国際理解・多文化共生講座の開催 (国際課)	ぐるーばるサロン(まちづくり出張教室) (国際課)	開催目標回数：10回 開催回数(R8.3現在)：14回 ＜内訳＞ 小中学生向け：7回 一般向け：5回 ナイトスクール：2回
	国際理解・多文化共生講座の開催 (国際課)	国際理解推進講座を2回実施 ①「アフリカより愛を”コメ”で～ミスターネリカ 米づくりの国際協力50年～」 開催日：令和7年8月30日 参加人数：60名 元JICA稲作上級技術アドバイザーの坪井達史氏を講師に迎え、畑で育ち、乾燥や病気に強い「ネリカ米」の普及活動に長年取り組まれてきた経験やアフリカをはじめとした海外での生活について講演いただいた。 ②「地域で支える日本語学習～日本語ボランティアの可能性～」 開催日：令和8年2月10日 参加人数：52名 ※特活) 多文化共生リソースセンター東海／代表理事の土井 佳彦氏を講師に迎え、地域日本語教育における国・都道府県・市町村の役割、そして「日本語学習支援者」の役割を示し、全国の先進事例などを紹介する講演をしていただいた。

大分市	国際協力啓発月間事業 おおいたワールドフェスタ (国際課)	実施時期：11月1日(土) 場 所：トヨタカラー大分 祝祭の広場 来場者数：計 2, 1 7 9 人
	国際協力啓発月間事業 パネル展 (国際課)	実施時期：10月1～16日 場 所：J:COMホルトホール大分 来場者数：9 6 3 人
	インバウンド推進事業 (観光課)	ツーリズムEXPOジャパンにて、国内旅行会社との商談を通じて、本市の観光誘客やインバウンド推進に向けた課題と今後の可能性について意見交換を行った。(商談数全13社)
		まち歩きガイドブック修正・増刷(英語・韓国語・簡体字・繁体字)の印刷 (事業内容) 令和5年度に修正・増刷した日本語版まち歩きガイドブックの多言語パンフレットについて、各言語2,000部ずつ印刷し、設置した。 (実施時期) 令和7年9月27日から令和8年3月16日
		・クレアソウル事務所が運用するInstagramに大分市の観光情報等を投稿した。(2025年上半期、2025年下半期に各5回ずつ)
	施設表示等の多言語化 (国際課)	・庁内フロアマップ 等
	海外販路拡大支援事業 (創業経営支援課)	ジェトロ大分・大分県貿易協会共催「マーケットイン型商品販路開拓挑戦事業(事業者の課題解決及び販売戦術の策定等)」を実施し、大分市から3社の事業者が参加。
		ジェトロ大分・大分市共催「国内輸出商社商談会in大分」の開催(参加企業数：県内企業15社(うち、市内企業5社))
		大分県・大分市共催(大分県貿易協会受託)「海外バイヤー招聘商談会」の開催(参加企業数：県内企業37社(うち、市内企業9社))
		大分県貿易協会主催(大分市共催)「貿易実務講座」を開催した。 ・会員企業を対象としたセミナーや事例発表等を年6回開催した。(参加企業数 延べ71社) ・九州最大級の国際食品展示会「Food Expo Kyushu2025」への出展を支援した。 (出展事業者：3社)
	外国人受入環境整備 (商工労政課)	補助対象事業：国外での商談会・展示会等への出展 交付件数：2件、交付額：1,000千円
大分市	外国人受入環境整備 (商工労政課)	中小企業向け「やさしい日本語・やさしい職場環境」習得セミナーを10月に開催した。(参加者数15名)
	OITAサイクルフェス!!! (スポーツ振興課)	主催：大分市、OITAサイクルフェス実行委員会、一般社団法人おおいたスポーツマネジメント 期日：令和7年10月4日(土)、10月5日(日) 会場：大分いこいの道周辺及び大分スポーツ公園周辺 概要：①おおいたアーバンクラシッククリテリウム(4日) ②おおいたアーバンクラシックロードレース(5日) 来場者数：48,594人 参加チーム数：17チーム(うち海外5チーム(タイ・オーストラリア・フィリピン・韓国・インドネシア))
	別府アルゲリッチ音楽祭負担金 (文化振興課)	第25回記念別府アルゲリッチ音楽祭に対し負担金を交付した。 【市内施設開催分】 ①祝祭の日 ・開催日：5月21日(水)19時～20時30分 ・会 場：iichikoグランシアタ ・出 演：マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)他 ②日本の音楽家の今を聴く Vol.2 at 能楽堂 N響奏者によるカルテット ・開催日：6月22日(日)14時～15時 ・会 場：平和市民公園能楽堂 ・出 演：後藤康(ヴァイオリン)、御法川雄矢(ヴィオラ)、小島幸法(チェロ)、中村淳二(フルート) ・その他：大分市親子無料招待を20組40名に対し実施(応募数：90組180人)
	おおいた夢色音楽祭における姉妹都市アーティストの招聘 (文化振興課)	・事業目的：文化・芸術イベント等の開催による国際化・多文化共生の推進 ・実施時期：令和7年10月26日(日) ・実施内容：年間を通じて音楽があふれ、道行く人が心和むような「音楽のまち大分」を実現するため、2008年から開催している「おおいた夢色音楽祭」の2目目に姉妹都市オースティン市からアーティストを招聘。ストリートステージやファイナルナイト・ジャムで演奏を披露してもらった。
	おおいた国際車いすマラソン (障害福祉課)	県と共催で「大分国際車いすマラソン」を実施 令和7年11月16日(土)開催
	大分市環境ポスター展 (環境政策課)	令和7年度は、武漢市から28点、広州市から21点の作品が寄せられ、ポスター展会場であるJ:COMホルトホール大分に展示するとともに、姉妹・友好都市等を紹介するパネルと鑑賞者に対するアンケートコーナーを設置した。加えて、受賞作品については「大分市環境展」会場に展示した。
	大分武漢友好交流サポーター業務 (国際課)	日本語堪能な武漢現地スタッフによる友好都市間の文化、農業など幅広い分野における交流のサポートを行った。
	日中友好交流都市中学生卓球交歓大会選手派遣事業 (国際課)	開催日程：8月3日～8日 開催場所：北京体育大学 参加者：中学生男女各1名(大分市卓球連盟所属教諭が引率)

大分市	海外姉妹友好都市交流 (ポルトガル共和国 アペイロ市) (国際課)	アペイロ市親善訪問団が大分万博で書籍発表会を開催するにあたり、市長表敬及び小学校視察等のために来市した。 実施時期：2025年5月20日～5月22日 訪問者：5名 市長(団長)ほかアペイロ市職員4名 実施内容：大分市長表敬訪問、大道小学校視察及び児童との給食を通じた交流、市美術館や南蛮BVNGO交流館視察など。
	海外姉妹友好都市交流 (アメリカ合衆国 オースティン市) 35周年記念事業 (国際課)	■第8次オースティン市親善訪問団 ■10月23日(木)～10月27日(月) ・35周年記念事業の実施 ・夢色音楽祭へのミュージシャン出演、市内学生とのモザイク壁画作成 ・大分市が実施する都市交通施策、アートフェスティバルについての視察 ■団長：ヴァネッサ・フエンテス市長代理 団員：クリスティ・ブライアント オースティン・大分姉妹都市委員会(AOSCC)会長ほか、ミュージシャン6名、壁画アーティスト合わせて合計27名
別府市	国際交流教室 (観光・産業部文化国際課)	■国際交流教室の開催 留学生や外国人観光客が多く訪れる別府市の国際性を活かし、市民と外国人が直接交流する場を設けることで、相互の理解と魅力の発見を促進するため開催 派遣留学生数：34名
	別府市外国人留学生地域活動助成金交付事業 (観光・産業部文化国際課)	■別府市外国人留学生地域活動助成金交付事業 留学生が市民との交流活動等を実施する際の助成金を交付し、地域社会の国際理解の増進によるグローバル化及び地域活性化を図ることを目的に実施した。
	災害時の外国人支援事業 (観光・産業部文化国際課)	■「防災まちあるき」の開催 令和7年5月10日(土)及び11月8日(土)の2回、市防災危機管理課、社団法人B-biz LINK BIP事業部、立命館アジア太平洋大学との共同で、留学生や地域住民、災害時の登録ボランティア等を対象としたまちあるきとワークショップをAPUプラザ大分及び野口ふれあい交流センターで開催
	在住外国人支援 事業 (観光・産業部文化国際課)	■初級日本語講座「日本語らくらくトーク」 市内在住外国人を対象とした外国人同士のネットワーク構築や生活相談も兼ねた初級日本語教室「日本語らくらくトーク」を毎週月・水曜日に実施した。
	姉妹都市等交流事業 (観光・産業部文化国際課)	■姉妹都市英国バース市 ・バース市での異文化体験、現地での交流を通じて将来の国際化社会を担うグローバル人材の育成を目指して、中学生バース市交流プログラムを実施した。 派遣時期：令和7年11月29日～12月7日 派遣人数：6名 ・国際的視野を広げ、将来の別府市、日本を担うグローバル人材の育成を目的として、高校生サマースクールプログラムを実施した。 派遣期間：令和7年7月19日～8月10日 派遣人数：1名 ■姉妹都市ニュージーランドロトルア市 ・国際的視野を広げ、将来の別府市、日本を担うグローバル人材の育成を目的として、高校生サマースクールプログラムを実施した。 派遣期間：令和7年7月19日～8月10日 派遣人数：4名 ■友好都市煙台市 ・令和7年度に友好都市盟約締結後40周年を迎え、両市の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展のために「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」に中学生2名を派遣した。 派遣時期：令和7年8月3日～8月8日
	在外外国人及び一時帰国子女幼・小・中学校体験入学(園)の受入 (教育部学校教育課)	日本に一時的に滞在する外国人で、子女に異文化を体験させたいという希望を持つ保護者や、日本人の国外移住者で、母国言語・習慣等を忘れさせないため、長期休暇を利用し日本に帰省させて、当該子女を一定期間日本の学校に通わせたいという保護者の希望にこたえる目的で学籍の在否とは関係なく便宜的に体験入学(園)を認めた。 実施時期：通年 R7年度実績：23名
	入学案内・就学援助制度案内の英語版配布 (教育部学校教育課)	別府市に住民登録している外国籍の新入学児童の保護者に対し「日本の小学校への入学案内」の英語版及び「就学援助のお知らせ」の英語版を作成し送付。外国籍の新入学児童が就学する機会を逸することを防ぐとともに就学援助の要件を満たす保護者の就学に関する負担軽減を図った。 発送時期：10月 R7年度発送件数：23件(R8年度新入学予定児童)
	外国人子女等に対する教育相談員派遣 (教育部学校教育課)	日本語指導が必要な外国人児童生徒等の幼稚園・小中学校に、教育相談員を派遣したり、母語支援員・日本語指導員を配置したりすることで、園児児童生徒の生活面の適応支援、日本語学習や教科学習等の日本語指導を行った。また、学校(園)の受け入れ体制の構築や、学校と家庭の連携を図るため保護者の通訳等を行うことにより、外国人児童生徒等の教育の充実を図った。 実施時期：通年 R7年度実績：教育相談員派遣延人数19名 母語支援員・日本語指導員配置人数：各1名
	外国青年招致事業 (教育部学校教育課)	外国青年を外国語指導助手として招致し、6名体制で小・中学校及び幼稚園において英語指導や各種活動を行い英語教育の充実を図るとともに、園児・児童・生徒が諸外国との相互理解を深めることを通じて国際交流を推進した。 実施期間：通年 派遣人数：6名

別府市	グローバル人材育成推進事業 (教育部学校教育課)	児童・生徒を対象とした留学生等との交流活動を実施し、多様な価値観をもった人への理解や協働する態度を育み、小・中学校で国際理解教育を推進した。 ○小中学校キャンパス体験学習 対象：全小中学生 期間：6月～1月 各学級年1回 場所：APU立命館アジア太平洋大学（対面） 内容：留学生等との国際交流活動 (小学6年生と中学3年生はAPUを訪問して交流する。) ○小中学校キャンパス体験留学 対象：小学3～6年生及び中学生の希望者 期日：小学生対象 7月23日(水) 中学生対象 8月7日(木) 場所：APU立命館アジア太平洋大学 内容：留学生等との国際交流活動
	国民健康保険事業 (保険年金課)	①外国人が国民健康保険加入手続きに来庁した際、英語で作成した説明文を配布した。 ②国民健康保険税に関する文書（申告奨励・納付奨励）を英語で作成し、還付通知を3か国語（英・中・韓）で作成し配布した。 ③10言語対応のデジタル対応パンフレットを導入した。 スマホやタブレットから閲覧可能で、音声読み上げ機能も搭載している。また、別府市ホームページからもアクセスが可能となるように誘引のQRコードを掲載した。
	国民年金事業 (保険年金課)	①窓口で手続（資格取得・免除申請等）を行う際の説明用フローシートを4か国語（英・中（簡体字・繁体字）・韓）で作成した。 ② 国民年金の手続（資格取得・免除申請）が完了した方へ、その後の流れについての説明文を英語で作成した。
	「ごみと資源の分け方・出し方カレンダー作成」 (市民福祉部生活環境課)	ごみの収集日程、分別や排出ルールなどの周知を目的として、英語・中国語・韓国語の3か国版を作成し、随時配布。 ※別府市公式ホームページ、LINEからも閲覧可能 (市民福祉部生活環境課)
中津市	外国語指導助手招致事業 (学校教育課)	JETプログラム(6名)、国際化推進員(1名)及び市委託(5名)の外国語指導助手12名(アメリカ6名、ニュージーランド2名、オーストラリア1名、イギリス3名)で年間の指導を行うことができた。 【事業内容】 小・中学校で毎週1回以上、授業における外国語指導や文化交流を行った。 休み時間や学校行事でも児童生徒と交流を行った。 JETプログラムの外国語指導助手については、中学生英語弁論大会、Conversation time、APU天空祭体験ツアーなど、市独自の特色ある取組を積極的に行うことができた。 【実施時期】 授業日 【実施場所】 小学校21校、中学校10校
	APU天空祭ツアー (学校教育課)	立命館アジア太平洋大学（APU）が実施する学園祭（天空祭）に参加し、留学生・ALTと一緒にイベントに参加したり、会話したりする活動を通して、異なる文化や多様な価値観に触れるとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができた。 【実施時期】 10月25日 【参加人数】 31名 【実施場所】 APU
	中津市Junior Global Leader研修 (学校教育課)	市内の中学生がグアムの短期留学や現地の歴史や風土に関するフィールドワーク、買い物体験、インタビュー活動などを行い、英語を使用して自分の考えを発信したり、多様な価値観を持つ人々と協働したりする力を育成することができた。 【実施時期】 令和7年7月6日～令和7年7月13日 【参加人数】 10名 【実施場所】 グアム
	APU留学生との交流 (学校教育課)	大分県教育委員会と連携して希望する小中学校にAPU留学生を派遣し、学校で学んだ英語を使って交流をしたり、学習の成果を発表したりする活動を通して、児童生徒の英語コミュニケーション力の向上を図るとともに、学習意欲を喚起した。 【実施時期・場所】 11月28日・豊田小、12月12日・上津小、12月16日・小楠小、1月22日・沖代小 【参加人数】 留学生14名
	放課後子ども教室 (社会教育課)	放課後子ども教室の1教室「放課後豊田子ども教室」として「チャレンジ英語教室」を開催し、ゲームなどを通じて、身近な英単語や基礎的コミュニケーションなど、楽しみながら学べるようにした。 【実施回数】 10回 【実施日時】 5/17、6/14、7/19、8/7、8/8、9/20、10/18、12/20、1/17、2/21 【実施場所】 豊田公民館、豊田小学校 【参加人数】 小学校1～6年生 のべ159人
	日本語教室 「きらきら」 (社会教育課)	中津市または近郊の市町村で働く外国人に対し、日本語能力試験に向けたサポートをしている。また、習字や節分等の日本文化にふれる時間や館外研修で生徒の親睦を深める時間を設けた。 【実施回数】 如水：23回 下郷：10回 【実施日時】 如水：4/6・20、5/11・25、6/1・15・29 7/13、8/3・24、9/7・28、10/5・19・26、11/9、12/7・21、1/11・25、2/15、3/1・15 下郷：4/3、5/1、6/5、8/7、9/4、11/6、12/4、1/8、2/5、3/5 【実施場所】 如水コミュニティーセンター、下郷公民館 【参加人数】 如水：のべ376人 下郷：のべ43人
	日本語教室 「あいことば」 (社会教育課)	市内に在住の外国にルーツがある子どもや家族に対し、日本語の学習と生活のサポートを行っている。また、習字や節分等の日本文化にふれる時間やお弁当作り、屋外活動を楽しむ時間も設けた。 【実施回数】 11回 【実施日時】 4/13、5/11、6/22、7/20、8/17、9/14 10/12、12/14、1/25、2/8、3/15 【実施場所】 豊田公民館、中津市教育福祉センター 【参加人数】 のべ221人

中津市	ごみ・リサイクルミニ集会（中津市に居住する外国人研修生向け）の開催 （清掃管理課）	中津市民を対象にごみの分別やリサイクルについて講習を行う「ごみ・リサイクルミニ集会」を市内の企業等に就労する外国人研修生（技能実習生）を対象として就労先の企業に出向いて開催・実施した。 【実績】2回（耶馬溪ファーム・高崎ファーム）
	第3回ツールドやばけい2025に台中市政府の訪問団を招聘 （観光課）	平成29年に台中市とサイクルツーリズムと観光友好交流の促進に関する協定を締結しており、これまでイベントへの参加や情報発信など、相互交流を行ってきた。この度、第3回ツールドやばけい2025の開催に合わせて台中市政府の訪問団を招聘した。 【実施時期】令和7年5月9日～5月12日 【招聘人数】5名(台中市政府:2名、民間企業:3名) 【内容】第3回ツールドやばけい2025への参加、中津市及び中津市内事業者との意見交換会、中津市内観光施設等の視察
	地域通訳案内士 （観光課）	これまでに実施された地域通訳案内士養成研修の修了者に対し、関連法規の改正状況など必要な知識・能力の維持向上を図ることを目的として中津市地域通訳案内士スキルアップ研修を実施。 《英語・中国語》 【実施日時】12月14日、1月18日、2月15日 【対象者】英語:17名、中国語:2名 【参加人数】英語:9名、中国語:2名 【実施場所】中津市内
	台湾商談会 （観光課）	台北・高雄会場にて台湾の旅行会社相手に商談を実施し、中津市へ旅行者誘客へつなげることを目的として商談会を実施した。 【台北会場】 22社と商談、資料交換を実施し個別に情報提供を行った。また、宇佐との連携ツアーも催行実施まで完了している。 【高雄会場】 当日豪雨により参加社が少なく、6社のみの対応となりました。団体旅行メインでの商談を実施しています。商談全体を通して観光協会実施のツアー助成金への関心が高く、日本国外の旅行会社へも対応している点をPR出来たのは大きな成果であった。 また、富裕層向けのFIT情報などに関心が高まっていることも分かり、今後の台湾市場へ向けたPRの参考になった。
	香港プロモーション （観光課）	福岡空港への直行便が就航している香港市場に対してプロモーションを展開することで福岡市・北九州市・中津市・中津耶馬溪観光協会・豊後高田市・豊後高田市観光協会の認知度向上や旅行者の誘致につなげることを目的としてPRを行う。 【事業実施主体】香港プロモーション事業 R7年度事務局 北九州市 【実施内容】委託業者による現地商談会および福岡空港での広告等、インバウンド向け観光周遊チケットの作成・販売
	台北市北投温泉での湯守観音祭式典出席および中津市のPR実施 （観光課）	台北市にある北投温泉の発展に尽力した平田源吾氏は中津市と縁があり、平田氏が発願した北投温泉の湯守観音は2025年で安置120年の節目を迎える経緯がある。この節目の年を記念して、主催者より式典へ招待を受けたので参加列席及び北投温泉地での中津市PRを行った。 【実施時期】11月28日（金）～30日（日） 【事業実施主体】公益社団法人 台湾芸起公益協会 【派遣人数】3名 【実施場所】台北市北投区 北投温泉
	多言語情報配信ツールを利用 （秘書広報課）	近年増加している市内の外国人居住者に向けて、市役所から発信する情報をダイレクトに伝えるために、市報などのデータを9言語に翻訳することができるとの情報配信ツールを利用して情報を発信した。 【発信実績】月1回市報の納品日
	市ホームページにおける「やさしい日本語」変換機能の利用 （秘書広報課）	近年増加している市内の外国人居住者に向けて、市役所からの情報発信媒体である中津市公式ホームページにおいて、「やさしい日本語変換」機能を追加した。 【実施時期】令和7年4月～
日田市	日田市日本語教室事業（社会教育課）	【目的】 市内に在住する外国人が日常生活を送る上で必要となる日本語の「読み」、「書き」などの学習支援及び市内で行われる各種イベントへの参加により異文化交流の啓発・発信を図る。また、支援を行う上で、外国人等に日本語を正しく伝えるスキルを持つとともに、積極的に教育、支援を行うボランティア指導者の育成を図る。 【実施時期】 令和7年4月1日～令和8年3月16日 【事業実施主体】 日田市日本語教室（日田市委託事業） 【事業内容】 1. 日本語教室の開催 期日：原則 毎月第1・第3日曜日 会場：日田市複合文化施設A05E（アオーゼ）会議室、日田市民文化会館「パトリア日田」小ホール（せせらぎ）ほか 内容：日本語学習、交流イベント（七夕飾り、書き初め、節分、ひな飾り、折り紙づくり、おしゃべり会） 開催回数：25回 参加者数：延べ520人 （日田市在住外国人 21か国230人、日本人スタッフ 282人、市民 8人） 2. 日田市の祭り、イベントへの参加 日田川開き観光祭、日田千年あかり、ひたし人権フェスティバル 3. スタッフの各種研修会への参加 日本語指導者養成・スキルアップ研修（7～8月）、日本語教室・日本語ボランティア研修スキルアップ編（11月）：計2回

日田市	総合的な学習の時間推進事業 (学校教育課)	本事業では、自ら課題を見つけ、よりよく解決し、自己の生き方を考える力を育むため、各校で教科を超えた多様な学習を推進している。これに関連し、下記学校が国際交流の一環としてA P U (立命館アジア太平洋大学)を訪問し、さまざまな国の文化に触れて理解を深める学習を行った。 ・11月28日(金) 実施校：日田市立大山小学校 対象者：6年生 活動内容：A P Uの留学生と交流 ・11月14日(金) 実施校：日田市立南部中学校 対象者：3年 活動内容：A P Uの留学生と交流 ・11月18日(火) 実施校：日田市立津江中学校 対象者：3年生 活動内容：○事前学習 ○留学生との交流 ○学習のまとめと発表
佐伯市	国際交流員招聘事業 (JETプログラム) (観光・国際交流課) 国際交流員事業(オーストラリア連邦、ベトナム社会主義共和国) (観光・国際交流課)	国際交流員を配置し、通訳業務、翻訳などの多言語化の推進や外国語による情報発信、外国籍を有する市民への支援と共生への体制整備を行った。 配置人数：2名(オーストラリア連邦、ベトナム社会主義共和国) ① ～多文化共生～さいきワールドフェスタ 国境や世代、障がいの有無などを超えて、誰もが気軽に参加でき、「インクルーシブ(すべてを包み込む)」をテーマにして開催された「さいきインクルーシブフェスタ2025」内にて、国際交流員が企画立案、運営したイベントを開催した。併せて、令和7年10月に開校した日本語学校(佐伯民際日本語学校)の留学生も出展、ベトナム高校生交流事業に参加する市内高校生が現地で行う予定の日本文化に関する発表も行った。 日時：令和7年10月26日(日) 場所：さいき城山桜ホール 内容：【オーストラリア】ドットペインティング体験、折り紙コアラ作り体験 【ベトナム】カラフルランタン作り体験、ノンラー・アオザイの試着体験、オ・アン・クアン体験 ② 国際交流員派遣事業 市内小中学校、高校、児童クラブ、公民館活動等の各種団体が実施する国際交流・国際理解促進事業へ、国際交流員を派遣した。 派遣期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日 派遣実績(延べ)：86か所、185時間 ③ 春休み英語教室 市内小学校4～6年生を対象に英語教室を実施した。 日時：令和7年4月1日～3日 10:00～12:00 場所：佐伯東地区公民館 参加者：9人 ④ 英語と文化交流イベント 大分県内を対象に参加者を募集し、「食事」・「観光地」・「休日」・「自然と気候」をテーマに、アクティビティやクイズを通じた対話イベントを実施した。 日時：令和7年7月13日(日)10:00～13:00 場所：佐伯地区公民館 参加者：20人(市内16人、市外4人) ⑤ 3日間楽しく英語を学ぼう！イベント 佐伯市内の小学生(4～6年生)を対象に、英語を使ってオーストラリアで人気のゲームなどを通じた英語学習イベントを実施した。 日時：令和7年7月29日～31日 10:00～12:00 場所：佐伯地区公民館 参加者：12人 ⑥ 高校生向けのグローバル英語レース 大分県内の高校生を対象に、英語を使いながら、外国の文化や動物、自然について学ぶイベントを実施した。 日時：令和7年12月14日(日) 10:00～13:00 場所：佐伯地区公民館 参加者：16人(市内14人、市外2人)
	姉妹都市交流事業 (オーストラリア/ グラッドストーン市) (観光・国際交流課)	①佐伯・グラッドストーン小中学校絵画交流展及び写真交流展 両市の小中学生等の書いた絵画作品及び両市民が撮影した写真を、それぞれの市で展示し、異なる文化の相互理解を深めた。 ※佐伯市での展示 日時：令和8年2月3日(火)～2月15日(日) 場所：さいき城山桜ホール アートプラザ ※グラッドストーン市での展示 日時：令和8年5月2日(土)～6月13日(土) 場所：グラッドストーン市美術・博物館 ②図書交流事業 両市のそれぞれの子どもたちにお互いの文化に触れてもらうため、絵本3冊ずつを送りあった。

佐伯市	包括連携協定締結都市交流事業（ベトナム社会主義共和国/ニンビン省） （観光・国際交流課）	①ベトナム社会主義共和国ニンビン省との高校生交流事業 令和5年にベトナム社会主義共和国ニンビン省と締結した包括連携協定に基づき、佐伯市内の高校生14人を派遣し、ニンビン省の高校生（ルオン ヴァン トゥイ高校）との交流活動（授業参加、佐伯市・日本文化の紹介）、ニンビン省の文化施設、史跡等の見学を通じた異文化交流の促進、両地域の友好交流の発展を図った。 日時：令和7年11月7日（金）～11日（火） 場所：ベトナム社会主義共和国ニンビン省 内容：高校生交流（英語での授業参加、交流会）、観光、省庁訪問等 ②ベトナムニンビン省への文化芸術団体派遣交流事業 令和5年にベトナム社会主義共和国ニンビン省と締結した包括連携協定に基づき、今年度は新たに「RENTAROオーケストラ九州（森田良平氏/さいき応援大使）」を派遣し、ニンビン省芸術団メンバーによるクラシック音楽、日本の音楽、ベトナム音楽のコラボレーションコンサートを実施した。 また、ケーブルテレビさいきに当日の様子の撮影及び番組制作を委託し、行政番組でコンサート内容やニンビン省に係る放映を行い、広く市民へ向けての広報も行った。 日時：令和8年1月21日（水）～25日（日） 場所：ベトナム社会主義共和国ニンビン省 内容：1月23日（金）20:00～、フレンドシップコンサート実施 観客約700名
	包括連携協定締結都市交流事業（台湾/台中市） （観光・国際交流課）	【目的】令和4年度に台中市とサイクルツーリズムに関するMOUを締結し、サイクリングを通じて将来的な両地域の更なる発展に向けた交流活動を実施した。 【実施時期】令和7年10月11日～10月14日 【事業内容】10月12日に本市で開催された、ツール・ド・佐伯2025に招待し、市内コースをサイクリングしてもらったほか、市内観光施設や名所旧跡等を案内し、本市の文化を体験してもらった。 【受入人数】6名
インバウンド推進事業 （観光・国際交流課）		【商談会への参加】 インバウンドの誘客を目的に、団体ツアーの誘致、FIT誘致に向け、現地の旅行会社へ市の魅力発信を行い、インバウンド観光入込客数・宿泊者数の増加を図った。また、さいきツーリズム戦略2024～2028ターゲットエリアの一つであるアジア圏を中心に、JNTO等からの聞き取りなどで現地の最新の来日観光客の動向について調査分析を行い、本市の観光コンテンツの磨き上げを行った。 （実施時期） ①台湾商談会 日程：令和7年6月11日～14日 場所：台北・高雄 内容：商談会 ②韓国現地営業 日程：令和7年10月29日～31日 場所：ソウル 内容：旅行会社個別営業 担当課：観光・国際交流課 事業実施主体：観光まちづくり佐伯（委託事業）
ツール・ド・佐伯2025 （観光・国際交流課）		【目的・事業内容】10月12日（日）に、市内で毎年開催されている、本市の風光明媚な山・川・海等の景色を見ながら、途中に設けられているエイドステーション（休憩所）で、地域のグルメを楽しむ自転車イベントを開催した。 【参加人数】1,107名が参加した。
九州オルレウオーキングフェスティバル （観光・国際交流課）		【目的・事業内容】1年に一度、九州に18コースあるオルレコースの中から開催される、九州オルレウオーキングフェスティバル2026が、さいき・大入島コースで開催され、オルレを通じて、日本と韓国の人々が互いの文化を理解し、九州全体としてのオルレのブランド力の向上を図った。 【実施時期】令和8年3月8日（日） 【受入人数】737名
地域日本語教育推進事業 （観光・国際交流課）		市内に居住する外国人が、初級レベルの日本語を習得し、地域や職場でのコミュニケーションが取れるようになることで、多文化共生社会の推進を図ることを目的に、日本語教室を実施した。 日時：令和7年8月13日（水）～11月8日（土） ※期間内の水曜日（18:00～）及び土曜日（13:00～）の全24回 場所：佐伯民際日本語学校（佐伯市蟹田9番5号） 内容：当初26名でのスタートとなったが、「JLPT対策ではない」ことを理由に受講を取りやめる受講者も生じた。講座内においてプレイスメントテストを初回と最終回に実施した結果、受講者全員の得点が向上し、アンケートにおいても全体として非常に良好な評価が得られた。また、単なる日本語能力の向上のみならず、国籍や勤務先を超えた新たな友人関係が構築される副次的な効果も見られた。 事業実施主体：株式会社京都民際（委託事業）
海外販路創出 （ブランド推進課）		佐伯市及び台湾において、「さいき産品」の販路創出に向けた企画及び現地事業者とプロモーションを実施し、販路を検討するとともに将来の輸出に向けた取り組みを行った。台湾の水産会社の方を佐伯市に招聘し、市内生産者を訪問。その後台湾にて、現地バイヤーや料理人を招集し、佐伯市産養殖ブリの試食会を実施した。 ①佐伯市招聘 生産者訪問 日程：令和7年8月16日（土曜日）～令和7年8月27日（水曜日） 場所：佐伯市内事業所 内容：商談及びYouTubeの撮影 ②台湾現地にて試食会実施 日程：令和8年3月19日（木曜日） 場所：台湾 台北市 内容：現地バイヤーや料理人を招集して試食会実施 参加者：48名 担当課：ブランド推進課 事業実施主体：佐伯市ブランド流通促進協議会

佐伯市	小中学校における日本語指導が必要な児童生徒への支援 (学校教育課)	支援を必要とする学校へ、日本語指導支援員を派遣した。 (活用実績：児童生徒6名)
	外国語指導助手派遣事業 (学校教育課)	幼小中学校における国際理解教育の推進に外国語指導助手(ALT)4名を活用するとともに、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を目指し、外国語活動や外国語科及び中学校英語科においてALTを活用した。 (実施時期：通年 派遣回数：958回)
	佐伯市グローバル人材育成事業 (学校教育課)	①APUとの交流事業の活用 希望する小中学校の児童生徒を対象に、APU学生が学校を訪問し、APU学生の出身国の文化や生活の様子について紹介してもらったり、学んだ英語を使ってインタビューをしたりするなどのコミュニケーションを図る活動を行った。 (実施時期：通年 活用実績：2校延べ3回) ②国際交流員・ALTの活用 ・国際交流員の出身地の言語や文化等に触れ、児童生徒の異文化に対する興味・関心を喚起し国際感覚を養い、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図ることを目的に活用した。 (実施時期：通年 活用実績：小学校4校延べ5回、中学校1校1回) ・中学生を対象に、異文化に対する興味・関心を喚起し、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、国際交流イベントを年2回実施した。 (第1回：中学生5名、第2回：中学生4名・高校生5名)
臼杵市	食文化創造都市推進事業 (産業観光課)	食文化創造都市臼杵の確立に向けた各種プロジェクト(海外交流イベントへの参加)を実施した。 ○第17回ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会 【開催期間】2025年6月23日(月)～24日(火) 【開催場所】アンギャン・レ・バン(フランス) 【参加都市】約200都市(参加者：500名以上) 【派遣人員】3名 ユネスコ創造都市ネットワークに加盟する都市の首長、担当者、ユネスコ関係者などが集い、加盟都市間の繋がりの強化や、ネットワークの更なる発展に向けた戦略議論を行うことを目的とした総会。毎回テーマが設定され、会議ではそのテーマに沿った取組が発表される。 今回は「持続可能な都市開発の創造的な役割にAIを取り入れる」というテーマのもと、さまざまな事例発表などが行われたほか、創造都市の首長・副首長のみが参加できる市長フォーラムでは、AIを地域レベルから世界レベルまでの文化体系に組み込むための考察やビジョンを共有した。 ○マカオ国際食文化創造都市フェスティバル2025 【参加期間】2025年7月11日(金)～19日(土) 【開催場所】マカオ特別行政区(中国) 【参加都市】35都市 【派遣人員】3名 ユネスコ食文化創造都市の関係者が集う「マカオ国際食文化フォーラム」や、食文化創造都市の料理人が調理実演を行う「食文化創造都市ショーケース」などを通じて、各都市の持続可能な発展につなげることを目的に開催された。フォーラムでは有識者による基調講演やパネルディスカッションのほか、食文化創造都市による事例発表が行われ、ショーケースやサイドイベントでは郷土料理が披露された。 ○第2回プエブロス・デル・マイス 【参加期間】2025年9月3日(水)～7日(日) 【開催場所】ベルガモ(イタリア) 【参加都市】4都市 【派遣人員】3名 とうもろこしに縁のある創造都市が各々開催しているイベントで、臼杵市から参加した料理人が調理ショーやコラボディナーにおいて腕を振るった。また、現地大学で行われた創造都市の取り組みに関する事例発表で、臼杵市のネットワーク加盟から現在までの取組みや課題について講演し、参加都市の担当者と知見を共有した。今後、もちとうきびなどの在来作物の活用に取り組むために有益な経験を得る貴重な機会となった。 ○令和7年度ユネスコ創造都市ネットワーク 丹波篠山市国際会議 【参加期間】2025年9月12日(金)～14日(日) 【開催場所】兵庫県丹波篠山市 【参加者】約200名 【派遣人員】2名 丹波篠山市のユネスコ創造都市ネットワーク加盟10周年を記念して開催された国際会議。海外から4都市、国内から9都市が招待された。最終日のイベントでは「食と工芸のコラボレーション」として丹波焼の器を使い、臼杵市・鶴岡市・丹波篠山市の3都市でワンプレートの昼食を提供した。 ○食文化創造都市サブネットワーク会議 【参加期間】2025年10月30日(木)～11月1日(土) 【開催場所】メリダ(メキシコ) 【参加都市】19都市41名 【派遣人員】2名 ユネスコ創造都市ネットワークの食文化分野に加盟する都市の担当者会議。今年は世界19都市から担当者が集まり、若者の食文化教育や、食文化施策を推進する運営体制、気候変動が食文化に与える影響など、さまざまなテーマについて意見を交わした。

臼杵市	外国人技能実習生定着支援事業 (産業観光課)	○臼杵文化体験ツアー 市内の各企業で働く技能実習生等の方に本市が誇る味噌・醤油や地酒などの醸造業、国宝臼杵石仏や二王座歴史の道に代表される歴史と文化を体験してもらい、本市への理解を深めてもらい技能実習生期間の安定的な定着のために、体験ツアーを開催した。 【事業実施主体】株式会社メタソフィア(委託事業) 【参加事業所】11社(出身国:5ヶ国) 【開催日時①】11月15日(土) 【開催場所】臼杵市内 【参加者】12名 【行程】セミナー～座禅体験～昼食(臼杵の食文化体験)～国宝臼杵磨崖仏見学～臼杵せんべい手塗り体験・工場見学～酒蔵見学～ソフトクリーム試食～まとめ 【開催日時②】11月16日(日) 【開催場所】臼杵市内 【参加者】27名 【行程】セミナー～座禅体験～昼食(臼杵の食文化体験)～ソフトクリーム試食～酒蔵見学～地酒で乾杯条例イベント参加(商店街職人見学)～臼杵城址見学～稲葉家下屋敷見学～八坂神社見学～まとめ(民俗舞踊等披露)
津久見市	台湾における大分県単独商談会参加 (商工観光・定住推進課) ※要確認	【実施日時】令和7年6月11日(水)～6月13日(土) 【事業実施主体】公益社団法人ツーリズムおおいた 【派遣人数】2人 【イベント参加旅行会社】 ○台北会場103社 ○高雄会場36社
	2025年 津久見市日本語教室 (商工観光・定住推進課)	事前に、市内で外国人労働者を雇用している事業所(9社)を訪問しニーズ調査等を実施し、①初級(入門者)コース(②日本語能力検定(JRPT)N3レベルコースの2コースに分け計8回の日本語教室を開催した。 実施時期:令和7年10月28日～11月29日 計8回(毎週火・土曜日) 開催場所:津久見市役所会議室 講 師:立命館アジア太平洋大学教授 参 加 者:①初級(入門者)コース(18名) ②日本語能力検定(JRPT)N3レベルコース(13名) 合計31名(ベトナム、インドネシア、カンボジア、フィリピン、ミャンマー、インド、オーストラリア、アメリカの8か国) そ の 他:数名のボランティアスタッフ参画、最終回には、所属事業所の経営者・関係者等の参加あり。
	外国語指導助手招致事業 (学校教育課)	市内の小中学校における英語学習及び国際理解教育の充実のため、外国語指導助手を招致し市内小中学校に派遣した。 実施期間 通年 招致数(外国語指導助手) 2名【JETプログラム】 市内中学校英語弁論大会のアドバイス等行った。 実施日 9月9日 隣接市の中学校弁論大会審査員として派遣依頼を受け派遣した、 実施日 9月5日
竹田市	ドイツ語教室 (商工観光課)	毎週火曜と水曜日に、ドイツ語教室を開催 ドイツ語及びドイツへの関心を深める取組みを実施 日 時:毎週 火曜日・水曜日 事業内容:初級者向け及び中級者向けドイツ語教室
	ランゲージ交流 ルーム (商工観光課)	ALTらとともに、英語と日本語の両方を使って会話やゲームを行いながら、楽しく言語を学ぶことができる事業を実施し、多文化理解及び国際交流の推進を図った。 日 時:毎週 水曜日(第1水曜日を除く) 場 所:いきいき交流センター(竹田市総合社会福祉センター内)
豊後高田市	外国語指導助手招致事業 (学校教育課)	JETプログラムによる外国語指導助手2名を招致し、小・中学校での英語教育授業の助手、幼稚園での英会話授業のための活動を実施。 実施時期:通年 派遣場所:中学校6校、小学校11校、幼稚園2園(市内全校)
	学びの21世紀塾「いきいき寺子屋活動事業・英会話教室」 (学校教育課)	外国語に堪能な市民講師等を起用し、英語を使った遊びや身近な会話に慣れ親しむ講座を開設して、子供たちの国際感覚と英語でのコミュニケーション能力の向上を図った。 実施時期:令和7年4月～令和8年3月 会 場:市内5会場(幼稚園2園、小学校3校) 参 加 者:年長児47名・小学生199名(いずれも希望者のみ)
	幼稚園英会話活用事業 (学校教育課)	市内の公立幼稚園2園の園児を対象に、ALTが幼稚園を訪問し英会話を週2日実施。また、昼食時にZOOMを使用し、園児とのコミュニケーションを週3回行った。 実施時期:通年 会 場:公立幼稚園2園(夢いろ幼稚園、キラリいろ幼稚園) 参 加 者:幼稚園児(全園児)

豊後高田市	外国人材の活用による 明日につながる共生社 会創造事業 (商工観光課)	【事業の概要】 外国人材との共生、活用の推進と国際交流事業の展開を推進するため、外国人技能実習制度における監理団体の事業展開と運営基盤の整備を図り、多国籍な在留者の受入環境を整備する等適正な制度運用を促進するほか、地域で安心・安全に暮らしていけるよう在留者と受入側の地域住民相互が交流し理解を深めることが出来る場を創出した。 □語学教室の開催 外国人技能実習生や特定技能外国人をはじめとした外国人のコミュニケーション向上のための語学教室を開催した。 ○日本人向け ベトナム語教室13回、ミャンマー語教室8回 インドネシア語教室5回 開催 ○外国人向け 日本語教室 随時開催 □国際交流促進事業 ○市の一大イベントである「豊後高田五月祭」での海外の飲み物やお菓子等の販売ブースの設置 同イベントのステージイベントで、技能実習生によるベトナムとミャンマーの民族舞踊を披露し、市内の少年少女合唱団と合同で、総勢120名の日本人と外国人で大合唱を行った。 実施日 5月17日・18日 参加者 約120人 ○国際交流料理教室の実施 ベトナム、ミャンマー、インドネシアの実習生が、それぞれの国の料理をふるまい、料理を通じた国際交流を図った。 実施日 7月13日 参加者 約20人 ○豊後高田市観光盆踊り大会に、外国人・日本人合同チームで出場 実施日 8月18日 参加者 31人 ○県民体育（綱引き競技）に外国人チームでの出場 実施日 9月7日 参加者 10人 ○豊後高田市・BIC共催 留学生向け企業交流会 市内企業の将来的な採用検討に繋げるために、技人国を取得しうる外国人留学生を県内外から招き、説明会形式で市内企業との交流会を開催した。 実施日 11月1日 参加者 40人 市内企業 40社 ○市の工業連合会と共同で、日本人・外国人問わず参加できる企業対抗のフットサル大会を開催し、約150名の日本人・ベトナム人・ミャンマー人、インドネシア人がスポーツを通じて交流した。 実施日 11月8日 参加者 147人 ○技能実習生等を対象としたクリスマス会を開催し、市内の高校生や市民の方を招き、合唱やレクリエーションを通じて交流を図った。 実施日 12月20日 参加者 71人 ○市主催の二十歳の集いにおいて日本人と同じく二十歳を迎える外国人も参加を促し、振袖の着付け等の支援を行った。 実施日 令和8年1月2日 参加者 7人 ○外国人向け防災バスツアーの実施 外国人に災害時の対応を知ってもらうため、豊後大野市で開催された外国人向けの防災訓練に参加した。 実施日 令和8年3月1日 参加者 19人 ○外国人合同カラオケ大会の実施 実施日 令和8年3月8日 参加者 23人 ○子ども向け出前講座 学校や公民館等にて、外国人材についての講座を市内の小中高生向けに開催 開催回数 計5回 ○外国人向けバトミントン教室の開催
	外国人受入環境整備事業 (商工観光課)	□受入環境整備事業 外国人技能実習生や特定技能外国人をはじめとした外国人が楽しく、安全に、安心して暮らすことができるよう、11ヵ国語対応の多言語相談窓口の運営を行った。 相談件数：154件 (ベトナム人110人、ミャンマー人23人、インドネシア3人、日本人18人)

豊後高田市	外国人技能実習制度導入国際貢献事業 (商工観光課)	インドネシアの外国人技能実習生や特定技能外国人が増加しているなか、市の会計年度任用職員としてインドネシア人通訳者を新たに雇用することで、技能実習生や特定技能外国人の支援体制の充実を図った。 また、外国人技能実習生や特定技能外国人をはじめとした外国人が楽しく、安全に、安心して暮らすことができるよう、11ヵ国語対応の多言語相談窓口の運営を行った。 事業主体 豊後高田International Contribution事業協同組合																																																						
杵築市	ゴミの出し方 (市民生活課)	英語版「ごみの出し方」を作成し、市公式ウェブサイトに掲載したほか、窓口で配布した。 実施期間：通年																																																						
	母子手帳交付 (福祉事務所)	外国語版（英・タガログ・タイ・ポルトガル・ハングル・ベトナム・中国・インドネシア）を準備している。 実施期間：通年																																																						
	外国語指導助手設置事業 (学校教育課)	児童・生徒の英語の発音や国際理解教育の向上を目的に、市内幼小中学校へALTを派遣し外国語活動及び外国語（英語科）の授業を補助した。 令和7年度はJETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）を利用し2名のALT、市雇用で1名のALTコーディネーターを配置した。 実施期間：通年 配置人数：ALT2名 ALTコーディネーター1名																																																						
	万博国際交流プログラム (みらい都市創生課)	令和7年度は、万博開催当年度であるため、本市の未来を担うこども達に「世界の今を知り、未来を考え想像する場」である万博へ参加してもらい、夢や力を育み、みらいへ希望を抱けるものとし、グローバル人材の育成や多文化共生の理解を深める取り組みを実施。 ・ジンバブエ共和国パビリオンでのネリカ米種まき企画 5/8 ・ブルンジ共和国ナショナルデー参加 6/14～15（児童・生徒45名参加） ・ジンバブエ共和国ナショナルデー参加 7/15～16（市内5事業者参加） ・万博会場内でのネリカ米収穫祭企画 9/26 （ジンバブエ・ブルンジ共和国、博覧会協会、JICA、内閣官房、万博首長連合等関係者出席）																																																						
宇佐市	姉妹・友好都市交流事業 (秘書広報課) (議会事務局) (秘書広報課)	○大韓民国 慶尚北道慶州市（姉妹都市） ・両市の大会やイベント等において、交流団を招請し文化紹介するとともに、友誼を深め、PRすることを目的とする。 ■第32回慶州さくらマラソン職員出場 期日：令和7年4月5日～7日 内容：職員2名の訪問及び出場・宇佐市のPR・交流 場所：慶州市 ■議員交流 期日：令和7年7月30日～8月1日 内容：慶州市議会議員交流団と宇佐市議会議員との交流。宇佐神宮夏越祭りへの参加と観光PR 場所：宇佐神宮 (議会事務局) ■宇佐市国際親善特別名誉市民贈呈 期日：令和8年3月19日 内容：慶州市議会議長（李東協 氏）への贈呈 場所：宇佐市役所 (秘書広報課)																																																						
	職員国際研修事業 (秘書広報課)	○大韓民国 慶尚北道慶州市（姉妹都市） 姉妹都市締結に伴い、両市の友好協力の追求とさらなる交流を深めるとともに、職員の国際感覚の向上と相互理解を目的とした相互研修を行う。令和7年度は慶州市へ職員を1名派遣。 期間：令和7年4月16日～10月15日																																																						
	宇佐市高校生語学力向上促進事業 (総合政策課)	目 的：市内高校生の英語力及び学習意欲の向上を図るため、資格検定試験の受験に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 実施時期：1年間 事業内容：一定以上の成績を収めた各資格検定試験に係る検定料の2/3以内の額（千円未満の端数切捨）を補助する。 ・補助対象者：補助金の交付対象者は、市内高校生の保護者とする。 ・補助対象経費：補助金の交付対象経費は、市内高校生が一定以上の成績を収めた各資格検定試験に係る検定料の2/3以内の額（千円未満の端数切捨）。ただし、毎年度、資格検定試験2回分を限度とする。 実施主体：宇佐市高校生語学力向上推進委員会 補助実績：以下参照 令和7年度 市内高校生語学力向上促進事業 補助金実績 内訳 単位：人 <table><tr><th>検定試験名</th><th>1回目</th><th>2回目</th><th>3回目</th><th>合計</th></tr><tr><td>英検準2級（S-CBT）</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr><tr><td>英検準2級（準会場）</td><td>6</td><td>7</td><td>1</td><td>14</td></tr><tr><td>英検準2級（本会場）</td><td>4</td><td>6</td><td>9</td><td>19</td></tr><tr><td>英検準2級プラス（本会場）</td><td></td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>英検2級（S-CBT）</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>英検2級（準会場）</td><td>3</td><td>4</td><td></td><td>7</td></tr><tr><td>英検2級（本会場）</td><td>8</td><td>1</td><td>7</td><td>16</td></tr><tr><td>英検準1級</td><td>3</td><td></td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>英検1級</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>24</td><td>22</td><td>20</td><td>66</td></tr></table>	検定試験名	1回目	2回目	3回目	合計	英検準2級（S-CBT）		1		1	英検準2級（準会場）	6	7	1	14	英検準2級（本会場）	4	6	9	19	英検準2級プラス（本会場）		2		2	英検2級（S-CBT）		1	1	2	英検2級（準会場）	3	4		7	英検2級（本会場）	8	1	7	16	英検準1級	3		1	4	英検1級			1	1	合計	24	22	20
検定試験名	1回目	2回目	3回目	合計																																																				
英検準2級（S-CBT）		1		1																																																				
英検準2級（準会場）	6	7	1	14																																																				
英検準2級（本会場）	4	6	9	19																																																				
英検準2級プラス（本会場）		2		2																																																				
英検2級（S-CBT）		1	1	2																																																				
英検2級（準会場）	3	4		7																																																				
英検2級（本会場）	8	1	7	16																																																				
英検準1級	3		1	4																																																				
英検1級			1	1																																																				
合計	24	22	20	66																																																				

宇佐市	台南・別府・宇佐 三市 観光交流協定の締結 (観光・ブランド課)	台湾・台南市、別府市及び宇佐市の三市による観光交流協定を締結した。この協定は、三市が持つ特色ある観光資源を相互に活用し、地域間の交流と誘客を図ることを目的としている。また、協定締結にあわせて開催された「大台南トラベルフェア」に別府市と合同出展し、宇佐神宮御鎮座1300年関連情報をはじめ、本市の観光資源をPRし、合同出展により発信力を高め、台湾市場における認知度向上を図った。 ○台南・別府・宇佐 三市観光交流協定の締結式 開催日：令和7年11月20日（木） 開催場所：台南市政府庁舎 ○大台南トラベルフェア 開催日：令和7年11月21日（金）、24日（月） 開催場所：大台南コンベンションセンター ブース来場者数：約2,000人
	台湾における観光商談会 (観光・ブランド課)	ツーリズムおおいたが主催する台湾での観光商談会への参加 開催日時：令和7年6月 開催内容：台湾旅行会社との旅行商品造成商談会 台北会場：83社参加（12旅行会社と商談） 高雄会場：21社参加（11旅行会社と商談）
	民間事業者が実施する インバウンド向け企画 支援 (観光高付加価値化事業) (観光・ブランド課)	(株)OUGIが実施したインバウンド向け神楽体験 宇佐市に伝承される「豊前岩戸神楽」を題材にした、高付加価値な体験型観光ツアーの開催支援
	両合棚田再生プロジェクト事業 (観光・ブランド課)	本市の世界農業遺産シンボルスポットである両合地域の棚田再生に向けた取り組みの一環として、以下の事業を実施した。 ○教育旅行・観光ツアー受入事業 一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏と連携し、インバウンドツアーを3件受け入れた。饅頭作り体験等を通して、地域住民との国際交流を行った。 実施時期：令和7年10月～11月 参加者：ツアー客35人、旅行会社関係者、地域住民 実績内訳：①令和7年10月13日（月） イギリス人ツアー（ツアー客10人） ②令和7年10月16日（木） オーストラリア人ツアー（ツアー客13人） ③令和7年10月30日（木） オーストラリア人ツアー（ツアー客12人） ○立命館アジア太平洋大学（APU）交流事業 APUのカゼム教授を中心に学生へ参加を呼びかけ、両合棚田でのフィールドワークを実施した。 実施時期：随時 参加者：APU教授、APU学生12人（複数回参加）、地域住民月
	宇佐市中学生短期留学事業 (学校教育課)	【目的】 次代を担う中学生を海外に派遣し、外国での学事業生活体験を通して見聞を広め、国際化社会を担う豊かな国際感覚を身に付けた人材の育成を図る。 【実施時期】 令和7年8月15日（金）～21日（木）の7日間 【事業内容】 ハワイ州・オアフ島ホノルル周辺への現地留学 ・ホームステイによる現地での生活体験 ・現地学校との交流 ・太平洋航空博物館や戦争体験談による平和学習 ※渡航前に英語の事前学習を実施。渡航後に事後学習会とレポート発表会を実施 【事業実施主体】 宇佐市教育委員会 【受入又は派遣人数】 市内中学生10人、引率者3人 【ホームページ】 https://www.city.usa.oita.jp/sougo/soshiki/18/gakkokyoiku/ryugaku/tankiryugaku/reiwa7nen/index.html

豊後大野市	海外友好都市交流事業 (まちづくり推進課)	友好都市と豊後大野市の市民の相互交流を推進し、海外との交流事業を通じて、国際理解や国際感覚を高め、国際人の育成を図った。 ●ネパール国ムシコット市との「友好交流協定書」調印式 ・実施日 令和7年5月24日 ●友好交流都市交流 ○豊後大野市制施行20周年式典に伴う海外友好都市招へい ・実施日 令和7年5月25日 ・参加都市 ネパール国ムシコット市、中国荊州区 ○大韓民国機張郡中学生ホームステイ交流 (市内中学生訪問及び機張郡長安中学生受入) ・実施日 令和7年7月25日～令和7年7月27日(受入) 令和7年8月1日～令和7年8月3日(訪問) ・参加者 32名 ○香港中文大学ホームステイ交流 (香港中文大学生 わかあゆ国際交流協会受入) ・実施日 令和7年7月15日～令和7年7月28日(受入) ・参加者 10名 ○中国荊州区表敬訪問 ・実施日 令和7年10月27日～令和7年10月29日 ・参加者 4名 ○大韓民国機張郡ホームステイ交流 (機張郡訪問) ・実施日 令和7年11月18日～令和7年11月21日(訪問)
	外国語指導助手派遣事業 (まちづくり推進課)	外国語指導助手4名を採用し、市内の小学校外国語活動・中学校英語授業等において国際理解の推進を図った。 ・実施時期：通年
	日本語ボランティア事業 (まちづくり推進課)	○日本語ボランティア養成講座 日本語教室で日本語ボランティアとして活動してくれる人の養成を行った。 ・実施日 令和7年7月24日(木)～令和7年10月2日(木) ・実施回数 全8回 ・受講者 11名 ○日本語ボランティアスキルアップ研修 ・実施日 令和7年6月26日(木)～令和8年2月25日(水) ・実施回数 4回 ・参加者 49名(延べ人数) ○日本語教室 市内に在住する外国人市民に、簡単にわかりやすい日常生活に必要な日本語を教えるとともに、関わる機会を持つことでお互いが地域の一員としてより暮らしやすくなるよう交流を図った。 ・実施時期 令和7年4月～令和8年3月 ・実施回数 72回 ・参加者 日本語ボランティア 215名(延べ人数) 市内在住の外国人 238名(延べ人数)
	国際交流員事業(韓国語教室) (まちづくり推進課)	豊後大野市国際交流協会の会員を対象に、韓国語及び韓国文化の理解を深めるために韓国語教室を開催した。 ・実施日 令和7年6月24日(火)～8月26日(火) ①テーマ韓国語(難易度：初級) - 実施回数 全8回 - 受講者 9名 ②メディア韓国語(難易度：中級) - 実施回数 全8回 - 受講者 9名
	国際交流員事業(文化講座) (まちづくり推進課)	豊後大野市国際交流協会の会員を対象に、外国の文化に触れることで国際理解への関心を高めるため、文化講座を開催した。 ①第1回文化講座 簡単に作れる韓国の家庭食 - 実施日 令和7年7月19日(土) - 参加者 16名 ②第2回文化講座 韓国式で冬を迎えよう！ - 実施日 令和7年10月25日(土) - 参加者 15名
	英語講座事業 (まちづくり推進課)	外国語指導助手(ALT)の講師(4名)のもと、英会話を学びながら、異文化に触れる機会を創出した。 ・実施時期 通年(毎週水曜日)

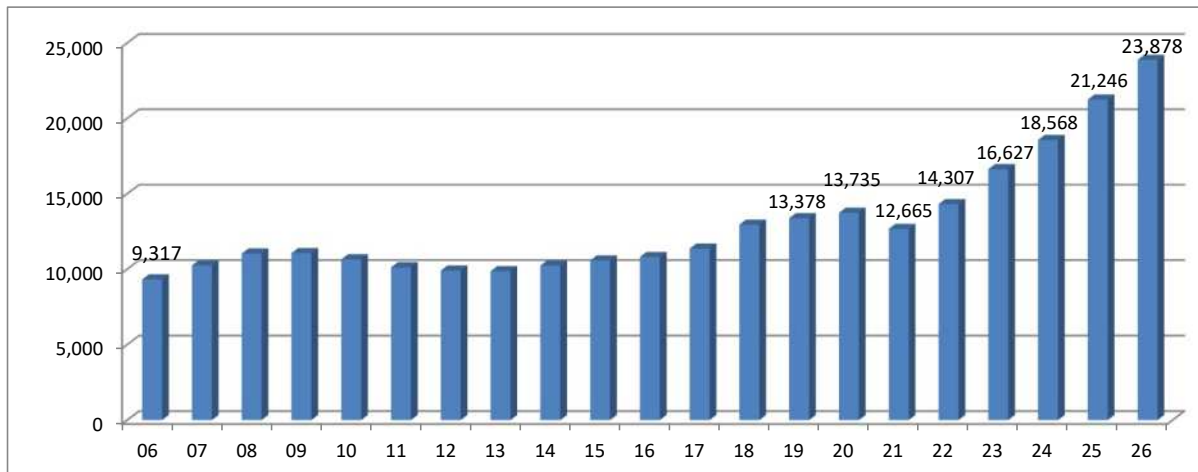
豊後大野市	外国市民交流事業 (まちづくり推進課)	小学生が新しい感覚や異文化を体験し国際的な視野を広げることを目的として、外国人住民と小学生を対象に交流事業を行い、外国人住民が地域住民とふれあう機会を創出した。 ○Bungoonoともとも ～友になって共に暮らそう～ ・実施日 令和7年12月13日(土) ・参加者 市内小学生 児童 12名 市内在住の外国人 6名 国際交流員 1名 ほか
	放課後チャレンジ教室 (まちづくり推進課)	放課後や土曜日等の休日に、各小学校区単位で行われる「放課後チャレンジ教室」の中で、国際交流員が韓国の文化等を教えた。 ①実施日 令和7年8月27日 場 所 緒方小学校 参加者 10名 ②実施日 令和7年9月17日 場 所 三重第一小学校 参加者 32名 ③実施日 令和7年9月24日 場 所 三重東小学校 参加者 24名 ④実施日 令和8年1月14日 場 所 新田小学校 参加者 10名 ⑤実施日 令和8年1月28日 場 所 菅尾小学校 参加者 9名 ⑥実施日 令和8年2月18日 場 所 百枝小学校 参加者 14名
由布市	外国語指導助手派遣事業 (学校教育課)	A L T を2名任用し市内の小学校に配置、外国語指導助手2名を市内の中学校に派遣し、小学校外国語活動・中学校英語授業等において国際理解の推進を図る。 実施時期：通年
	APU留学生との教育 交流事業 (学校教育課)	市内の小・中学生が総合的な学習の一環として、国際交流と英会話の実践活動を目的にAPUを訪問し交流を行う。 実施時期：通年
	日本語教室 (社会教育課)	目的：外国人の日本語のスキルアップを目指す。 実施時期：令和8年3月17日(火)、24日(火) 31日(火) 事業内容：日本語能力試験N1～N2(上級)レベルの者で5名(台湾出身：1名、韓国出身2名、インドネシア出身1名、香港出身1名)に対し日本語教室を行った。 事業実施主体：湯布院公民館の主催教室 講師 安部 円 氏
	観光振興事業 (商工観光課)	外国人観光客誘致に向け、昨年に引き続き、観光拠点施設等へ外国語版パンフレットを配置し、P R 活動を実施した。 ・外国語版パンフレット(英) 1,665部 ・外国語版パンフレット(中・簡) 540部 ・外国語版パンフレット(中・繁) 2,890部 ・外国語版パンフレット(韓) 585部
	商工振興活性化事業 (商工観光課)	「魅力ある職場づくり支援事業補助金」中の対象事業「人材確保事業」として、市内中小企業者の外国人材の安定的な受入れや定着に向けた取組に対し支援を行った(市報・HP等で周知を行ったが、当該事業による申請は0件であった)。 以下補助内容 ・補助金額 上限10万円 補助率1/2 (特別枠の場合、上限30万円 補助率4/5) ・対象事業 ①外国人材の日本語能力の向上につながる取組 ②外国人材が日本文化や市内の歴史・自然等を体験する取組 ③外国人材と地域との交流を図る取組
国東市	国東市官民合同教育文化国際交流事業 (社会教育課)	文化交流を企画・実施する民間団体への支援や外国人研修生等との交流を通じて市内の子どもたちの国際感覚の醸成をめざす。 ①世界夢一文字コンテスト ■目 的：自身の「夢」を漢字「一文字」で表現することによって、目標実現に向けての意欲向上や、新たな「夢」の発見、「自己実現」へとつながる取り組みである。また、国際交流のコンテンツのひとつと位置付け、参加者は国籍を問わないグローバルな取り組みとし、書道という文化を通じた交流を目的とする。 ■主 催：国東半島あいルネサンス連盟 ■内 容：はがきに漢字「一文字(毛筆)」と選んだ理由を書き応募 ■作品募集：令和7年12月1日～令和7年12月31日 ■応募総数：5,900点 <内訳> 日本：2,158点 台湾：3,646点 カンボジア：71点、ドイツ1点 フランス15点、アメリカ9点 小学生：2,595点 中学生：1,200点 高校生：1,215点 大学生：478点 一 般：412点 ★応募一文字ランキング★ 1位2位 3位 4位 5位 一文字「夢笑 勝 挑 進」 ■表 彰 式：令和8年2月21日(土) 実施 ■展 示 ・大分空港2階出発ロビー ・ホテルベイグランド国東 ・国東市小・中・義務教育学校

国東市	台湾における大分県単独商談会参加 (観光・地域産業創造課)	大分県への台湾観光客の誘客を目的として、台北市・高雄市の各会場にて行われた「台北における大分県単独商談会」にブースを出展し、参加した現地の旅行会社に国東市のPRを行った。 【実施日時】 令和7年6月12日～6月13日 【イベント参加旅行会社】 ◎台北会場（2025年6月12日）：99社（149名） ◎高雄会場（2025年6月13日）：35社（56名）
日出町	モンテモル・オ・ヴェーリヨ市姉妹都市記念事業 (政策推進課)	1, フェルナン・メンデス・ピント像（モンテモル・オ・ヴェーリヨ市寄贈）設置除幕式及びレセプションを実施。 開催日：2026年3月20日（金祝）10：00 参加者数 約50名 来賓 ボルトガル協和国 特命全権大使 ジルベルト・ジョルジェ・デ・ソウザ・ジェロニム モンテモル・オ・ヴェーリヨ市代表 市長代理：アナ・マリア・ドス・サントス・リベイロ 市長補佐官：ヌーノ・サンタ・リタ 2, 文化講演会の実施 フェルナン・メンデス・ピントと日出町と題して日出町歴史資料館の平井館長が講演 開催日：2026年3月20日（金祝）13：00 参加者数：約100名
	台湾新竹市観光訪問団歓迎事業 (政策推進課)	台湾新竹市より代理市長を団長とする訪問団約15名がハーモニーランド及び日出町を視察。日出町との観光・人的交流についての意見交換が行われた。 日時2025年12月20日（土）
九重町	A P Uホームステイ事業 (社会教育課)	A P Uで学ぶ留学生を町内家庭で受け入れ、地域住民との交流を通じて相互理解を深めるため、留学生を受け入れ、ことを目的とする。ホームステイや地域行事への参加、町内小中学校への訪問を通じて、受入家庭や児童生徒に多様な文化や価値観に触れる機会を提供し、地域における国際交流の推進を図った。 (実施時期) 令和7年9月18日～令和7年9月20日 (実施主体) 九重町 (事業内容) 1. ホストファミリーとの交流 ・地域行事への参加 ・町内周遊 ・文化体験 等 2. 町内小中学校での交流 ・授業への参加 ・給食体験 ・留学生による自国のプレゼンテーション (関係人数) 受け入れ学生数 10名 受け入れ家庭数 7家庭
	台湾友好都市交流事業 (社会教育課)	友好都市である台湾花蓮県豊濱郷からの訪問団を受け入れ、教育、産業、地域活動の各分野において交流を実施した。訪問団は各分野の取組に強い関心を示しており、今後の交流促進につながる有意義な機会となった。あわせて、本町においても異文化理解の促進及び国際的視野の醸成につながる取組となった。 (実施時期) 令和8年3月13日（金）～3月14日（土） (事業内容) 1. 教育交流（小学校の取組の紹介、授業風景の見学） 2. 農業交流（地元農家との交流および意見交換） 3. 観光交流（観光コンテンツ体験、花火大会） 4. 住民交流（地域食堂参加および文化体験） (関係人数) 訪問団9名、町関係者134名
	高校生モンゴル派遣事業 (社会教育課)	町内の高校生を友好関係のあるモンゴル国に派遣し、現地の高校生や住民との交流・文化体験を通じて、国際的な視野と豊かな人間性を育むとともに、将来的に地域や社会に貢献できる人材の育成を図った。 (実施時期) 令和7年8月2日～令和7年8月7日 (事業内容) 1. 文化体験 2. 現地の高校生との交流 3. 施設の見学 (関係人数) 参加高校生 3名
玖珠町	玖珠町青少年国際交流研修生派遣事業 (みらい創生課)	町内の中学生がアメリカ合衆国でのホームステイを経験することにより、外国の文化、歴史、風土等に接することで、外国の人々との相互理解と国際協調の精神を養い、国際的な感覚豊かな人材の育成を目的に実施。 7月25日～8月15日 アメリカ合衆国 ワシントン州アイランド郡オークハーバー 参加者数：中学生 3名
	台湾彰化市交流ツアー (みらい創生課)	交流協定を締結している台湾彰化市へ町民を募集して訪問。扇形機関庫の視察、カーニバルへの参加などを行った。 3月7日～3月9日 場 所：台湾彰化市 参加者数：10名

多文化共生社会づくりの状況

3 在留外国人の状況

令和8年6月末時点の外国人数は23,878人となり、令和7年6月末より2,632人増加。国籍別に見ると、インドネシアが1,050人と増加幅が最も大きく、次いでミャンマー694人、ネパール394人、フィリピン172人の増となっている。



※法務省在留外国人統計より引用
2023年以降国際政策課調べ

大分県在留外国人数 23,878人

国籍・地域別在留外国人数

(令和8年6月末時点 国際政策課調べ)

アジア		ヨーロッパ		アフリカ		北アメリカ	
アフガニスタン	58	アイスランド	2	ウガンダ	11	エルサルバドル	2
イエメン	1	アイルランド	5	エジプト	7	カナダ	68
イスラエル	2	イタリア	31	エスワティニ	1	グアテマラ	5
イラク	2	ウクライナ	31	エチオピア	15	コスタリカ	6
イラン	12	ウズベキスタン	41	エリトリア	1	ジャマイカ	7
インド	270	英国	70	ガーナ	12	ドミニカ共和国	3
インドネシア	4,089	エストニア共和国	2	ガボン	1	トリニダード・トバゴ	4
韓国	1,496	オーストリア	3	カメルーン	10	ニカラグア	1
朝鮮	101	オランダ	12	ガンビア	3	米国	364
カンボジア	444	カザフスタン	10	ギニア	3	ホンジュラス	2
シリア	3	ギリシャ	3	ケニア	25	メキシコ	38
シンガポール	16	キルギス	10	コートジボワール	2	合計 (11ヶ国)	500
スリランカ	1,118	ジョージア	1	コンゴ	1	南アメリカ	
タイ	324	スイス	7	コンゴ民主共和国	3	アルゼンチン	6
台湾	147	スウェーデン	9	ザンビア	1	ウルグアイ	3
中国	2,159	スペイン	11	シエラレオネ	4	エクアドル	2
トルコ	8	スロバキア	2	ジンバブエ	6	コロンビア	8
ネパール	1,741	タジキスタン	12	スーダン	3	チリ	2
パキスタン	97	チェコ	10	セネガル	15	パナマ	2
バングラデシュ	431	デンマーク	2	ソマリア	6	パラグアイ	3
フィリピン	2,402	ドイツ	27	タンザニア	11	ブラジル	62
ブータン	6	トルクメニスタン	2	チャド	1	ベネズエラ	2
ブルネイ	2	ノルウェー	11	チュニジア	1	ペルー	21
ベトナム	3,658	ハンガリー	7	ナイジェリア	43	ボリビア	3
マレーシア	64	フィンランド	8	ブルキナファソ	5	合計 (11ヶ国)	114
ミャンマー	3,535	フランス	50	ブルンジ	2	オセアニア	
モルディブ	2	ブルガリア	3	ベナン	1	オーストラリア	56
モンゴル	206	ベラルーシ	1	ボツワナ	4	サモア	7
ラオス	21	ベルギー	5	マダガスカル	1	ソロモン	11
計 (29ヶ国・地域)	22,415	ポーランド	7	マラウイ	1	トンガ	11
		ポルトガル	5	南アフリカ共和国	20	ニュージーランド	27
		モルドバ	2	モザンビーク	5	バプアニューギニア	14
		ラトビア	2	モーリシャス	2	パラオ	3
		リトアニア	1	モロッコ	4	フィジー	29
		ルーマニア	4	リベリア	11	マーシャル	1
		ロシア	24	ルワンダ	4	合計 (9ヶ国)	159
		計 (36ヶ国・地域)	433	レソト	1	無国籍	5
				合計 (37ヶ国)	247	不明・未定など	5
						合計 (133ヶ国・地域)	23,878

4 留学生の状況

大分県には令和7年5月1日現在で108ヵ国・地域から3,569人の外国人留学生在籍している。都道府県別の人口10万人当たり留学生数は、京都府、東京都に次いで第3位となった。

※使用データ

留学生数：日本学生支援機構外国人留学生在籍状況調査（令和7年5月1日現在）

人 口：令和7年国勢調査人口速報集計

（国際政策課）

a. 大分県の留学生数の推移 (人)

区分	R3	R4	R5	R6	R7
大学・高専	3,260	3,050	3,330	3,361	3,569
専修学校	219	195	171	404	477
計	3,479	3,245	3,501	3,765	4,046

b. 大分県の国・地域別留学生数(上位10カ国)

順位	国・地域	留学生数			
		R7	R6	増減	増減率
1	ミャンマー	544	384	160	41.7
2	中国	452	539	△ 87	△ 16.1
3	インドネシア	403	402	1	0.2
4	韓国	332	373	△ 41	△ 11.0
5	タイ	232	236	△ 4	△ 1.7
6	バングラデシュ	223	169	54	32.0
7	ベトナム	217	219	△ 2	△ 0.9
8	ネパール	182	114	68	59.6
9	スリランカ	180	157	23	14.6
10	モンゴル	102	90	12	13.3

c. 人口10万人当たりの留学生数(都道府県別)

(大学・大学院・短期大学・高等専門学校)

(人、%)

令和7年度			令和6年度		増減数	増減率
1	京都	608.0	1	569.8	38.2	6.7
2	東京	375.7	2	364.6	11.1	3.0
3	大分	331.4	3	309.8	21.6	7.0
4	山梨	178.8	4	173.7	5.1	2.9
5	群馬	178.6	5	158.0	20.6	13.0
6	福岡	159.1	7	151.8	7.3	4.8
7	兵庫	157.3	8	146.7	10.6	7.2
8	石川	156.2	6	155.4	0.8	0.5
9	大阪	143.4	11	124.2	19.2	15.5
10	岡山	136.8	10	128.0	8.8	6.9
全国平均		127.7		120.7	7.0	5.8

d. 大分県の国・地域別留学生数

(人)

(人)								
順位	国・地域	留学生数	順位	国・地域	留学生数	順位	国・地域	留学生数
1	ミャンマー	544	37	ルワンダ	6	72	シリア	1
2	中国	452	37	スウェーデン	6	72	ヨルダン	1
3	インドネシア	403	37	オランダ	6	72	イラク	1
4	韓国	332	40	エジプト	5	72	スーダン	1
5	タイ	232	40	ソマリア	5	72	マダガスカル	1
6	バングラデシュ	223	40	トンガ	5	72	コンゴ民主共和国	1
7	ベトナム	217	40	カナダ	5	72	カメルーン	1
8	ネパール	182	40	チェコ	5	72	ザンビア	1
9	スリランカ	180	45	イラン	4	72	コートジボワール	1
10	モンゴル	102	45	ウガンダ	4	72	トーゴ	1
11	インド	100	45	モザンビーク	4	72	マラウイ	1
12	台湾	68	45	シエラレオネ	4	72	エスワティニ王国	1
13	アメリカ合衆国	51	45	ソロモン諸島	4	72	ナミビア	1
14	マレーシア	43	45	フィンランド	4	72	レソト	1
15	フィリピン	41	45	ウクライナ	4	72	ブルキナファソ	1
16	ウズベキスタン	35	45	カザフスタン	4	72	セーシェル	1
17	カンボジア	21	45	キルギス	4	72	ジブチ	1
18	パキスタン	20	54	モロッコ	3	72	オーストラリア	1
19	フランス	18	54	パラオ	3	72	ニュージーランド	1
20	タンザニア	13	54	コロンビア	3	72	ミクロネシア	1
21	メキシコ	12	54	ドイツ	3	72	グアテマラ	1
22	リベリア	11	58	ジンバブエ	2	72	ニカラグア	1
22	イタリア	11	58	エリトリア	2	72	コスタリカ	1
24	ケニア	10	58	ボツワナ	2	72	アルゼンチン	1
25	ナイジェリア	9	58	ガンビア	2	72	ペルー	1
25	フィジー	9	58	パラグアイ	2	72	エクアドル	1
27	シンガポール	8	58	チリ	2	72	ベルギー	1
27	パプアニューギニア	8	58	ボリビア	2	72	オーストリア	1
27	サモア独立国	8	58	ベネズエラ	2	72	ポーランド	1
27	ブラジル	8	58	パナマ	2	72	ブルガリア	1
31	ブータン	7	58	ノルウェー	2	72	エストニア	1
31	ガーナ	7	58	デンマーク	2	72	ベラルーシ	1
31	エチオピア	7	58	ハンガリー	2	72	ジョージア	1
31	南アフリカ	7	58	ロシア	2	72	トルクメニスタン	1
31	英国	7	58	ラトビア	2	72	モルドバ	1
31	タジキスタン	7	72	トルコ	1	72	無国籍(不明等)	1
						計	108ヶ国・地域	3,569

※この調査でいう「留学生」とは、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校において教育を受ける外国人学生をいう。

5 (公財)県芸術文化スポーツ振興財団(おおいた国際交流プラザ)の令和7年度事業

	事業内容
大分県外国人総合相談センター管理運営事業	○大分県外国人総合相談センターの運営(県委託事業) 相談件数 370件 ①センター相談 令和7年4月1日～令和8年3月31日 10時～17時/268日開所 ②専門家相談 毎週土曜日 13時～16時/50回 ③外国語相談・中国語 月1回(第2土曜日)13時～16時/3回 ・タガログ語 月1回(第1土曜日)13時～16時/12回 ④出張相談 APU(特設行政相談所)、中津市、日田市など計11回 ・市町村等からの依頼等に応じ、外国人に関わる事案について現地での相談対応、情報交換など
国際交流人材育成・活用事業	○災害時外国人支援セミナー(県委託事業) 言葉の壁や文化の違いなどから、災害弱者となる可能性が高い在住外国人等に対し、適切な対応や支援が図られるよう、県・市町村の行政職員や地域の防災士、災害ボランティア等を対象としたセミナーを開催 ①行政職員対象研修 ・開催日 令和7年8月22日 ・内容 別府市企画戦略部政策企画課村野淳子さんによる「地域とともに多様な団体・組織と進める別府市インクルーシブ防災“誰ひとり取り残さない防災”」についての講座 ・場所 大分県立美術館研修室(大分市) ・参加者 行政職員(県市町等の外国人支援、防災業務などに関わる職員)40名 ②防災士、災害ボランティア等対象研修 ・内容 大分地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 立川真彦さんによる「新たな防災気象情報について～令和8年5月下旬(予定)より気象の警報などが大きくかわります～」 大分地方気象台 要配慮者対策係長松本拓也さんによる「気象庁からの防災情報と多言語HPの活用について」の講座 ・場所 大分県立美術館研修室(大分市) ・参加者 地域での防災・外国人支援に関係する人(防災士、災害ボランティア、通訳/翻訳ボランティア、日本語教室ボランティア等)37名 ○日本語教室・日本語ボランティア研修(県委託事業) ①初級編(日本語教育に興味、関心のある人を対象) ・開催日 令和7年7月19日、27日 ・場所 iichiko総合文化センター中会議室(大分市) ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 本田明子教授 ・参加者 69名(2日間計) ②スキルアップ編 日本語指導についてある程度の知識や経験がありスキルアップしたい人、過去に当プラザで開催した「日本語教室・日本語ボランティア研修(初級編)」を受講し、ボランティア教室等で日本語を教えようと検討している人を対象 (大分会場) ・開催日 令和7年10月5日、12日、18日 ・場所 iichiko総合文化センター中会議室(大分市) ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 本田明子教授 ・参加者 90名(3日間計) (中津会場) ・開催日 令和7年11月2日、9日、16日 ・場所 中津市新博多町交流センター多目的ホール ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 本田明子教授 ・参加者 18名(3日間計)

	事業内容
国際交流人材育成・活用事業	③上級編 現に地域日本語教室で外国人の日本語学習を支援している人、過去開催した日本語ボランティア研修に参加した人、市町村の担当課が受講を推薦する人など (別府会場) ・開催日 令和8年3月8日 ・場所 APU PLAZA OITA APハウス4研修室(別府市) ・講師 大分県日本語教育総括コーディネーター 橋本靖彦氏 ・参加者 14名 (大分会場) ・開催日 令和8年3月15日 ・場所 大分県立美術館研修室(大分市) ・講師 大分県日本語教育総括コーディネーター 橋本靖彦氏 ・参加者 27名 ④日本語おしゃべり会(県委託事業) ・内容 外国人学習者(4教室で学ぶ7か国10名、教室に所属していないアメリカ籍1名)の発表と、学習指導者による日頃の指導内容等の説明、意見交換など ・開催日 令和8年2月8日 ・場所 アイネス大会議室(大分市) ・参加者 54名 ⑤日本語教室の試行的開設支援等(総括コーディネーターの派遣) ・派遣期間 令和7年6月19日から令和8年3月23日(16日) ・派遣市町等 臼杵市、竹田市、由布市、玖珠町 延べ11カ所開設 ○日本語教室ネットワーク会議(県委託事業) 第1回会議 ・内容 地域日本語教室の活動状況と地域日本語教育コーディネーターのアドバイス、意見交換など ・開催日 令和7年9月9日 ・場所 大分県立美術館研修室(大分市) ・参加者 地域日本語教室関係者(7教室)、立命館アジア太平洋大学言語教育センター 本田教授、県・市町村の日本語教室担当者など26名 第2回会議 上記「日本語おしゃべり会」と併催 ○やさしい日本語教室(講師派遣調整) ・開催日 令和8年2月20日 ・主催者 済生会日田病院 ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 布尾勝一郎教授 ・参加者 済生会日田病院、高齢者福祉施設、介護支援専門員、相談支援専門員、障がい福祉相談員など 24名

	事業内容
国際交流拠点づくり事業	○FREE TALK CLASS 大分県国際交流員と県民との交流(英語(アメリカ・イギリス)・韓国語・中国語) 指定した金曜日の午後90分 合計39回／参加者370名(英語156人、韓国語105人、中国語109人) ○語学講座 語学ボランティアによる語学講座 インドネシア語:12回／参加者121名、ベトナム語:12回／参加者86名、 イタリア語:11回／参加者130名(合計35回／参加者337名) ○国際理解講座 ①モンゴル・内モンゴル自治区編 ・開催日 令和7年5月10日 ・場所 iiichiko総合文化センター「映像小ホール」 ・講師 ・JICAデスク大分国際協力推進員、元JICA海外協力隊 ・砂漠緑化団体「オールドスの風」(有限会社バンベン)代表、元JICA海外協力隊 ・参加者 48名 ②韓国編 ・開催日 令和7年9月13日 ・場所 iiichiko総合文化センター「映像小ホール」 ・講師 大分県国際交流員(韓国籍) ・参加者 32名 ③ポルトガル編(大分市教育員会文化財課の協力により「1日出張 南蛮BVNGO交流館」を開催) ・開催日 令和7年12月20日 ・場所 大分県立美術館研修室 ・講師 大分県立芸術文化短期大学 国際総合学科 教授 ・参加者 42名 ④イギリス編 ・開催日 令和8年3月14日 ・場所 iiichiko総合文化センター「映像小ホール」 ・講師 県国際交流員(イギリス籍) ・参加者 50名(2019年以降最多) 合計4回／参加者72名 合計4回／参加者172名
在住外国人情報発信事業	○おおいた国際交流プラザ／大分県外国人総合相談センター併合広報紙の発行 季刊(令和7年6月・9月・12月・8年3月発行) 8ページ／1,000部 市町村、地域国際化協会、国際交流団体等に配布 ○HP「おおいた国際交流プラザ」の運営(日本語・英語) 大分県民と外国人住民への情報提供(HPアクセス件数53,701件) ○多言語携帯メール(OIPM)の配信(日本語・やさしい日本語・英語・中国語) 主として外国人住民への情報提供98回／配信メール登録者数1,014人(R8.3.31) ○SNS(Facebook、X) 日本語・やさしい日本語・インドネシア語・ベトナム語・タガログ語・中国語・韓国語

	事業内容
国際交流団体支援事業	○おおいた国際交流団体ネットワーク会議の開催(県委託事業) ・グローバルおおの及び在大分県ベトナム協会による事例発表 ・県内の外国人相談センター(宇佐市、豊後高田市、中津市、竹田市、大分県)の活動報告 ・各団体からのお知らせ、意見交換など ・開催日 令和8年1月31日 ・場所 大分県立美術館研修室(大分市) ・参加者 国際交流団体、日本語教室、県・市の国際交流担当職員、大分県教育庁義務教育課など36名 ○県内の国際交流団体が行う多様な文化・スポーツ等の国際交流事業の支援 ①県内大学留学生が別府市亀川古市区自治会及び亀川プロジェクトと連携し、地域の歴史や文化の学習をはじめ、別府の盆踊り、民族ダンス、民族の歌等により地域住民との交流活動(令和7年7月21日/別府市関の江海水浴場で実施)に助成 実施団体:大分華僑華人会/参加者70名 ②日本と中国の絵画や工芸などの作品を展示する「日中文化交流展(令和7年12月9日～14日/県立美術館、令和7年12月21日～28日/中九州アートミュージアム)」、豊後南画の歴史的背景や現在における意義などについて意見交換する「日中南画研究交流会(令和7年12月21日/豊後大野市、令和8年1月25日/竹田市)」による文化を通じた国際交流事業に助成 実施団体:NPO法人遊鳳国際文化交流協会/参加者約1,000人
国際交流プラザ管理運営事業	○おおいた国際交流プラザ交流スペースの運営 ○おおいた国際交流プラザギャラリー展(常設) ・期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 ・出展者 国際交流団体、JICAデスク大分など ・場所 おおいた国際交流プラザギャラリー ○登録ボランティアの派遣紹介 通訳8件、日本語5件 通訳・翻訳ボランティア登録者数91人、日本語ボランティア登録者数59人 ○外国語図書の寄付受納49冊、無料配布170冊(令和8年2月20～21日) ○他機関との連携等 ①地域国際化協会の運営 地域の中核的民間国際交流組織として総務省が認定する「地域国際化協会(都道府県)」の事業を推進 ②JICA九州(JICAデスク大分) 青年海外協力隊等のJICA事業の窓口として、JICA九州の国際協力推進員1名が常駐 ③日本国際連合協会大分県本部 同協会の大分県本部機能を推進 ④県内の大学との連携 立命館アジア太平洋大学のインターンシップ受入5名 大分県立芸術文化短期大学のインターンシップ受入2名

6 大分県外国人総合相談センター概要

○開設日 令和元年6月27日

○所在地 大分市高砂町2-33iiichiko 総合文化センターB1F(おおいた国際交流プラザ内)

○受付時間 10:00～17:00 月曜日～土曜日(日・祝日、及び年末年始を除く)

○業務内容

(1) 多言語相談

県内在住外国人や外国人に関わる人からの仕事や生活等の疑問や悩みに対し、相談員が窓口・電話・メールで対応。定期的に法律の専門家による専門相談、中国人とフィリピン人の相談員による中国語とタガログ語相談を実施。

【対応言語】英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、タイ語など全27言語。

(2) 研修会の実施

外国人相談の窓口となる地方公共団体及び関係機関等の職員に対し、相談業務に関する研修会を実施。

(3) 情報発信

ホームページ、メール、パンフレットにて、外国人や外国人を雇用している企業等に向けて関係情報を発信。

○実績

内容	令和7年度
相談件数	370件(R7.4.1～R8.3.31)
相談対応研修会	2回

7 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいたの令和7年度事業

		事業概要	令和7年度実績
生活支援	住宅保証人制度	留学生が借りる賃貸物件の保証人（機関保証）	・令和7年度の新規案件 2件 ・上記含む保証中案件 7件
	留学生むけフードバンクマルシェの開催	大分県社会福祉協議会共催による、留学生むけ食料品等支援	・フードバンクマルシェ6/21にて、米、食材、生活雑貨等を無料配布。約270名の留学生が参加。 ・リユース物品情報の紹介ホームページを通じたR7年度の提供物品は0件。
地域活動支援	人材情報バンク アクティブネット (AN)	アクティブネットシステムの管理運営	・留学生登録 1,125人、活用者登録 843件 ・ANを通じて活動した件数 延べ288件（インターンシップ 含）
地域交流支援	大分市おでかけイングリッシュ派遣事業 （大分市委託事業）	大分市内の幼保こども園で英語活動を実施	・延べ20園へ、延べ100人を派遣。 ・英語よみきかせや歌、ダンス等。
	留学生が教える語学教室	留学生が講師となる語学教室を開講	・大分会場・別府会場で8言語14クラスを開講 ・受講生年間延べ206人、講師役の留学生延べ26人。
	OITA学生提言フェスタ	留学生と地域住民との交流、留学生理解・相互交流の会	・11/1、留学生による日本語スピーチコンテストを実施。
その他事業	大分県留学生ビジネスセンターの管理運営業務委託事業 （大分县委託事業）	就職・起業支援の施設を管理運営する。 就職・起業支援事業を行う。	・就職相談、雇用相談 ・施設の管理運営 ・県内スタディツアー・企業見学の実施（3回） ・企業と留学生の交流会開催（6回） ・在留資格セミナー（2回） ・日本語能力向上プログラム（N1N2N3試験対策講座） ・留学生就職ガイドブックの作成 ・外国籍社員合同研修会（2回） ・行政書士による相談会の実施（月1回） ・先輩起業家との交流会（4回） ・連続起業基礎講座の開催（10回） ・県外での元留学生等外国人対象転職・移住相談会開催（3回） ・IM相談・起業相談
	外国人留学生インターンシップ支援事業 （大分县委託事業）	外国人留学生を対象として、県内企業のインターン生受入れを促進する	・インターンシッププログラムの広報、促進 ・インターンシップ説明会（1回）・フェア（2回）の開催 ・マッチング 39社 延べ105件（実学生数88人） ・留学生むけマナー講座の実施（2回） ・保険加入、受入れ助成金業務 ・就職相談、雇用相談

8 おおいた留学生ビジネスセンター概要

愛称 SPARKLE（スパークル）

○開設日 平成28年10月15日

○所在地 別府市京町11-8 APU PLAZA OITA 2階

○営業時間 10:00～20:00 火曜日～土曜日（日・月・祝日休み）

○目的

(1) 留学生等の県内における起業・就職支援

(2) 留学生等と県内企業等との協働を推進

○施設概要

(1) 起業支援室

（個室2室、ブース席プライベートタイプ2席、ブース席オープンタイプ6席）

(2) 交流スペース

(3) 和室（1室）

(4) 料理室（1室）

(5) セミナールーム（2室）

○サービス内容

(1) 設備インフラ 無料Wi-Fi、複合機、プロジェクター、PC、タブレット等

(2) 相談対応 スタッフによる就職・起業相談受付

専門家による定期無料相談会

・在留資格（ビザ）相談（毎月1回）

○利用実績

	令和6年度	令和7年度
(1) 延べ利用者数	2, 754人（月平均229人）	2, 231人（月平均185人）
(2) 相談対応件数	102件（就職69件、起業33件）	97件（就職74件、起業23件）
(3) 主催、共催事業		
・先輩起業家との交流会	4回実施、参加者数53人	4回実施、参加者数104人
・企業と留学生の交流会	6回実施、参加者数192人※ ※学生参加者のみの人数	6回実施、参加者数224人※ ※学生参加者のみの人数
・留学生の県内企業見学会	3回実施、参加者数80人	3回実施、参加者数80人

国際交流の状況

9 姉妹都市・友好都市提携交流、友好交流提携の状況

市町村名	国・地域	都市名	提携年月日
大分市	ポルトガル共和国	アベイロ市	1978年10月10日
	中華人民共和国	湖北省武漢市	1979年 9月 7日
	アメリカ合衆国	テキサス州オースティン市	1990年10月30日
別府市	大韓民国	全羅南道木浦市	1984年10月 1日
	アメリカ合衆国	テキサス州ボーモント市	1985年 5月20日
	中華人民共和国	山東省烟台市	1985年 7月26日
	ニュージーランド	ロトルア市	1987年 7月10日
	英国	バース市	1994年10月31日
日田市	中華人民共和国	江蘇省蘇州市吳県	1992年 6月 1日
	イスラエル国	メギド市	1970年 2月11日
	カメルーン共和国	メヨメサラ市	2003年 5月25日
	ドイツ連邦共和国	ルプツ町	2003年 2月 1日
佐伯市	中華人民共和国	河北省邯鄲市	1994年 4月 3日
	オーストラリア連邦	グラッドストン市	1996年 9月 4日
臼杵市	スリランカ民主社会主義共和国	キャンディー市	1967年 2月27日
	中華人民共和国	甘肅省敦煌市	1994年 9月27日
竹田市	パラグアイ共和国	サンロレンソ市	1973年10月28日
	ドイツ連邦共和国	バート・クロツィンゲン市	1989年11月23日
	ドイツ連邦共和国	バートナウハイム市	1989年11月23日
	台湾	高雄市田寮区	2017年 1月13日
宇佐市	大韓民国	慶尚北道慶州市	1992年 7月 3日
	アメリカ合衆国	ハワイ州ホノルル市郡	2019年10月 1日
日出町	ポルトガル共和国	モンテモル・オ・ヴェーリョ市	2025年 9月30日

交流協定

市町村名	国・地域	都市名	提携年月日
大分市	中華人民共和国	広東省広州市	1997年10月 9日
別府市	大韓民国	済州特別自治道済州市	2003年 1月17日
中津市	台湾	台中市	2017年 2月 9日
佐伯市	アメリカ合衆国	ホノルル市	2003年12月 8日
	台湾	台中市	2023年 2月 7日
	ベトナム社会主義共和国	ニンビン省	2023年 3月31日
豊後大野市	中華人民共和国	湖北省荊州市荊州区	1994年 9月26日
	大韓民国	釜山広域市機張郡	2024年10月 8日
	ル	全羅北道益山市	2005年 8月22日
	ネパール連邦民主共和国	ルンビニ県グルミ郡ムシコット市	2025年 5月24日
日出町	台湾	新竹市	2025年 7月 4日
九重町	モンゴル	アルハンガイ県ツェンヘルソム	2023年 9月 8日
	台湾	花蓮県豊濱郷	2024年 6月26日
玖珠町	台湾	彰化市	2022年11月 2日

(県関係) 友好交流協定一覧

締結主体	名称	相手国・地域・団体	始期
			終期
大分県	大分県と台中市との友好交流に関する覚書	台湾 台中市	2016年9月8日 終期なし
	日本フェンシング協会（サーブル）との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	日本フェンシング協会	2017年12月20日 2021年9月5日
	ラオスパラリンピック委員会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	ラオス	2018年3月26日 2021年9月5日
	日本フェンシング協会（エペ）との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	日本フェンシング協会	2018年5月18日 2021年9月5日
	マレーシア国立スポーツ研究所との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	マレーシア	2018年7月2日 2021年9月5日
	ポルトガル陸上競技連盟との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	ポルトガル	2018年10月4日 2021年9月5日
	大分県とSAPジャパン株式会社、SAP Academyとの相互協力協定	SAPジャパン株式会社、 SAP Academy	2019年8月27日 終期なし
	モンゴル国テコンドー協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	モンゴル	2019年9月30日 2021年9月5日
	フィジー共和国オリンピック委員会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	フィジー	2019年10月8日 2021年9月5日
	スイス連邦パラリンピック陸上連盟との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	スイス	2019年11月18日 2021年9月5日
	イタリア共和国フェンシング協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	イタリア	2020年1月30日 2021年9月5日
	カメルーン共和国NOCとの東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	カメルーン	2021年2月22日 2021年9月5日
	アルゼンチンフェンシング協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	アルゼンチン	2021年5月31日 2021年9月5日
	英国ウェールズ政府との友好と相互協力に関する覚書（協定書）	英国 ウェールズ	2022年3月1日 2027年2月28日
	2022東アジア文化都市共同宣言	中国 温州市 濟南市 韓国 慶州市	2022年11月6日 終期なし
	カナダプリンスエドワードアイランド州との友好関係の構築に関する意向表明書	カナダプリンスエド ワードアイランド州	2025年9月22日 終期なし
大分県 企画振興部	大分県観光・地域振興局長と中華人民共和国江蘇省無錫市、宜興市、江陰市の各旅游局長との観光交流に関する協定	中国 無錫市 宜興市 江陰市	2005年4月29日 終期なし
	大分県企画振興部長と中華人民共和国江蘇省蘇州市旅遊局長との観光交流に関する協定	中国 蘇州市	2006年7月15日 終期なし
	大分県企画振興部長と中華人民共和国上海市外事弁公室副主任との友好交流に関する覚書	中国 上海市	2008年11月11日 終期なし
	大分県企画振興部長と台湾台中市観光旅遊局長との観光友好交流連携に関する協定	台湾 台中市	2015年11月27日 終期なし
大分県 福祉保健部	日本国大分県の介護分野における人材育成・確保に向けた連携・協力に関する覚書	3者協定（大分県、大分県 社会福祉協議会、インドネ シアの介護人材送出機関・ 職業高校）	2024年10月10日 終期なし（自動更新）
大分県 商工観光労働 部	大分県観光局とCtripの連携に関する協定書	Ctrip.com International, Ltd.	2019年9月10日 終期なし
	日本国大分県とベトナム社会主義共和国クアンガイ省との人材交流に関する覚書	ベトナム クアンガイ省	2023年4月14日 終期なし（自動更新）
	日本国大分県観光局と米国ソノマ郡ソノマカウンティツーリズムとの友好と相互協力に関する覚書	米国ソノマ郡ソノマカ ウンティツーリズム	2024年11月19日 2029年11月18日

大分県 教育委員会	日本国大分県教育委員会と大韓民国忠清南道教育庁との教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言	韓国 忠清南道	1997年6月9日
			終期なし
	「マレガ・プロジェクト」の成果利用に関する覚書	パチカン	2025年4月1日
			2028年3月31日
	日本大分県教育委員会と台北市教育局との国際教育友好交流協力覚書	台湾 台北市	2024年1月17日
			2028年1月16日
大分県L S I クラスター形 成推進会議 (顧問：知 事、理事：商 工観光労働部 長)	大分県教育委員会と新北市政府教育局との教育交流及び協力に関する覚書	台湾 新北市	2025年2月21日
			2030年2月20日
	韓国オチャン半導体クラスターとのビジネス交流推進に係る覚書	韓国	2010年8月23日
			適宜更新
	台湾電子製造設備工業同業公会とのビジネス交流推進に係る覚書	台湾	2011年11月7日
			終期なし
(一社)大分県 工業連合会	(社) 亀尾中小企業協議会 (韓国) との産業交流の推進に向けた覚書 (MOU)	韓国	2013年10月17日
			終期なし
	金属工業研究発展中心 (台湾) とのビジネス交流覚書 (ものづくり分野)	台湾	2013年10月1日
			2014年12月31日
	日韓ビジネス交流及びグローバル人材育成に関する覚書	韓国	2016年9月30日
			2018年9月30日
(公財)ハイ パーネット ワーク社会研 究所 (評議 員：商工労働 部長、理事： 情報政策課 長)	一般社団法人大分県工業連合会と臺中市金手奨得奨廠商協進會の間の覚書	台湾 台中市	2019年7月24日
			2020年12月31日
	韓国(財)慶南テクノパークとの相互交流の覚書	韓国	2013年2月27日
			終期なし

10 教育機関の姉妹校・協定校提携の状況

●教育機関

教育機関名	姉妹提携先	所在地	提携年月日
大分県教育委員会	韓国忠清南道教育庁	韓国忠清南道	平成9年6月9日

●小学校

学 校 名	姉妹校名	所在地	提携年月日
大分市立碩田学園 (旧 大分市立佐吉小学校)	武昌実験小学校	中国湖北省武漢市	昭和54年11月16日
大分市立西の台小学校	一元路小学校	中国湖北省武漢市	平成4年12月4日
大分市立森岡小学校	育才第二小学校	中国湖北省武漢市	平成4年12月4日

●中学校

学 校 名	姉妹校名	所在地	提携年月日
大分市立明野中学校	武漢外国語学校	中国湖北省武漢市	昭和55年
大分市立大分西中学校	武漢市第六中学校	中国湖北省武漢市	平成7年9月25日
大分市立植田中学校	武漢市第二寄宿学校	中国湖北省武漢市	平成12年10月17日
国東市(安岐町)立安岐中学校	彦州中学校	韓国ソウル特別市	平成12年1月7日
佐伯市立佐伯城南中学校	ツルーアハイスchool	オーストラリアクイーンズランド州	平成12年8月13日
大分大学教育福祉科学部附属中学校	ジョン・ポール・カレッジ	ニュージーランドロトルア市	平成8年9月27日
日出町立大神中学校	慶安中学校	韓国安東市	平成30年7月18日
九重町立ここのえ緑陽中学校	大灣国民中学	台湾高雄市	令和元年12月9日
	鳳山国民中学	台湾高雄市	令和元年12月9日

●高等学校

学 校 名	姉妹校・協定校名	所在地	提携年月日
別府翔青高等学校 (旧 別府羽室台高等学校)	ウェスタンハイツハイスchool	ニュージーランドロトルア市	平成14年6月11日
明豊高等学校 (明豊中学校含む)	鶴山女子高等学校	韓国釜山広域市	平成12年4月5日
	馬山第一女子中学校	韓国馬山市	平成13年2月15日
	論山大建高等学校	韓国論山市	平成13年7月10日
	昌信高等学校	韓国馬山市	平成15年7月23日
	ルネ・ゴス高等学校	フランスクレル・モン・レロー 町	平成15年2月27日
	海雲台観光高等学校	韓国釜山広域市	平成15年12月2日
	ジョン・ポール・カレッジ	ニュージーランド・ロトルア市	平成16年2月10日
	又松高等学校	韓国大田広域市	平成17年4月4日
	稲江高級商業職業学校	台湾台北市	平成17年6月6日
	権英学塾	韓国大邱広域市	平成17年9月8日
	治平高級中学	台湾桃園市	平成18年5月17日
	新民高級中学	台湾台中市	平成19年7月25日
大分舞鶴高等学校	ロップリー科学高校	タイロップリー県	平成27年12月23日
	Mount Albert Grammer School	ニュージーランド	令和5年12月7日
大分商業高等学校	木浦女子商業高校	韓国木浦市	平成28年10月28日
由布高等学校	嶺西高等学校	韓国江原道	平成18年11月21日
	小港高級中学	台湾高雄市	平成29年3月2日
楊志館高等学校	富平高等学校	韓国仁川広域市	昭和63年11月2日
	台湾開南高級商工職業学校	台湾台北市	平成3年11月6日
	北京月壇中学校	中国北京市	平成10年9月30日
福德学院高等学校	武漢商学院	中国武漢市	平成3年5月24日
別府溝部学園高等学校	弘明高等学校	韓国蔚山郡	平成2年7月28日
	大明女子高等学校	韓国釜山広域市	平成2年11月9日
	烟台市業余体育学校	中国烟台市	平成7年5月19日
	孝星女子情報産業高校	韓国慶尚北道	平成8年10月25日
岩田高等学校	信男教育学園上海文来高級中学国際部	中国上海市	平成27年12月14日
柳ヶ浦高等学校	慶州女子情報高等学校	韓国慶州市	令和元年7月26日
	ERDEMIN SAN SCHOOL	モンゴルオルホン県	令和元年11月25日
	DALAIVAN SCHOOL	モンゴルフグスカル県ムルン市	令和元年12月24日
	NEW ERA INTERNATIONAL SCHOOL	モンゴルウランバートル	令和3年2月23日
	BELTEI INTER NATIONAL SCHOOL	カンボジア プノンペン	令和3年8月27日
	SELENGE PROVINCE 1ST SCHOOL	モンゴルセレンゲ県	令和3年10月27日
	大慶文化藝術高等学校	韓国慶山市	令和4年11月7日
情報科学高等学校	ソウル工業高校	ソウル特別市	令和6年1月30日
国東高等学校	Richard Launder School	英国コーンウォール州トルロー市	令和5年12月15日
佐伯鶴城高等学校	国立陽明交通大学附属 竹北高級中学	台湾新竹県竹北市	令和7年10月23日

●県立大学

学 校 名	姉妹校・協定校名	所在地	提携年月日
大分県立看護科学大学	ソウル国立太学看護大学	韓国ソウル特別市	平成11年9月13日
	ケース・ウェスタン・リザーブ大学	アメリカ オハイオ州	平成10年7月14日
	ペース大学	アメリカ ニューヨーク州	平成10年9月16日
	蔚山大学	韓国蔚山広域市	平成29年7月18日
	ムハマディア大学ジョグジャカルタ校	インドネシア ジョグジャカルタ州	令和元年8月1日
	仁荷大学校	韓国仁川広域市	令和元年12月23日
大分県立芸術文化短期大学	ソウル市立大学校	韓国ソウル特別市	平成19年3月22日
	江漢大学	中国・武漢市	平成21年2月20日
	クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学	ニュージーランド・クライストチャーチ市	平成21年12月15日
	東国大学校	韓国ソウル特別市	平成25年11月19日
	釜山外国語大学	韓国釜山広域市	平成26年10月8日
	クランタン大学	マレーシア クランタン州	平成28年10月19日
	サンアンドレス大学	ボリビア ラパス市	平成31年1月25日

11 語学指導等を行う外国青年招致事業（J E Tプログラム）の状況

「語学指導等を行う外国青年招致事業」（J E Tプログラム：The Japan Exchange and Teaching Programme）昭和62年に始まり、総務省、文部科学省、外務省と財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下、地方自治体によって運営されており、地方公共団体等が外国青年を招致することによって、外国語教育の充実と地域レベルの草の根の国際交流の進展を図ることを目的としている。

県内では、県庁及び市町村で国際交流員（C I R）が国際交流活動等に従事し、小・中学校や高等学校で外国語指導助手（A L T）が語学指導を行っている。

（国際政策課）

* 国別 J E T 青年数の推移

（単位：人）

年度		27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7
国名												
中 国	CIR	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
韓 国	CIR	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
アメリカ	CIR	-	1	1	-	-	2	2	2	2	2	2
	ALT	39	43	56	61	57	59	58	54	54	52	48
イギリス	CIR	1	1	1	2	2	-	1	1	-	-	1
	ALT	9	7	3	5	5	14	11	14	11	11	12
カナダ	CIR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	ALT	12	10	9	9	10	12	12	13	11	10	10
オーストラリア	CIR	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	1
	ALT	7	8	6	6	10	8	8	7	6	5	7
ニュージーランド	CIR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	ALT	4	5	5	7	9	5	2	1	5	4	3
	SEA	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-
アイルランド	ALT	2	2	1	1	3	2	1	1	1	1	-
フランス	CIR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
ドイツ	CIR	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1
シンガポール	ALT	1	1	1	1	3	3	2	1	1	1	1
トリニダード・トバゴ	ALT	-	-	-	1	1	1	1	3	2	2	2
ジャマイカ	ALT	-	1	2	2	3	3	3	1	1	1	0
南アフリカ	ALT	2	-	-	-	2	3	1	2	3	3	4
フィジー	ALT	-	-	1	1	1	1	1	2	1	1	1
ベトナム	CIR	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	1
フィリピン	ALT	-	-	-	1	1	1	3	4	4	4	7
合 計	CIR	6	7	7	8	7	7	7	7	6	7	9
	ALT	76	77	84	95	105	112	103	102	100	95	95
	SEA	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-
計		82	84	91	104	113	120	111	110	106	102	104

全国計	4,786	4,952	5,163	5,528	5,761	非公表	非公表	5,723	5,831	5,861	5,921
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	-------	-------	-------	-------

（各年度7月1日時点）

* J E T プログラム参加者配置状況

① 国際交流員

(単位：人)

年度 配置先		27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7
県	国際政策課	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4
	芸術文化短期大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
県計		4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4
市 町 村	大分市	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1
	中津市	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	0
	日田市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	竹田市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	1
	豊後大野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	佐伯市	—	—	—	1	1	1	—	—	—	2	2
	別府市	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	0
	市町村計	3	3	3	4	3	3	3	3	3	2	5
国際交流プラザ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
国際交流員 計		6	7	7	8	7	7	7	7	6	5	9

② 語学指導助手

(単位：人)

年度 配置先		27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7
県 教育 庁	高校教育課 (県立高校)	27	26	26	26	26	31	26	26	26	26	26
	教育事務所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
県 計		27	26	26	26	26	31	26	26	26	26	26
市 町 村	大分市	15	16	21	26	31	31	27	27	27	25	23
	別府市	4	4	4	5	6	7	6	6	6	6	6
	中津市	5	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6
	日田市	4	4	4	5	5	5	5	5	5	4	5
	佐伯市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	臼杵市	2	2	2	2	2	2	1	1	—	—	0
	津久見市	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	竹田市	2	2	2	3	3	3	4	4	3	2	3
	豊後高田市	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	杵築市	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2
	宇佐市	4	4	4	4	5	6	6	5	5	5	4
	豊後大野市	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4
	由布市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	国東市	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4
	日出町	—	—	—	—	2	2	4	4	4	2	4
	九重町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	玖珠町	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3
	市町村 計	47	47	55	66	77	76	76	75	73	67	68
私 立 学 校	大分高校	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
	大分東明高校	—	—	1	1	1	1	1	1	—	1	0
	藤蔭高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
私立学校 計		2	2	3	3	2	2	2	2	1	2	1
語学指導助手 計		76	77	84	95	105	113	111	110	100	95	95

12 海外の大分県人会の状況

令和8年3月31日現在、25団体（17か国1地域）の海外大分県人会が活動しており、現地での親睦を深めています。各県人会の連絡先は、県国際政策課までお問い合わせください。

地域		国・地域名	会の名称	設立年	会員数
東アジア (6団体)	1	中国 (北京)	北京大分県人会	2013年 (平成25年)	30
	2	中国 (上海)	上海大分県人会	2000年 (平成12年)	50
	3	中国 (大連)	大連大分県人会	2012年 (平成24年)	30
	4	中国 (香港)	香港大分県人会	1991年 (平成3年)	不明
	5	台湾 (台北)	台湾大分県人会	1997年 (平成9年)	26
	6	韓国	韓国大分県人会	2000年 (平成12年)	55
東南アジア (8団体)	1	マレーシア	マレーシア大分県人会	1997年 (平成9年)	24
	2	タイ	タイ国大分県人会	2006年	20
	3	インドネシア	めじろん ザビエル会	2010年 (平成22年)	20
	4	シンガポール	シンガポール大分県人会	1985年 (昭和60年)	15前後
	5	ミャンマー	ミャンマー大分県人会	1996年 (平成8年)	12
	6	ベトナム (ハノイ)	ハノイ大分県人会	2014年 (平成26年)	7
	7	ベトナム (ホーチミン)	ホーチミン大分県人会	2014年 (平成26年)	10
	8	フィリピン	フィリピン大分県人会	2015年 (平成27年)	7
北米 (5団体)	1	米国 (ニューヨーク)	ニューヨーク大分県人会	2011年 (平成23年)	20
	2	米国 (ロサンゼルス)	南加大分県人会	1917年 (大正6年)	6
	3	米国 (ハワイ)	ハワイ大分県人会	2025年 (令和7年)	5
	4	カナダ (バンクーバー)	カナダ大分県人会	(不明)	30
	5	カナダ (オンタリオ)	オンタリオ大分どげえ会	2013年 (平成25年)	37
欧州 (1団体)	1	英国	英国大分県人会 ～吉四六クラブ～	2006年 (平成18年)	38
南米 (5団体)	1	ブラジル	ブラジル大分県人会	1952年 (昭和27年)	200
	2	パラグアイ	パラグアイ大分県人会	1973年 (昭和48年)	10
	3	ペルー	ペルー大分県人会	1919年 (大正8年)	80
	4	アルゼンチン	アルゼンチン大分県人会	1966年 (昭和41年)	42
	5	ボリビア	ボリビア大分県人会	1974年 (昭和49年)	6

13 大分県海外親善大使、めじろんサポーターの状況

【大分県海外親善大使】

海外において、本県の知名度向上等に尽力している企業経営者等を「大分県海外親善大使」に委嘱し、本県の海外戦略や相手国・地域との交流を促進しています。

○張 浩帆（ちょう こうはん）氏・・・中華人民共和国（湖北省）（元国際交流員）
※平成23年10月任命

○呂 恵光（ろ けいこう）氏・・・中華人民共和国（香港）（別府麵館社長 ※現在閉店）
※平成23年11月任命

【めじろん海外サポーター（旧めじろん海外特派員）】

本県の知名度向上や各国・地域との交流を促進するため、平成23年度から、県内の大学等を卒業予定の留学生並びに本県が受け入れた国際交流員や外国語指導助手等で、離県後も本県との懸け橋となる方を「めじろんサポーター」に任命しています。（令和7年度任命実績1人）

（単位：人）

	中国 （湖北省）	中国 （上海市）	中国 （河北省）	中国 （広東省）	中国 （その他）	香港	台湾	韓国	タイ	ベトナム	シンガポール	マレーシア	インドネシア	ネパール	ミャンマー	アメリカ	イギリス	カナダ	オーストラリア	ジョージア	ブラジル	対象計
留学生OB	3	5	1	1	4		1	6	8	5	2	3	7	1	2					1		50
ALT																10	1	1	1			13
CIR	10	1			1			3								1	2		2			20
その他	9					1										1	1				10	22
地域計	22	6	1	1	5	1	1	9	8	5	2	3	7	1	2	12	4	1	3	1	10	105

（令和8年8月末現在）

1 4 大分県の地域間交流の状況

世界に開かれた大分県をつくり、地域に活力や競争力を生み出すため、地理的、歴史的、経済的に関係の深い東アジアを中心に、多くの分野で連携を強化し、地域間交流を深めている。

ア 国際大会による交流

●第1回アジア・太平洋水サミット（2007年12月開催）

世界56カ国・地域から各国首脳を含む371名が本県を訪れ、アジア・太平洋地域が直面する水問題について広範で具体的な議論が行われた。

●APEC成長戦略ハイレベル会合（2010年8月開催）

海外から5名の閣僚級を含む国・地域の代表と国際機関や学会、産業界から約200名が参加し、APEC成長戦略の理念と実行について共有した。

●2012大分日本語サミット（2012年7月開催）

世界12カ国から日本語を学ぶ青少年を招へいし、平和のためにできることは何かについて、日本語で発表・討論を行った。

●アジア・太平洋国会議員連合（APPU）総会（2017年9月開催）

世界9カ国から各国議員等74名が本県を訪れ、自由と民主主義に基づくアジアの平和と安定を目的とした議員外交の場である「アジア・太平洋国会議員連合」総会を開催した。

●世界温泉地サミット（2018年5月開催）

温泉資源の活用や地域発展の可能性について議論や情報交換を行うことを目的に開催。基調講演や事例発表ののち、3つの分科会において各分野の議論を深め、成果として「世界温泉地サミット宣言」を採択。1,000名を超える参加者があり、海外からは16カ国17地域から86名が参加した。

イ 地域別交流

【アジア】

●中華人民共和国との交流

2003年 4月	上海市人民对外友好協会協議団来県。
	上海市サッカー競技会競技場視察団が来県。
7月	北京大分県人会発足。
8月	中国西安市経済視察団が知事を表敬するとともに、県内を視察。
9月	中日平和友好条約締結25周年及び中国国慶節祝賀会が中華人民共和国駐福岡総領事館の主催で行われる。
	上海高級管理幹部培訓考察団（団長 上海市人民政府人事局 局長 孫路一）が副知事を表敬訪問し、県内を視察。
10月	第13次武漢市友好訪問団（団長 程 康彦（武漢市人民政府高級顧問・武漢市党委員会副書記））15名が来県、副知事を表敬訪問。
	知事を団長とする大分県中国友好訪問団が上海市を訪問。
12月	上海市幹部教育中心日本研修視察団来県、県内視察。

2004年 4月	知事を団長とする大分県上海訪問団が、上海を訪問、中国東方航空曹建雄副総裁を訪問し、大分ー上海便の運航再開について協議。
6月	中国甘肅省文化交流団が観光・地域振興局長を表敬訪問。
7月	上海線が運航再開。安倍省佑副議長を団長とする大分県中国友好訪問団が上海市及び西安市を訪問。王培生上海市人民代表大会副主任、劉興臣中国東方航空公司総経理、陳宝根西安市常務副市長、宋昌斌陝西省人民政府副秘書長らを表敬訪問。
8月	プロサッカーチーム上海申花と大分トリニータとの国際親善試合が開催される（主催・JFL・大分県スポーツ交流促進協議会）。 大分県上海ビジネスミッション（団長：角野商工労働部長）が上海市においてビジネス視察と市場調査を行い、中国企業、日本企業、外事弁公室、人民対外友好協会を訪問。
10月	中国駐福岡総領事・武重朋が知事、企画振興部長に着任あいさつ。
11月	第13次大分市友好訪問団が武漢を訪問。県からは企画振興部長が同行。 大分県議会上海経済事情調査団が上海を訪問。
2005年 1月	中国国務院発展研究センター訪問団（団長謝副総副主任）が知事表敬訪問。
3月	陝西省人民対外友好協会代表団が副知事表敬。中国実地調査研修を実施。
4月	中国交流サポートセンターを開設。 杭州世界レジャー博組織委員会訪日団が来県、企画振興部長を表敬。 知事が訪中。李建国陝西省共産党委員会書記、劉興臣東方航空西北公司総経理、王春正国家発展改革委員会副主任等と会見。 中国青年代表団（団長：張学軍全国少年工作委員会副主任）が知事表敬訪問。 観光・地域振興局と無錫市・宜興市・江陰市旅游局間で観光交流協定を締結。
6月	湖北省総工会友好訪日団（団長：何忠埼）一行が来県、知事表敬訪問。
7月	中国環黄海圏地方経済ミッション（団長呂克儉商務部重州司副司長）が副知事表敬訪問。 大分県上海ビジネスミッション団が上海市でマーケット調査、商談等を実施。
8月	企画振興部長を団長とする大分県陝西省交流促進調査団が陝西省外事弁公室を表敬訪問、各分野での交流の可能性を調査、意見交換。
9月	丹東市文化交流訪問団（団長王振綱丹東市政治協商会議副主任）が企画振興部長を表敬訪問するとともに書道、絵画等の文化交流を行う。
10月	上海時代名人女子バレーボール訪日団が来県、出納長を表敬。 無錫市、宜興市、江陰市大分県教育旅行視察団が企画振興部長を表敬訪問するとともに教育施設、観光資源を視察。 上海市で修学旅行誘致説明会を開催。 陝西省交通庁（陳武漢職業技術学院副学長）一行が企画振興部長を表敬訪問するとともに高速道路技術、高速道路状況の視察を行う。 中国江蘇省溧陽市視察団（団長：袁再保溧陽市党委員会副書記）が来県、企画振興部長を表敬。
11月	中国青年国際人材中心副理事長一行が来県、知事を表敬。 上海市でのアジアフード&トラベルフェアに参加し、観光プロモーションを実施。 中国浙江省嘉興経済開発区訪日団が来県、企画振興部長を表敬。 中国雲南省地域開発・人材育成研修団来県、観光地域振興局長表敬。

2006年 1月	陝西省人民対外友好協会代表団（団長劉先蓮副会長）が出納長表敬。
2月	別府大分毎日マラソン大会参加の友好選手が企画振興部長を表敬、友好大使に委嘱。
	呂淑雲駐日中国大使館 公使参事官が知事表敬。
	江蘇省無錫市で無錫市、宜興市、江陰市教育局、学校長等に対し修学旅行説明会を開催。
	上海市で「観光プロモーション」、旅行代理店、マスコミ等を対象に「大分県観光のタベ」を開催。
3月	中国上海市人民対外友好協会代表団が来県、知事を表敬。
4月	上海市にジェトロとの共同事務所を開設。
	江蘇省蘇州市 沈文絹旅游局長一行が来県、企画振興部を訪問。
	宜興市洪雅副市長一行が来県、企画振興部長を訪問。
	貴州省中小企業局龍局長一行が商工労働部を訪問、経済施策などを調査。
5月	中国省長代表団（団長：陝西省趙正永常務副省長）が来県、知事を表敬訪問。
	中国国家発展改革委員会 姜偉新副主任一行が来県、知事と懇談後、県内企業を視察。
7月	大分県蘇州市友好訪問団が蘇州市を訪問、企画振興部長と蘇州市旅游局長間で観光交流協定を締結。
	中国国家発展改革委員会王春正副主任一行が来県、知事と懇談後県内を視察。
8月	大分県教職員中国研修訪問団が江陰市、宜興市の教育局、旅游局等を訪問。
9月	上海市人民対外友好協会創立50周年記念イベントの招請を受け、職員を派遣。
10月	日中友好親善小学生卓球大会訪問団が来県、出納長を表敬訪問。
	蘇州市で教育局、学校長等に対し修学旅行説明会を開催。
	蘇州市交流訪問団が来県。県内視察及び県内旅行代理店等を対象に蘇州市観光説明会を開催。
	中日経済貿易観光文化交流及び「無錫旅情」20周年事業参加の無錫市からの招請を受け、大分県訪問団を派遣。
11月	第14次大分市友好訪問団が武漢を訪問。県から国際交流室長が同行。
2007年 1月	無錫市友好交流訪問団（団長：王潔平旅遊局長）が来県、県内を視察。
4月	上海市人民対外友好協会代表団（団長：袁公俠副会長）が来県、県内を視察。
	北京大学叶文虎教授、宋豫秦教授が来県、知事を表敬訪問。
6月	陝西省咸陽市共産党委員会張立勇書記が来県、県内の温泉施設を視察するとともに、知事を表敬訪問。
9月	松滋市鄧応軍副書記一行4名が来県し、農林水産部長を表敬、県内畜産関係施設を視察。
	河南省訪日視察団河南省外国專家局長他20名が来県し、農林水産部長を表敬、北部振興局管内の施設野菜、肥育等を視察。
10月	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、四川省の高校生20名が来県し、企画振興部長を表敬訪問、大分南高校で学校交流とホームステイを実施。
	中国農業部牛盾副部長他6名が来県し、知事との夕食会及び「日田なし」「グリーンツーリズム」を視察。
11月	国家外国專家局季允石局長が来県し、知事表敬及び県内視察。
	大分県フェア及び中国国際食品見本市視察のため、商工労働部長を団長とするミッション団が、蘇州市及び上海市の会場を視察するとともに、上海市人民対外友好協会等の

	関係機関を表敬訪問。
	立命館アジア太平洋大学上海校友聯誼会・父母聯誼会（於：上海市）に企画振興部長、国際交流室長を派遣。
12月	武樹民駐福岡中国総領事が着任あいさつのため来県し、知事を表敬訪問。
2008年 2月	江陰市屠湘如教育局長一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
4月	宜興市華学分副市長一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
8月	山東省魯東大学孫長征応用技術学院書記一行が来県、企画振興部審議監を表敬訪問。
10月	江陰市呉崇翟人大常委会主任一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。 丹東市郭広栄人大常委会主任一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
11月	企画振興部長を代表とする訪問団が上海市外事弁公室呉金蘭副主任を表敬訪問、「大分県・上海市友好交流覚書」を締結。
12月	知事がFHC（国際食品見本市）の出展企業激励のため上海を視察、唐登傑上海副市長を表敬訪問。
2009年 2月	上海市外事弁公室呉金蘭副主任が来県し、知事を表敬訪問。
4月	江陰市共産党委員会朱民陽書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
5月	上海市嘉定区政治協商会議周関東主席一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
6月	湖北省総工会張中偉副主席一行が来県し、副知事を表敬訪問。
8月	上海教育国際交流協会馮旭秘書長一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
	上海城市超市有限公司（CITY SHOP）崔軼雄総裁一行が来県し、知事を表敬訪問。
9月	第8次日中知事交流に副知事が参加し、北京市、広東省等を訪問。
10月	青海省共産党委員会強衛書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
	上海交通大学国際公共事務学院胡偉院長一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
12月	上海市浦東新区審計局傅紅岩局長一行が来県し、監査事務局長を表敬訪問。
	農業部規画設計研究院朱明院長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
2010年 1月	知事が「石川・大分合同フェア」を視察のため上海市を訪問、唐登傑上海副市長を表敬。
	日中友好協会大分支部の仲介で、中国福建省福建農林大学教授ほか1名が農業大学校で研修。農林水産部長を表敬訪問。
3月	中国安徽省農業一村一品研修団一行（16名）が来県し、農業振興のための政策及び農業者への融資制度について研修。
4月	青海省扶貧開発局羅局長他21名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。
5月	北京大学現代日本研究センターで学ぶ27名の学生が来県し、大分県庁で県政の概要を学ぶ。
	福德学院高等学校の姉妹校である武漢市商業服務学院一行が来県し、生活環境部長を表敬訪問。
6月	中国・江漢大学代表団6名が芸術文化短期大学を訪問し、今後の具体的な提携について意見交換。
7月	青海省草原総站趙站長他21名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。
8月	パン・セン外交部国際機構局次長（A P E C高級実務者）がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
	海南省林方略副省長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
9月	湖北省人民政府張通副省長視察団が来県し、知事と懇談。

	上海万博での九州・沖縄ウィーク開幕式及び「大分県の日」に知事が出席。併せて開催した上海プロモーションの「大分県のタベ」に知事が出席し、政府関係者や企業関係者と交流を深める。
	芸文短大代表团4名が中国・江漢大学を表敬訪問し、日本語学科の学生に「日本文化」の講義、江漢大学合唱団に合唱指導。
	上海逍龍信息有限貿易有限公司 王社長一行が大分県産品取引商談のため来県し、知事を表敬訪問。
	上海城市超市有限公司 張総経理一行が大分県産品取引商談のため来県し、副知事を表敬訪問。
11月	青海省農・牧畜庁党処長他18名の研修団が来県し、企画振興部審議監を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。
	中国山西省雲城市及び中国江蘇省徐州市の一行(44名)が農林水産研究指導センター農業研究部花きグループを訪問し、施設を視察。
12月	青海省海南州政府普副州長他7名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。
	武漢市で農林水産物等の販路開拓・市場調査のため武漢フェアを実施。
	中国大連市訪日団の一行(15名)が県南柑橘選果場を訪問し、柑橘生産の概要について研修、施設を視察。
	中国昆明市新エネルギー・再生エネルギー研修団一行(17名)が、農林水産研究指導センター農業研究部花きグループにて施設を視察。
2011年 1月	新疆ウイグル自治区新農村建設研修団12名が来県し、企画振興部長を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。
	上海市で農林水産物等の販路開拓のため大分県フェアを実施。副知事が出席。
2月	ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社の劉溜楠中国区総経理が来県、知事を表敬訪問。
	上海市で農林水産物等の販路開拓のため大分県フェアを実施。商工労働部長が出席。
3月	湖北省武漢市帰国華僑連絡会秦主席が来県し、企画振興部長を表敬。
5月	武樹民駐福岡中国総領事が、知事表敬訪問及び県内視察のため来県。
	衛生部衛生監督センター書記一行がふぐ市場を視察するため来県、知事を表敬訪問。
	広西自治区百色市農業研修団一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
	ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社の劉盾中国北方区業務開発総監が来県し、知事を表敬訪問。
6月	九州地方知事会、九州運輸局、九州観光推進機構が連携し、大分県副知事など7県の知事・副知事が中国政府機関への働きかけ、メディア・大手旅行会社へのプレゼンテーションなどの中国観光プロモーションを上海で実施。
	陳为民福建省福州市人民政府副市長一行が、県内温泉施設視察のため来県し、副知事と懇談。
8月	上海逍龍信息有限貿易有限公司の王社長一行が大分県産品取引商談のため来県、副知事を表敬訪問。
9月	中国・江漢大学代表团(張副学長ほか4名)が芸術文化短期大学の創立50周年記念式典に出席。
10月	芸術文化短期大学代表团(学長ほか2名)が江漢大学4校合併10周年記念式典に出席。
	知事及び経済団体等の代表者一行が中国湖北省を訪問し、王国生湖北省人民政府省

	長、范鋭平襄陽市党委員会書記、黄楚平咸寧市党委員会書記など省内要人との会見を行ったほか、経済開発区や歴史遺産・温泉施設を視察。また、併せて「大分県経済・観光セミナー」を武漢市で開催。
	武樹民駐福岡中国総領事が、離任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
11月	上海市金山区外事弁公室吳珺副主任一行が来県、企画振興部長を表敬。
2012年 1月	李天然駐福岡中国総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2月	程永華駐日中国大使が来県、知事を表敬訪問したほか、県内企業等を視察。
	王立群遼寧省営口市開発区委员会主任一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
3月	邵慧翔上海市外事弁公室副主任一行が来県し、副知事を表敬訪問。
4月	中華全国婦女連合会書記処書記が、知事を表敬訪問。
5月	武漢商業服務学院院長が、生活環境部長を表敬訪問。
6月	楊松湖北省政治協商会議主席等湖北省代表团が、知事を表敬訪問し、歓迎レセプションや企業視察等を実施。
7月	駐日中国大使館呂克儉公使が、副知事を表敬訪問。
2013年 7月	中国浙江省博物館訪問団が来県、知事を表敬訪問。
2014年 9月	九州各県が行う北京交流訪問に企画振興部長が参加し政府関係機関を訪問。
	李天然駐福岡中国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
	副知事が湖北省を訪問し、甘榮坤副省長や咸寧市丁小強市長と会見。
2016年 4月	湖北省咸寧市党委書記等党委代表团が来県、知事を表敬訪問。
7月	海南省王路副省長一行が来県、知事を表敬訪問。
9月	何振良駐福岡総領事が来県、知事を表敬訪問。
10月	柳州市鄭俊康書記一行が来県、副知事を表敬訪問
2017年 9月	海南省人民代表大会常務委員会賈東軍副主任一行が来県、副知事及び議長を表敬訪問。
2018年5月	中国共産党咸寧市委員会書記・咸寧市人民代表大会常務委员会主任一行が世界温泉地サミットに参加するため来県、知事を表敬訪問。
2019年7月	上海市浦東新区政治協商会議徐紅副主任一行が企画振興部長を表敬訪問。
2022年1月	律桂軍駐福岡中華人民共和国総領事が知事を表敬訪問
2023年6月	律桂軍駐福岡総領事一行が知事及び議長を表敬訪問。
2024年9月	楊慶東駐福岡総領事が知事及び県議会副議長を表敬訪問。

●台湾との交流

2003年 5月	黄諸侯・台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処長が知事を表敬訪問。
2004年 2月	台湾福祉関係者（呉麗雪高雄縣社会局長外29名）が福祉施設視察のため来県、県庁を表敬訪問。
2005年 1月	台北駐日経済文化代表処 許世楷代表が知事を表敬訪問。
2月	副知事が高雄市副市長を表敬訪問。
11月	范異緑国際修学旅行連盟名誉会長（教育部政務次長）一行来県、副知事を表敬訪問。
2006年 6月	周碩穎台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事、県議会議長を表敬訪問。
2008年 2月	陳鴻基亜東関係協会会長、周碩穎台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	サン・ジー経済建設委員会副主任委員がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

9月	曾念祖駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2011年 2月	金属加工製品等の調達に係る商談ミッションを実施。
11月	行政院尹啓銘政務委員ら台日産業交流訪問団が来県、知事を表敬したほか、台湾電子設備協会と大分県L S I クラスター形成推進会議がビジネス交流推進の覚書を締結。
2012年 7月	台北駐日経済文化代表処の羅坤燦副代表が県東京事務所を訪れ、九州北部豪雨への義援金として50万円を寄付。
10月	金属工業研究発展中心と県工業団体連合会が交流覚書を締結。
2013年 2月	台北駐福岡経済文化弁事処 曾念祖処長が離任挨拶のため知事を表敬訪問。 台日産業技術合作促進会秘書長（林梭暉）が商工労働部長を表敬訪問。
7月	戎義俊台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2014年 10月	亜東関係協会李嘉進会長が来県し、知事を表敬訪問。 三三企業交流会江丙坤会長一行（約50名）が来県し、知事や県内経済団体と交流会を実施。
11月	
2015年 3月	経済国体、県内企業関係者一行がチャーター便により台北を訪問し、県産品や観光のPRを実施。
10月	台中-大分のチャーター便運航
11月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県台湾プロモーションを台北で開催。
11月	大分県企画振興部と台中市観光旅遊局が観光友好交流連携に関する協定締結。
2016年 7月	謝長廷台北駐日経済文化代表処代表が来県し、知事を表敬訪問。
9月	知事及び県内企業等一行が訪問し、台中市と友好交流に関する覚書を締結したほか、台北で台湾プロモーションを開催。
2017年 4月	議長、副議長が台北駐福岡経済文化弁事処を表敬訪問。
6月	副知事が台中市を訪問し、林副市長を表敬訪問。
11月	副知事及び県内企業一行が訪問し、台北市と台中市で台湾プロモーションを開催。
2018年 3月	議長が台北駐福岡経済文化弁事処を訪問し、台湾東部地震被害への見舞金を贈呈。
10月	陳忠正台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
11月	知事及び県内企業等一行が訪問し、台北市と台中市で台湾プロモーションを開催。
2020年 7月	台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長が知事及び議長を表敬訪問。
8月	議長が台北駐福岡経済文化弁事処を表敬訪問。
2021年 3月	Oita Made株式会社とタイアップして台湾にて「大分フェア」を実施。
12月	台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長が知事及び副議長を表敬訪問。
2022年 3月	台中市内の高級スーパー「裕毛屋」とタイアップして「大分フェア」を実施。
6月	大分県議会日台友好議員連盟の総会に台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長を招き、講演会を実施。
2023年 5月	台湾の高校生13名及び教育関係者6名が久住高原農業高校を訪問。生徒との交流プログラムや体験授業を実施。
7月	2023屏日友好祭にて大分県プールを出展。
12月	台湾の高校生80名及び教育関係者4名が別府鶴見丘高校、大分上野丘高校を訪問。生徒との交流プログラムや体験授業を実施。
	台湾の高校生16名及び教育関係者6名が別府翔青高校、大分工業高校を訪問。生徒との交流プログラムを実施。
2024年 1月	台湾の高校生30名及び教育関係者2名が大分舞鶴高校を訪問。生徒との交流プログラムや体験授業を実施。
	県教育委員会と台北市教育局が教育における交流協力覚書を締結。
2月	2024台湾屏東県熱帯農業博覧会にて大分県ブースを出展。
	台北-大分のチャーター便運航再開に併せ、副知事が訪問。
3月	台湾の教育関係者4名が大分上野丘高校を訪問。交流プログラムを実施。

4月	台北駐福岡経済文化弁事処の陳銘俊処長が知事及び県議会議長を表敬訪問。
8月	知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県台湾プロモーションを台北市で開催。
2025年 3月	三三企業交流会定例会に知事が出席し大分県の企業誘致情報にかかる講演を実施。
2026年 1月	尾野副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県台湾プロモーションを台北市で開催。

●香港との交流

2010年 8月	リタ・ラウ・ワイラン商務・経済発展局長官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2011年11月	知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府麵館」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県のタベ」を開催し、本県の特産品や観光の一体的P Rを実施。
2012年10月	香港特別行政区駐東京経済貿易代表部 サリー・ウォン首席が、香港ビジネスセミナー実施のため来県し、知事を表敬訪問。
11月	2011年度に引き続き、知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府麵館」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県のタベ」を開催し、海外初輸出となる豊後牛をはじめとした本県の特産品や観光の一体的P Rを実施。
2013年9月	「別府集団」（旧「別府麵館」）の呂副主席一行が来県し、知事を表敬訪問。
2013年11月	副知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府集団」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県のタベ」を開催し、本県の特産品や観光の一体的P Rを実施。
2014年2月	香港中華総商會会長ジョナサン・チョイ氏が来県し、知事を表敬訪問。
8月	別府集団の呂副主席一行が大分フェアで使用する食材調査のため来県し、知事と懇談。
	別府集団とタイアップして香港にて大分食材試食商談会を実施。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2015年9月	別府集団の呂副主席一行が大分フェアで使用する食材調査のため来県し、知事と懇談。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2016年3月	EGLツアーズの袁文英代表取締役社長が来県し、知事を表敬訪問。海外親善大使に任命。
2017年11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2018年11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2019年 7月	香港貿易発展局 サイラス・チュー日本代表が知事を表敬訪問。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2022年 3月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2023年10月	香港貿易発展局ベンジャミン・ヤウ日本首席代表が副知事を表敬訪問。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2024年 2月	香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部欧慧心（ウィンサム・アウ）首席代表が知

	事を表敬訪問。
--	---------

●大韓民国との交流

2003年 5月	趙誠勇・駐福岡大韓民国総領事が来県。
6月	ワールドカップ1周年記念事業「日韓ワールドカップ蹴球人形展」をビッグアイ、ソウル市美術館で開催。
10月	慶尚北道南孝彩副知事一行が、副知事を表敬訪問し、県内を視察。
11月	韓国政府財政税チーム長一行が来県、地方税制の実態を聴取。
2004年 2月	韓国教職員招へいプログラムによる小・中・高校の教職員が来県、教育長を表敬訪問するとともに県内視察、ホームビジットを行う。
4月	趙誠勇・駐福岡大韓民国総領事が来県、知事表敬。 大韓民国駐福岡総領事・金榮昭が知事に着任あいさつ。
7月	ゆふいんアジアふれあい交流子ども使節団が副知事に出発挨拶。
2005年 5月	羅鍾一駐日大韓民国大使が来県、知事表敬。
6月	張性元ロッテL&L常任理事、慎重陸KOTFA代表理事、東亜日報社を日韓友情年2005記念大分韓国ツーリズム大使に委嘱。
7月	皇甫官大分トリニータ監督を日韓友情年2005記念大分韓国ツーリズム大使に委嘱。
8月	大韓民国益山市訪問団（団長：蔡奎晶益山市長）が、豊後大野市と友好交流協定の締結後、副知事を表敬。
10月	大韓民国蔚山広域市韓日親善協会訪問団（団長：イ・ビョンジク会長）が、大分県日韓親善協会との交流のため来県し、出納長を表敬。
11月	韓国国際通商実務者研修訪問団が通商施策の研修のため来県。
2006年 2月	韓国大学関係者一行が来県、県内の保健福祉行政を視察。
	韓国水原市職員が来県、廃棄物リサイクル施設を視察。
	韓国行政自治省実務研修訪問団が県民相談システム等の研修のため来県。
	韓国自治政策研究室長が電子県庁の推進体制、運用状況等調査のため来県。
3月	韓国有力ジャーナリスト一行が来県、知事を表敬訪問、日本における地方経済の重要性について意見交換した。
	韓国唐津郡環境視察団が環境施策の研修のため来県。
	（社）韓国テクノマート金鉄佑会長が来県、企画振興部を訪問。
4月	韓国自治体国際化財団主催の韓国自治体職員研修団が来県、本県の経済施策等を調査。
8月	韓国慶尚南道金知事が来県、大分トリニータV S 慶南F Cの国際親善試合を観戦。
12月	韓国精神看護担当大学教員が来県、看護科学大学において保健・医療システムを研修。
2007年 1月	韓国ソウル大学校教員が保健・医療システムと看護職の役割等を研修のため来県、看護科学大学教員と意見交換、病院施設の視察。
2月	春季キャンプで来県した韓国プロ野球斗山ベアーズの金団長以下3名が津久見警察署長を表敬訪問。
	金榮昭 駐福岡韓国総領事が離任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。
5月	金賢明 駐福岡韓国総領事が新任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。
7月	ソウル市観光マーケティング本部一行が来県、修学旅行説明会を開催。
12月	忠南洪城郡葛山面村長団体（韓国）44名が「水田農業研究所」を視察。
2008年 10月	蔚山市韓日親善協会イ・ビョンジク会長が大分県日韓親善協会との交流のため来県

	し、企画振興部長を表敬訪問。
11月	韓国テクノマート金鐵佑会長、太田市朴城孝市長が来県、知事を表敬訪問。
2010年 1月	大分県訪問団（福岡大学友景教授団長ほか8名）が、ソウル市、清州市、清原郡オチャン等の企業、関係機関、忠北大学、忠清北道庁等を訪問し、韓国の半導体産業を調査。 韓国沃川郷愁アカデミー日本九州地域圏集団一行（26名）が来庁し、グリーン・ツーリズムについて研修。
2月	韓国中央大学大学院一行15名（学生・教員）が看護科学大学を視察。
4月	趙延元駐福岡大韓民国総領事が新任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。 韓国忠清北道経済交流協力団（忠清北道庁戦略産業課長団長ほか8名）が来県し、L S I クラスター、企業、大学等を訪問。商工労働部産業集積推進室長と意見交換。
6月	韓国大田大学校看護学科学生（30名）が来県し、看護科学大学及び県内の医療保健施設を視察。 大分県訪問団（（株）ジェイデバイス仲谷社長団長ほか9名）が清州市で、韓国企業20社及び関係機関と交流。
7月	大分県日韓親善協会と姉妹交流をしている蔚山広域市韓日親善協会が企画振興部長を表敬。
8月	チョ・ソク知識経済部長官補がA P E C 成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 韓国農林水産食品部主催きこ農業研修団一行（32名）が大分県椎茸農業協同組合で研修。 韓国訪問団（韓国産業団地公団清州支社長団長ほか9名）が来県し、知事立会のもと交流推進のための覚書を関係機関4者で締結。韓国企業5社と交流。
9月	韓国プヨ農協農業大学の一行（64名）が農林水産研究指導センター農業研究部花きグループを訪問し、観賞温室を視察。
10月	第12回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者1名を招聘。 大分県ビジネスミッション（10社18名）が清州市での第1回商談会に参加。韓国企業20社と商談。 韓国慶尚南道視察団一行（18名）が来庁（農林水産企画課、水産振興課）し、水産業の施策について研修。
11月	慶尚北道星州郡セマウル会が来県、企画振興部審議監を表敬訪問。 Chodang Universityの学生40名及びKyungin Women's Collegeの学生20名が来県し、看護科学大学及び県内の医療保健施設を視察。
12月	韓国ビジネスミッション（7社15名）が来県し、第2回商談会で大分の企業19社と商談。
2011年 1月	大分県（5名）と韓国（5名）の関係者がソウル市で来年度の事業について協議。企業のビジネス支援を積極的に継続することで合意。
5月	九州地方知事会、九州運輸局、九州観光推進機構が連携し、知事など7県の知事・副知事が政府機関への働きかけ、マスコミ向けプレス発表、街頭P R活動、旅行会社訪問などの韓国観光プロモーションをソウルで実施。
11月	韓国半導体関連企業（6社2団体14名）が来県し、大分市で県内半導体関連企業13社と商談を行うと共に、韓国関係機関（韓国産業団地公団、忠北テクノパーク、ジェトロソウル）が知事を表敬訪問。 申珏秀駐日大韓民国大使が来県、知事を表敬訪問。
2012年11月	韓国蔚山広域市韓日親善協会一行（李秉稷会長以下6名）が、副知事を表敬訪問。
2013年 2月	農林水産部長らが韓国の住宅建材フェアを訪問し、トップセールスを実施。

7月	朴鎮雄駐福岡大韓民国総領事が来県、知事を表敬訪問。
2014年8月	韓国観光プロモーションをソウルで実施。
2015年8月	韓国観光プロモーションをソウルで実施。
2017年1月	金玉彩駐福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
10月	第19回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者1名を招聘。
2018年4月	孫鍾植駐福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2020年2月	北東アジア地域自治体連合（NEAR）事務総長金玉彩氏が来県し、企画振興部長表敬訪問。
2021年4月	李駐福岡総領事が知事を表敬訪問。
2022年4月	李駐福岡総領事が副知事を表敬訪問。
11月	釜山外国語大学 国際交流処長兼韓国語文化教育院長ほか2名が来県し、芸術文化短期大学理事長、国際総合学科長等と意見交換。
2023年6月	釜山外国語大学から総長ほか3名が大分県立芸術文化短期大学を訪問し、意見交換のうえ今後の交流を確認。
7月	朴駐福岡総領事が知事を表敬訪問。
2024年11月	蔚山広域市韓日親善協会一行が副知事を表敬訪問。
2025年 9月	元政府政策調整大臣、元財務経済省次官の権泰信（クォン・テシン）氏による特別講演を実施し、94名の学生が参加。

●インドとの交流

2004年 9月	駐日インド大使が来県、知事を表敬訪問。
2005年 4月	在大阪神戸インド総領事が来県、副知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2007年 8月	国際協力銀行からの「インド・トリプラ州森林環境改善・貧困削減事業」に係る協力要請により、県職員2名をインド・トリプラ州に派遣し、現地調査と大分県の竹工芸・竹利用技術の紹介及びトリプラ州森林局と意見交換。
2017年 3月	T. アムストロング・チャングサン在大阪神戸インド総領事が来県、知事を表敬訪問。
2023年7月	シビ・ジョージ駐日インド大使及びニキレーシュ・ギリ在大阪・神戸インド総領事が来県、知事を表敬訪問。
11月	バラムベリー・ムラリーダランインド外務担当閣外大臣、ニキレーシュ・ギリ在大阪・神戸インド総領事が来県、知事を表敬訪問。
2025年10月	ラムクマール在福岡インド総領事が来県、知事及び県議長を表敬訪問。

●インドネシア共和国との交流

2004年 4月	西スマトラ州パダン・パリアマン県ムスリム・カシム知事一行が来県、県内視察。
7月	インドネシア共和国バリ州ジェンプラナ県知事が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	ルキト・ディナルシャトオオ国家開発企画庁副長官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
10月	インドネシア商業省の一行(4名)が農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループを訪問し、きのこ研究施設を視察。
2015年10月	インドネシア中小企業組合省（団長：タウフィック大臣特別アドバイザー）一校9名が来県、副知事表敬訪問、工科短期大学校ほかを視察。

2024年10月	インドネシアの送出機関、看護学校の関係者9名が知事を表敬訪問。介護分野における人材育成・確保に向けた連携・協力に関する覚書を締結。
2026年 1月	インドネシアの介護人材養成機関の関係者が知事を表敬訪問。
2026年 1月	経済産業省およびAOTS（海外産業人材育成協会）の受託事業として、インドネシアの国家防災庁や地方防災局等の実務者約15名が大分県庁を来訪。本県における防災対策や災害対応支援システム、災害情報活用プラットフォーム「EDiSON」について説明し、防災センター等を見学。

●カンボジア王国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2007年 2月	政府統計局職員が地方統計の状況調査のため来県。
2020年 3月	ソック・トーイ カンボジア王立学士院院長が来県、竹工芸産業会館等を視察。

●シンガポール共和国との交流

2005年10月	T V・ラジオ会社「メディアコープ社」オン・レイ・ホン編集長が来県、企画振興部長を訪問、大分県の現状についてインタビューを行う。
2006年 7月	タン・チン・ティオン大使一行が来県、知事を表敬。
2010年 8月	ホー・メン・キット外務省副次官（A P E C高級実務者）がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 ヌール・ヤコブA P E C事務局長が、知事を表敬し、おもてなしや運営支援について感謝の意を伝える。
2012年 9月	シンガポールポリテクニクが、副知事を表敬訪問。

●スリランカ民主社会主義共和国との交流

2005年 6月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2019年10月	ディサーナーヤカ駐日スリランカ特命全権大使が知事を表敬訪問。
2022年 3月	駐日スリランカ大使館のグナセーカラ大使が知事を表敬訪問。

●タイ王国との交流

2003年 9月	タイ王国政府ソムキット副首相及びタイ王国全国県知事研修団一行が来県、知事を表敬訪問するとともに県内を視察。
10月	J I C Aタイ王国国別特設「地方自治体強化による持続的農業農村開発」研修コース研修生8名が来県。
2005年 3月	タイ王国内務省幹部が部長を表敬訪問。
5月	アンパワン・タイ国貿易センター福岡所長が来県。
8月	「北タイ及び東北タイにおける持続的農業開発のための地方自治体職員能力向上コース」団一行が来県、地域振興、市町村合併等を調査。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年 7月	タイ首相顧問一行が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2010年 3月	カセサート大学の一行(6名)が農林水産研究センター水産試験場で水産試験施設及び魚病対策施設を視察。
8月	ウィーラサック・フートラクーン駐日大使が来県、知事を表敬訪問。

	アンボン・キッティアンボン国家経済社会開発庁長官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2012年 7月	ウィーラサック・フートラクーン駐日大使が「平成24年7月九州北部豪雨」被害に対する義援金贈呈のため来県し、同大使より義援金400万円を知事へ贈呈。
2013年 6月	バムルンラード病院等の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県し、知事を表敬訪問。
8月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県タイプロモーションをバンコクで開催。
2014年 6月	国立ラチャウティ病院等医療技術者が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県し、知事を表敬訪問。
7月	タナティップ・ウパティシン駐日タイ王国大使が来県し、知事を表敬訪問。
8月	アナン・スワンナラット農業・協同組合省養蚕局長や11県の知事からなるタイ王国政府訪問団が来県し、知事を表敬訪問し懇談。
10月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県タイプロモーションをバンコクで開催。
2016年 2月	在京タイ王国大使館サリン公使が東九州メディカルバレー構想の取組をヒアリングするために来庁。
	バンコク病院の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県、副知事を表敬訪問。
12月	ジャイカ中小企業海外展開支援事業の採択を受けた大分市のシステム開発会社である（株）エイビスが製造販売している福祉機器「見まもりシステム」のタイでの福祉・保険医療向上に向けた導入実証と介護現場の実態調査のため、サムットサコーン県ベラポン公衆衛生局長ほか10名が太田副知事を表敬訪問し、県福祉保健部職員や大分大学医学部教授等との意見交換を行った。
2018年11月	アッタカーン・ウォンチャナマース在福岡タイ王国総領事が来県し、副知事を表敬訪問。
2019年11月	副知事及び県内企業等一行がバンコクを訪問し、大分県タイプロモーションを開催。
2023年 6月	ソールット・スックターウォン在福岡タイ王国総領事が来県し、副知事を表敬訪問。
2024年 5月	ゴーソン・サティタマジット在福岡タイ王国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2026年 2月	タイ王国内務省天然資源環境省傘下の地下水資源局一行（Parinya Khumsraprom副局長）33名が来県、別府市にて大分県の温泉保護施策について説明のうえ、温泉の資源保護管理について視察を行った。

●ネパール王国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2015年 7月	マダン・クマール・バッタライ在日ネパール特命全権大使が来県し、副知事を表敬訪問。
2022年9月	駐日ネパール大使が知事を表敬訪問

●パキスタン・イスラム共和国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。

2014年 7月	ファルーク・アーミル駐日パキスタン・イスラム共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。
2018年5月	アサド・マジード・カーン駐日パキスタン・イスラム共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。

●バングラデシュ人民共和国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2017年 9月	ラバブ・ファティマ駐日バングラデシュ大使が来県、知事を表敬訪問。

●フィリピン共和国との交流

2005年 2月	フィリピン共和国ムスリム・ミンダナオ自治区政府幹部等が来県、副知事を表敬訪問。
2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	マリア・ルーメン・イスレタ外務省国際経済関係担当次官上級特別補佐官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2023年 9月	在大阪フィリピン総領事館ヴォルテール・デラ・クルズ・マウリシオ総領事が来県し、知事を表敬訪問。

●ブルネイ・ダルサラーム国との交流

2004年 2月	モハメッド・ノール・ジャルディーン特命全権大使一行来県、知事表敬訪問するとともに県内視察。
2010年 8月	モハマド・ナズミ外務貿易省副次官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●ベトナム社会主義共和国との交流

2005年 2月	トップマネジメントセミナー（総務省主催）により内務大臣一行が来県、知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2009年 6月	ブー・フィ・ムン在福岡ベトナム総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	グエン・カム・トゥー商工副大臣がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2011年 4月	グエン・フー・ビン駐日ベトナム特命全権大使、ブー・フィ・ムン駐福岡ベトナム総領事が、知事表敬訪問及び県内視察のため来県。
2012年 9月	ドアン・スアン・フン駐日ベトナム特命全権大使が着任のあいさつのため来県、知事を表敬訪問。
12月	ブー・フィ・ムン在福岡ベトナム総領事が、帰任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2013年 4月	ブイ・クオック・タイン在福岡ベトナム総領事が来県、知事を表敬訪問。

2016年 1月	ブイ・クオック・タイン在福岡ベトナム総領事が離任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
6月	グエン・フォン・ホン 在福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
7月	グエン・クオック・クオン駐日ベトナム大使が来県し、知事を表敬訪問。
10月	トゥエンクアン省ファン・ミン・ヒュアン主席一行が知事を表敬訪問し、県内を視察。
11月	クアンニン省人民評議会グエン・スアン・キー副議長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
12月	ジェトロの招聘により、ベトナム、トルコのキーパーソン（ベトナム保健省国際協力局副局長ほか4名）が来県し、副知事を表敬訪問したほか、大分大学医学部や大分ロボケアセンターを訪問し、意見交換を行った。
2018年5月	トゥエンクアン省共産党チャウ・バン・ラム書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
9月	県企画振興部観光・地域局長等がベトナムのトゥエンクアン省へ渡航し、文化遺産祭へ参加。
2019年 3月	グエン・フォン・ホン在福岡ベトナム総領事が離任あいさつのため来県、副知事を表敬訪問。
2019年 7月	ヴー・ビン在福岡総領事が就任あいさつのため来県し、知事を表敬訪問。
2019年 8月	トゥエンクアン省省人民評議会ファム・ティ・ミン・スアン副議長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
2019年 9月	ロンアン省人民評議会ファム・タン・ホア副議長一行が来県し、県企画振興部長を表敬訪問。
2019年11月	チャン・タイン・ナムベトナム農業農村開発省副大臣一行が来県し、知事を表敬訪問。
2022年10月	ベトナム国クアンガイ省、人民委員会ヴォー・フィエン副委員長ほか13名が大分県議会を表敬訪問。
2023年 2月	在福岡ベトナム領事館ヴー・チ・マイ総領事が就任あいさつのため、議長を表敬訪問。
7月	在福岡ベトナム領事館ヴー・チ・マイ総領事及びバックカン省フォン・ティ・タイン人民委員会委員長が来県し、吉田副知事を表敬訪問。
4月	ベトナム国クアンガイ省人民委員会常任副委員長（チャン・ホアン・トゥアン）一行6名が議長を表敬訪問。
2025年 3月	ファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム大使、ヴー・チ・マイ駐福岡ベトナム総領事が知事を表敬訪問。
9月	チャン・クアン・フオン国会副議長、ファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム大使、ヴー・チ・マイ駐福岡ベトナム総領事が知事及び県議長を表敬訪問。
2026年 2月	ヴー・チ・マイ駐福岡ベトナム総領事が知事及び県議長を表敬訪問。

●マレーシアとの交流

2006年10月	サスム・バハル・ハジ・アブドゥル・ラーマン マレーシア起業家・共同開発政務官が来県、副知事を表敬。
2007年12月	モハメッド・ラジ・ビン・アブドゥル・ラーマン駐日大使が来県、知事を表敬。
2010年 5月	マレーシア政府畜産庁一行(10名)が来県し、畜産研究施設を視察。
8月	サヌシ・アブド・カリム駐日経済参事官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

2014年 6月	国立クアラルンプール病院の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県、知事を表敬訪問。
2018年 8月	マハティール・ビン・モハマッド マレーシア首相一行が来県、立命館アジア太平洋大学を訪問。

●ミャンマーとの交流

2014年10月	ヤンゴン経済大学のキンナインウー学長が同校と立命館アジア太平洋大学との協力協定締結を受け来県、副知事を表敬訪問。
2018年10月	カレン州政府農業灌漑大臣等が来県、副知事を表敬訪問。
2019年 7月	カレン州ナン・キン・トェ・ミイン首相一行が来県、知事を表敬訪問。

●モンゴル国との交流

2004年 4月	バヤンホンゴル県内首長等が来県、副知事を表敬。
2005年 1月	バヤンホンゴル県議会議員一行が来県、副知事を表敬訪問。
4月	フレルバートルモンゴル国外務省アジア局長一行が来県、知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2007年 1月	バヤンホンゴル県部長一行が副知事を表敬訪問。
2009年12月	レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル大使が来県、知事を表敬訪問。
2010年 2月	研修生一行(4名)が農林水産研究センター畜産試験場で畜産技術について研修。
4月	ビャンバスレン・ラグヴァ地域開発国家委員会事務局長他14名の議会・行政関係者が地域開発を学ぶために来県、副知事を表敬訪問。
2011年 3月	ビャンバスレン・ラグヴァ地域開発国家委員会事務局長他9名の議会・行政関係者が地域開発を学ぶために来県、副知事を表敬訪問。
4月	レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル国大使が来県し、副知事を表敬。NPO法人大分県ベンチャー協議会主催の経済セミナーで講演。
6月	バヤンホンゴル総合生協学校民族舞踊チームが県内小学校等との交流のため来県、副知事を表敬訪問。
2012年 2月	フレルバートル駐日モンゴル国大使が来県、知事を表敬訪問。
10月	在大阪モンゴル国総領事が、知事を表敬訪問。
2013年 5月	フレルバートル駐日モンゴル国大使とドグミド・ソソルバラム大統領顧問が来県、知事を表敬訪問。
7月	ロブサンワンダン・ボルド モンゴル国外務大臣が来県、知事を表敬訪問。
8月	知事がモンゴル国を訪問し、アルタンホヤグ首相やソドノム モンゴル日本関係促進協会長（元首相）と会談したほか、大分・モンゴル交流フォーラムで記念講演を実施。
11月	ソノンピル モンゴル国エネルギー大臣が来県、知事を表敬訪問。
2015年 3月	ジャルガルサイハン政治・経済評論家が外務省の招聘にともない来日。県内で視察を行い、副知事を表敬訪問。
2016年11月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、副知事を表敬訪問。
2017年 6月	フレルバートル駐日モンゴル国大使が来県、知事を表敬訪問。
2018年 5月	ダンバダルジャー・バッチジャルガル駐日モンゴル国臨時代理大使一行が来県、知事

	を表敬訪問。
10月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、副知事を表敬訪問。
2023年 9月	モンゴル-大分のチャーター便運航。
11月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、知事を表敬訪問。
12月	アルハンガイ県知事が来県、知事及び議長を表敬訪問。
2024年 9月	バンズラグチ・バヤルサイハン駐日モンゴル国特命全権大使が知事及び県議会議長を表敬訪問。
2025年 8月	尾野副知事がチャーター便を利用してモンゴル国を訪問し、モンゴル日本関係促進協会ソドノム会長（元首相）、ジグジット副会長（元駐日大使）等と会談したほか、在モンゴル日本大使館や文化・スポーツ・観光・青年担当省を訪問し意見交換を実施。

●ラオス人民民主共和国との交流

2004年12月	ラオス人民民主共和国経済・投資委員会副委員長らが来県、副知事を表敬訪問。
2005年 4月	ラオス「参加型森林管理」コース研修員が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2013年 1月	おおいたシティハーフマラソン出場のラオス出身選手が、副知事を表敬訪問。

●ASEANとの交流

2005年10月	フィリピンほか6カ国の地域振興行政セミナー研修団一行が来県。産業科学技術センターを視察。
2006年12月	カンボジアほか3カ国の行政官一行が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2023年11月	別府市にて第21回ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合開催（厚生労働省主催）、ASEAN加盟国の行政官らが来県。

【北米】

●アメリカ合衆国との交流

2004年 7月	海軍第7艦隊駆逐艦マリン艦長が副知事を表敬訪問。
2005年 2月	在福岡アメリカ領事館主席領事が知事を表敬訪問。
2006年 3月	マンسفールド研修第10期研修員一行が企画振興部審議監を表敬訪問。
2007年 2月	マンسفールド研修第11期研修員一行が知事を表敬訪問。
6月	海軍第7艦隊イージス駆逐艦マーシャル・ブラウン艦長が副知事を表敬訪問。
10月	マルゴ・J・キャリントン在福岡領事館首席領事が知事を表敬訪問。
2010年 8月	カート・トン国務省経済調整官（東アジア・太平洋担当）（APEC担当大使）がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
10月	第12回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者2名を招聘。
11月	ジェイソン・R・クーバス在福岡総領事館首席領事が着任挨拶のため、知事を表敬訪問。
2012年 1月	ジョン・V・ルース駐日大使一行が来県、知事を表敬訪問。
2013年10月	ユーリー・フェッジキフ在福岡米国領事館首席領事が来県、副知事を表敬訪問。
2014年 7月	知事がシリコンバレー（スタンフォード大学）で開催した米日カウンシル知事会議に出席。関係6県（静岡県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、大分県）の知事がパネルディスカッションを行い、参加企業が米国の最新知識を有するリーダー等との情報交換を実施。
2015年 7月	「第25回日米草の根交流サミット2015・おおいた大会」を大分県で開催。
10月	在福岡米国領事館ホイットニー領事が来庁。商工労働部長を表敬訪問。その後、エネ

	ルギー政策及び東九州メディカルバレー構想の取組を説明。
2017年 2月	ジョイ・ミチコ・サクライ在福岡領事館首席領事が来県し、知事を表敬訪問。
5月	米日カウンシル 日・ハワイ経済サミットへの参加のため、太田副知事、神崎副部長ほか県職員 3 名が米国ハワイ島を訪問。太田副知事はパネルディスカッションで登壇し、デビッド・イゲ ハワイ州知事等と会談。
9月	南加大分県人会100周年記念式典に安東副知事ほか県職員が出席。
2019年6月	ジョイ・ミチコ・サクライ在福岡領事館首席領事が離任挨拶のため、知事を表敬訪問。
8月	シリコンバレー（スタンフォード大学）で開催した米日カウンシル知事会議に出席するため知事が訪問。関係 6 県（静岡県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、大分県）の知事がパネルディスカッションを行い、参加企業が米国の最新知識を有するリーダー等との情報交換を実施。併せて、大分県、SAPジャパン、SAP Academyと、災害対策高度化及びIT人材育成分野において相互協力協定を締結した。
2019年12月	ジョン・C・テイラー在福岡領事館首席領事が来県し、知事を表敬訪問。
2023年 2月	チュカ・アシーケ在福岡領事館首席領事が来県し、知事、議長を表敬訪問。
7月	大分県立芸術文化短期大学国際総合学科の「卒業研究」において、アメリカ合衆国・コロラドクリスチャン大学の学生（7名）と交流。
12月	大分県立芸術文化短期大学がアメリカ国立スミソニアン博物館学芸員Deutsch氏を招へいし、ミニアメリカ映画祭を開催。（受講者125名）
2024年 4月	JCCNC（北カリフォルニア日本文化コミュニティセンター）による日本文化ツアーで来日したダイアン・マツダ氏が知事を表敬訪問。
11月	桑田副知事が大分県商工会議所連合会の吉村会長とともに米国西海岸（サンフランシスコ、ロサンゼルス）を訪問し、大分県の魅力をPRした。併せて、本県観光局と国カリフォルニア州のソノマカウンティツーリズムと、「友好と相互協力に関する覚書」を締結した。
11月	大分日米協会が主催した「アメリカンフェスティバル」において知事あいさつ。
2025年10月	大分日米協会が主催した「アメリカンフェスティバル」において企画振興部長あいさつ。
10月	オースティン市から大分市との姉妹都市提携35周年を記念しての第8次親善訪問団が来県し、知事を表敬訪問。
11月	知事がサンフランシスコ周辺地域を訪問（交流促進ミッション）。 ・スタンフォード大学では遠隔講座等による県内大学との連携促進や、九州・台湾間の経済交流と人材ネットワーク構築を目的とする国際会議の大分開催で合意 ・サンフランシスコ市長とは経済や行政分野での連携の可能性について意見交換 ・在サンフランシスコ日本国総領事公邸でのレセプションも開催
2026年 1月	フロリダ州に本拠を置く中高一貫の教育機関であるIMGアカデミーの副社長等が、知事を表敬訪問。

●カナダとの交流

2004年11月	アンドレア・クレメンツ領事が企画振興部長を表敬訪問。
2006年11月	アンドレア・クレメンツ駐日カナダ領事館領事兼通商団表が本県の「新エネルギー研究会」への参加希望の表明、カナダの太陽電池に関する有力企業PRのため商工労働部を訪問。
2010年 8月	ジョナサン・フリード駐日大使がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2024年 2月	剣道カナダナショナルチームが、イタリアで開催予定の世界選手権の事前強化合宿を別府市で行うことに伴い、チーム関係者が知事を表敬訪問。
2024年 5月	カナダ・プリンスエドワード島で開催された「グローバル・サステナブル島サミット2

	024」に東部振興局や姫島村にゆかりのある県内企業が参加し、姫島村のエコツーリズムに係る取組等をPRするとともに、今後の交流の可能性について調査。
2025年 7月	プリンスエドワードアイランド州を国際政策課長が訪問し、知事からロブ・ランツ首相あての来県を促す親書及びメッセージ動画を手交。
9月	大阪・関西万博のため来日中であったプリンスエドワードアイランド州ロブ・ランツ首相夫妻が来県。知事との間で「友好関係の構築に関する意向表明書」を締結。ハーモニーランドや久留島武彦記念館など県内の関連施設の視察など今後の交流の促進に向けた意見交換も実施。
9月	大阪・関西万博のカナダパビリオンで開催された「テイスト ディスカバリー イベント（P E I デー） に、桑田副知事が参加。

【中南米】

●アルゼンチン共和国との交流

2003年 6月	サルタ州副知事（ウォルテル ラウル ワイヤル）が来県、副知事を表敬訪問。
2006年 4月	ポルスキ駐日大使が来県、知事を表敬、アルゲリッチ音楽祭に参加。

●エクアドル共和国との交流

2006年 3月	アルバレス駐日特命全権大使が来県、知事を表敬、日本－エクアドル代表のサッカー国際試合を観戦。
----------	--

●キューバ共和国との交流

2017年 9月	キューバ国国立穀物研究所職員15名が、国東半島宇佐地域世界農業遺産の取組を学ぶため、田染荘や七島蘭学舎など国東半島地域を視察訪問。
----------	---

●コスタリカ共和国との交流

2010年 7月	コスタリカ企画経済政策省副大臣ほか中南米地域の国際協力担当行政官など19名（JICA）が竹工芸・訓練支援センターを視察訪問。
----------	--

●ジャマイカとの交流

2003年 6月	アール・カー駐日大使が知事を表敬訪問。
2019年 1月	リカルド・アリコック駐日特命全権大使が来県、知事を表敬訪問。

●チリ共和国との交流

2010年 7月	JICAチリ研修の一行(12名)が来庁し、研修。
8月	アルフィエ・ウジョア財務省国際関係局長がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●ドミニカ共和国との交流

2004年10月	ヨシロ・ヤナイ代理大使が出納長を表敬訪問。
----------	-----------------------

●ニカラグア共和国との交流

2015年 6月	ニカラグア国家技術庁カリキュラム課一行3名が来県、商工労働部審議監表敬訪問、工科短期大学校ほか視察。
----------	--

●パラグアイ共和国との交流

2005年11月	田岡功駐日大使が来県、出納長を表敬訪問。
----------	----------------------

●ブラジル連邦共和国との交流

2005年12月	ブラジル大分県人会矢野副会長が来県。
2006年 6月	ブラジル大分県人会矢野副会長が来県、企画振興部長を表敬。
10月	ブラジル大分県人会理事が来県、知事を表敬。
2007年 4月	ブラジル大分県人会永松会長が来県、知事を表敬。
10月	知事を団長とする公式訪問団がブラジル訪問、大分県人会創立55周年式典に出席。
2008年 9月	ブラジル大分県人会国体訪問団来県。
2012年10月	ブラジル大分県人会創立 6 0 周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州知事等へ表敬訪問。
11月	ブラジル大分県人会永松顧問(元会長)が来県、副知事を表敬。
2013年 4月	ブラジル大分県人会矢野会長が来県、知事を表敬。
2014年 7月	ブラジル大分県人会玉田副会長が来県、副知事を表敬。
2015年11月	ブラジル大分県人会矢野会長が来県、知事を表敬。
2016年6月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事を表敬。
2017年10月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、議長を表敬。
2018年9月	ブラジル大分県人会創立 6 5 周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州政府等へ表敬訪問。
2019年10月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事を表敬。
2022年10月	ブラジル大分県人会創立 7 0 周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州政府等へ表敬訪問。
2023年11月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事・副知事を表敬。

●ベネズエラ・ボリバル共和国との交流

2008年10月	セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	------------------------------------

●ペルー共和国との交流

2010年 8月	フリオ・カルデナス駐日代理大使がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
----------	--

●メキシコ合衆国との交流

2010年 8月	ホルヘ・ルイス・ラバージェマウリ社会開発省生産機械局長がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
----------	--

【欧州】

●イタリアとの交流

2018年 6月	ルイーダ・ディオダーティ在大阪イタリア総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2023年 1月	ローマ大学大学院博士課程の学生ら 3 名が若手研究者研修講座のため来県、知事表敬訪問。
2024年 2月	ローマ大学大学院博士課程の学生と教授ら 5 名が若手研究者研修講座のため来県、教育長表敬訪問。
2025年 2月	ローマ大学大学院博士課程の学生と教授ら 3 名が若手研究者研修講座のため来県、教育長表敬訪問。

●英国との交流

2015年 1月	マイケル・シアラー駐大阪英国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2017年12月	セーラ・ウテン駐日英国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2018年 4月	中嶋竹春ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2018年 6月	知事がウェールズを訪問し、マーク・ドレイクフォード財務大臣やウェールズラグビー協会等を表敬訪問し、ラグビーワールドカップに向けたPRを実施。
2019年 2月	ロビン・ウォーカーウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2019年 9月	マーク・ドレイクフォード ウェールズ政府首席大臣、ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表他2名が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、The Art of Wales展オープニングセレモニーに出席。
2019年10月	デービッド・アンダーソン ウェールズ国立博物館館長が来県し、知事を表敬訪問するとともに、講演会を実施。
2019年10月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、ウェールズラム肉の夕べを開催。
2020年 1月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2020年11月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、大分・ウェールズ友好交流1stアニバーサリーに出席。
2022年 3月	大分県と英国ウェールズ政府との間で「友好と相互協力に関する覚書」(MOU)を締結。キャロリン・デービッドソン在大阪英国総領事立ち合いのもと、知事とウェールズ政府のドレイクフォード首席大臣によるオンライン締結式を開催。
2022年10月	ジュリア・ロングボトム駐日英国大使、ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、MOU締結記念パネル展オープニングセレモニーに出席。
2023年2-3月	MOU締結1周年を記念して、リチャード・小泉 ウェールズ政府東京事務所日本代表をはじめとする訪問団が来県し、学校訪問やOPAMとの交流イベント等を実施。
8月	リチャード・小泉 ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2024年 2月	大分県とウェールズ政府、並びに大分県立美術館とウェールズ国立博物館とのMOU締結2周年を記念したイベントと交流報告会を開催。
9月	広瀬勝貞氏(公選第15～19代大分県知事)が、ウェールズ政府との友好交流を深めた実績等を踏まえ、英国から「名誉大英勲章MBE(Honorary Member of the Most Excellent Order of the British Empire)」を授与された。
2025年 1月	ジュリア・ロングボトム駐日英国大使が来県し、尾野副知事を表敬訪問。
4月	大阪・関西万博のため来日中であったウェールズ政府 レベッカ・エバンズ経済・エネルギー・計画担当大臣が来県。知事主催のレセプションに参加したほか、別府の温泉施設等を視察。
4月	大阪・関西万博の英国パビリオンで開催された「ウェールズ・デー」に、桑田副知事が参加。
10月	ウェールズの男子合唱団「オンリー・ボーイズ・アラウド」が来県。芸術緑丘高等学校合唱部との交流会等を実施。
11月	OPAMにおいて「織る 聴く 味わう ウェールズ・アート・ウィーク」が開催。

●オーストリア共和国との交流

2018年 5月	フーベルト・ハイッス特命全権大使が来県し、知事を表敬訪問。
----------	-------------------------------

●オランダ王国との交流

2006年11月	ディルク ヤン・コップ在大阪・神戸オランダ総領事が来県、副知事を表敬、県内視察。
----------	--

2012年11月	在大阪・神戸オランダ総領事が、別府競輪「第13回オランダ王国皇太子杯」で皇太子杯を授与するために来県し、知事を表敬訪問。
2015年10月	駐日オランダ王国ラーディンク・ファン・フォレンホーヴェン特命全権大使が来県し、知事を表敬訪問。
2018年 4月	ヘラルド・ミヘルス駐大阪・神戸総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2024年 4月	臼杵市で在大阪オランダ王国総領事出席のもと「デ・リーフデ「奇跡の来航」献花式典」が開催され、知事が出席。

●カザフスタン共和国との交流

2006年11月	カザフスタン看護研修員が来県、病院等の実習施設を視察、日本の保健・医療システムと看護職の役割等を研修。
----------	---

●ウズベキスタン共和国との交流

2025年 4月	ムクシンジャ・アブドゥラフモノフ駐日大使が経済セミナー出席のため来県し、知事を表敬訪問。
----------	--

●キルギス共和国との交流

2007年12月	ヌル・ウル・ドスボル副首相がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立境川小学校を訪問し、児童と交流。
----------	---

●コソボ共和国との交流

2012年 7月	サミ・ウケリ駐日コソボ共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。
----------	-------------------------------

●スイスとの交流

2014年 5月	ウルス・ブーヘル駐日スイス大使が別府アルゲリッチ音楽祭観覧のため来県、知事を表敬訪問するとともに音楽祭の懇親会に出席。
2018年 5月	ジャン＝フランソワ・パロ駐日スイス大使が来県し、知事を表敬訪問。
2024年 2月	駐日スイス大使公邸で開催されたスイス・日本国交樹立160周年記念レセプションに知事が出席。
11月	ロジェ・ドゥバッハ駐日スイス特命全権大使が車いすマラソン関連行事に参加のため来県。

●スロバキア共和国との交流

2005年10月	ペテル・ヴァルシヤンスキー駐日大使が来県、副知事を表敬。
2015年11月	ミハル・コットマン特命全権駐日大使が県立芸術文化短期大学公開講座のため来県、知事を表敬訪問。

●チェコ共和国との交流

2004年 3月	カレル・ジェブラコフスキー駐日大使が来県、知事を表敬訪問するとともにウインドアンサンブル荷揚定期演奏会を鑑賞。
4月	愛知万博チェコ共和国政府副代表団が来県、副知事を表敬。
2006年 3月	カレル駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
6月	駐日チェコ大使館 参事官、ジャズ音楽のエミール・ビクリツキートリオー一行が来県、芸術文化短期大学学長と懇談学生とのワークショップを開催。
2007年 2月	クラウドチェコ大統領、クラウドヴァー大統領夫人、シュワルツェンベルグ外務大臣等一行が来県、知事との懇談、APUの留学生等と意見を交換。

4月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、大分・チェコ友好協会設立総会出席のため来県、知事を表敬訪問。
2008年 8月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事を表敬訪問。
2009年 9月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2010年10月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2011年 5月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2012年 2月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2013年 6月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2014年 6月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2014年10月	東京オリンピック金メダリスト、ベラ・チャスラフスカ女史が「ベラ・チャスラフスカさんと語る夕べ」に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2015年 6月	トマーシュ・ドゥプ駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2015年11月	駐日チェコ大使館参事官が「チェコを語る夕べ」に出席、講演を行うため来県。
2016年12月	駐日チェコ大使館参事官が来県、「チェコを語る夕べ」に出席。
2017年11月	トマーシュ・ドゥプ駐日大使が「チェコを語る夕べ」に出席、知事を表敬訪問。
2018年5月	トマーシュ・ドゥプ駐日大使とミラン・ルーチュカ ホドニン市長が「世界温泉地サミット」に出席、知事を表敬訪問。
2018年11月	トマーシュ・ドゥプ駐日大使が「チェコを語る夕べ」に出席、知事を表敬訪問。
2019年 8月	安東副知事、原田日田市長、大分チェコ協会がホドニン市を訪問。
2020年10月	マルチン・トムチョ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
2023年 7月	マルチン・トムチョ駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事と懇談。
2024年11月	マルチン・クルチャル駐日大使が「チェコを語る夕べ」に出席、知事を表敬訪問。

●ドイツ連邦共和国との交流

2004年10月	直入町・ドイツ・バートクロツィンゲン市交流15周年を記念して直入町がドイツに訪問団を派遣。知事の親書を託す。
11月	直入町・ドイツバートクロツィンゲン市交流15周年を記念して直入町で「炭酸泉と温泉フォーラム」を開催。出納長が来賓として出席。
12月	小泉首相とドイツシュレイダー首相が直入町のドイツワインで夕食会の際、乾杯を交わした。
2006年 3月	ドイツ学術交流会の「日本語学習と企業内研修」22期生一行が来県、県内企業を視察。
7月	ゲロルト・アメルンク大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事が来県、知事を表敬。
2020年11月	ドイツ大使館（武官キーゼヴェッター大佐ほか5名）が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、桜の記念植樹等を行うとともに、知事表敬訪問を行った。
2021年10月	ドイツ大使館（武官キーゼヴェッター大佐ほか2名）が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、別府大学での記念講演等を行うとともに、知事表敬訪問を行

	った。
2022年10月	クレメンス・フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使、武官キーゼヴェッター大佐が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、別府大学での記念講演等を行うとともに、知事表敬訪問を行った。
2023年11月	武官ラルフ・ペルジケ大佐が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、知事表敬訪問を行った。
2025年11月	武官ラルフ・ペルジケ大佐が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参を行った。

●バチカンとの交流

2014年 7月	ジョセフ・チェノットウ駐日ローマ法王庁大使が岐部祭出席のため来県し、知事を表敬訪問。
2019年2月	知事がジョセフ・チェノットウ駐日ローマ法王庁大使を表敬訪問。

●ハンガリーとの交流

2013年10月	イシュトヴァーン・セルダヘイ駐日ハンガリー大使が「大分県・ハンガリー友好の集い」で講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2018年 5月	パラノビチ・ノルバート駐日大使が「世界温泉地サミット」に出席、知事を表敬訪問。
2018年11月	知事がパラノビチ・ノルバート駐日大使を表敬訪問。
2019年12月	知事がパラノビチ・ノルバート駐日大使を表敬訪問。
2023年 7月	ハンガリー・アメリカ水球代表チームが、福岡県で開催される世界水泳選手権の事前合宿を大分市で行うことに伴い、パラノビチ・ノルバート駐日ハンガリー大使が知事を表敬訪問。

●フランス共和国との交流

2007年12月	ジルダ・ル・リデック駐日大使が大分香りの博物館開館記念行事(別府大学主催)に出席のため来県し、知事を表敬訪問。
2008年10月	アラン・ナウム在大阪・神戸総領事が来県、知事を表敬訪問。
2010年11月	フィリップ・フォール駐日大使が大分香りの博物館3周年記念事業(別府大学主催)で講演するため来県し、知事を表敬訪問。
2011年11月	フィリップ・ジャンヴィエ・カミヤマ在京都フランス総領事が来県、副知事を表敬訪問。
2018年 7月	九州地域戦略会議でパリを訪問し、九州合同で観光セミナーやPRを実施。当県からは知事が出席。
2023年 3月	日欧地域間イノベーション協力のプログラムにてヴァルドワーズ県の代表が来県し、県内各所を視察、意見交換会実施。

●ベルギー王国との交流

2024年 3月	アントワン・エヴラー駐日大使が県内経済関係者との交流のため来県し、知事を表敬訪問。
----------	---

●ボスニア・ヘルツェゴビナとの交流

2014年10月	スレブレニツァ市、ロガティツァ市、ブラトナツ市より行政官（8名）が地方振興・地方行政研修のため来県し、副知事を表敬訪問。
----------	--

●ルーマニアとの交流

2019年 5月	タティアナ・ヨシペル駐日大使がホストタウン訪問のため来県し、知事を表敬訪問。
----------	--

●ポルトガル共和国との交流

2025年 6月	大阪・関西万博のポルトガル・ナショナルデーに国際政策課長参加（日出町長、大分市関係者も同席）。
2025年 9月	日出町とモンテモール・オ・ヴェーリョ市との間で姉妹都市提携
2025年 9月	世界陸上ポルトガル代表チーム関係者と在京ポルトガル大使館の補佐官が知事を表敬訪問。
2025年11月	ジルベルト・ジェロニモ駐日大使が大分市で開催された「ルイス・デ・アルメイダ生誕500年記念フォーラム」に出席。桑田副知事も同席。
2026年 3月	ジルベルト・ジェロニモ駐日大使が「日出町とモンテモール・オ・ヴェーリョ市との姉妹都市記念レセプション」に出席。企画振興部長も同席。

●ジョージアとの交流

2025年 3月	ティムラズ・レジャバ駐日大使がワイン外交の一環として来県し、桑田副知事を表敬訪問。
----------	---

●ロシアとの交流

2005年 5月	アレクサンダ・ロシュコフ駐日大使が来県、副知事を表敬訪問。
2006年 8月	第8回国民芸術文化祭開幕行事に参加するロシア国立舞台アカデミアバレエ学部長のエフゲニー・P・バルーキン教授が来県、知事を表敬訪問。
9月	第8回国民芸術文化祭開幕行事「ラ・バヤデール」公演のため、バルーキン教授及びボリショイバレエ団来県、企画振興部長を表敬訪問。
2007年12月	アレクサンダ・セドフロシア国立美術館館長及びミハイルM. ベールイ駐日大使が「ロシア国立美術館所蔵 首藤コレクション展」のため来県、知事を表敬訪問。
2009年12月	ミハイルM. ベールイ駐日大使が「エルミタージュ美術館所蔵 エカテリーナ2世の晩餐会」のため来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	グレゴリー・サリシュブイリ経済発展省アジア・アフリカ局長がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 ロシア国立舞台芸術アカデミア・バレエ学部長が芸術文化短期大学長を表敬訪問し、バレエを通じての芸術文化活動について意見交換。県議会議長を訪問。
2010年 2月	ロシアボリショイバレエ劇場の指導者ほか2名が芸術文化短期大学長を表敬訪問。
2014年 5月	エヴゲニー・ウラジーミロヴィッチ・アフアナシエフ駐日大使が首藤コレクション顕彰大分県推進協議会総会で講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。

●EUとの交流

2003年 4月	欧州ビジネスマンが来県、出納長を表敬訪問。
6月	大分EU協会総会に出席のため、駐日欧州委員会代表部エティエンヌ・ロイター公使参事官・広報部部長が来県、企画文化部長を表敬訪問。
2004年 3月	欧州ビジネスマンが来県、出納長を表敬訪問。
7月	アン・コフォード駐日欧州委員会代表部広報副部長が企画振興部長を表敬訪問。
2005年 6月	シルビア・コブラ駐日欧州委員会代表部広報部長が企画振興部長を表敬訪問。
2007年 7月	ヒュー・リチャードソン駐日欧州委員会代表部大使が、大分EU協会総会で講演、知事を表敬訪問。
2012年 6月	大分EU協会総会に出席のため、ハンス・ディートマール シュヴァイスグート駐日欧州連合代表部大使が来県し、知事を表敬訪問。

【大洋州】

●オーストラリア連邦との交流

2010年 1月	ウェンディ・ホルデンソン在福岡オーストラリア総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
8月	ビル・ブラミット財務省国際・G20局長がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2013年 4月	トーマス・イエイツ在福岡オーストラリア総領事が来県、知事を表敬訪問。
5月	ブルース・ミラー駐日オーストラリア大使が来県、知事を表敬訪問。
2018年 3月	リチャード・コート駐日オーストラリア大使が来県、知事を表敬訪問。
4月	クレア・ウォルシュ駐日オーストラリア首席公使、イアン・ブレイジア在福岡オーストラリア総領事が来県、県参事、企画振興部長を表敬訪問。
2025年 4月	マーガレット・ボーエン在大阪総領事が来県、知事を表敬訪問。

●サモア独立国との交流

2016年 6月	ラブチャー・パガイアリ参事官がトンガ王国駐日大使、マーシャル諸島共和国駐日大使、フィジー共和国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
----------	---

●トンガ王国との交流

2016年 6月	タニア・トゥポウ駐日大使がマーシャル諸島共和国駐日大使、フィジー共和国参事官、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
----------	--

●ニュージーランドとの交流

2004年 8月	ロトルア市長が来県、知事を表敬訪問。
2005年11月	ジョン・マッカーサー駐日大使が来県、出納長を表敬訪問。
2006年 5月	ホール前ロトルア市長が来県、知事を表敬訪問。
2009年 1月	西謙二大分県ニュージーランド友好協会長がニュージーランド・メリット勲章名誉五等勲士を授与される。
5月	イアン・フォーブス・ケネディー駐日ニュージーランド大使が、西友好協会長の勲章記念祝賀会に参加するため来県し、知事を表敬訪問。
2010年 8月	マーク・ピアソン駐日公使がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2017年10月	スティーブン・ペイトン駐日ニュージーランド大使がRWC2019大分開催2年前イベント参加のため来県、知事を表敬訪問。
2019年10月	ヘイミッシュ・ネヴィル・フランシス・クーバー大使が着任挨拶及びRWC2019大分開催関係者訪問のため来県、知事を表敬訪問。

●パプアニューギニア独立国との交流

2005年12月	駐日パプアニューギニア大使が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2010年 8月	マシユー・ドリユウェイ駐日参事官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●パラオ共和国との交流

2005年12月	パラオ共和国トミー・レメンゲサウ大統領が来県、知事を表敬訪問。
----------	---------------------------------

●フィジー共和国

2013年 9月	イシケリ・マタイトガ駐日フィジー共和国大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	-----------------------------------

2015年10月	在別府フィジー共和国名誉領事に河村眞實氏が就任。
2016年 6月	ジュリア・コロボウ参事官がトンガ王国駐日大使、マーシャル諸島共和国駐日大使、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
2023年 7月	駐日フィジー共和国大使館フィリモネ・ワガバザ大使来県、知事を表敬訪問。 在大分フィジー共和国名誉領事に安部省祐氏（元県議）が就任。
2024年 4月	駐日フィジー共和国大使館フィリモネ・ワガバザ大使来県、知事を表敬訪問。

●マーシャル諸島との交流

2007年12月	フィリップ・ケラミン・カブア駐日大使がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立南小学校を訪問し、児童と交流。
2016年 6月	トーマス・D・キチナー駐日大使がトンガ王国駐日大使、フィジー共和国参事官、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。

●ミクロネシア連邦との交流

2007年12月	エマニュエル・モリ大統領がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立亀川小学校を訪問し、児童と交流。
----------	--

【中東】

●イスラエルとの交流

2008年 3月	ニシム・ベンシトリット駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	-----------------------------

●イラン・イスラム共和国との交流

2011年 1月	イラン国森林・装置管理プロジェクトC P研修の一行(6名)が来庁(家畜衛生飼料室)し、畜産振興への取組について研修。
----------	--

●トルコ共和国との交流

2011年 1月	J I C Aトルコ研修員（林業関係の公務員技術者）22名が竹工芸・訓練支援センターを視察訪問。
2月	トルコ国チョルフ川流域修復・統合管理プロジェクト研修の一行(28名)が農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループを訪問し、きのこ研究施設を視察。
2013年 3月	トルコ共和国ゾングルダック県コズル市長が知事を表敬訪問し、地震被災者救援活動中に亡くなった宮崎淳氏の功績をたたえた氏の銅像建設について報告。

【アフリカ】

●エチオピア連邦民主共和国との交流

2006年12月	外務担当大臣、駐日エチオピア大使が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
----------	--------------------------------------

●カメルーン共和国との交流

2007年 8月	エジョアスポーツ体育省大臣及びエソンバ駐日臨時大使代理が、サッカー「キリンチャレンジカップ」のため来県、知事を表敬訪問。
2008年12月	ピエール・ンジェンゲ駐日大使が着任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2017年 8月	大分ーカメルーン共和国友好協会設立。
2017年 8月	レイモンド・カムガ臨時大使が副知事を表敬訪問。大分ーカメルーン共和国友好協会の設立を報告。

2018年 5月	ピエール・ゼング駐日大使がカメルーンナショナルデー、カメルーン文化紹介展示会の大分開催のため来県、知事を表敬訪問。
2018年11月	カメルーン企業団が来県、副知事を表敬訪問。
2019年 6月	ピエール・ゼング駐日大使・カメルーン企業団代表が、県内企業とのビジネスミーティングのため来県、知事を表敬訪問。
2024年 9月	ピエール・ゼング駐日大使がカメルーン杯中津江村ジュニアサッカーフェスティバルへの参加のため来県、知事を表敬訪問。

●ジンバブエ共和国との交流

2005年 6月	スチュアート・ハロルド・ゴンバーバッチ駐日特命全権大使が来県、出納長を表敬訪問。
----------	--

●タンザニアとの交流

2013年11月	「タンザニア地方政府改革プログラム」研修員が来県、副知事を表敬訪問。
2016年11月	「タンザニア地方政府改革プログラム」研修員が来県、熊本地震の義援金を贈呈。

●チュニジア共和国との交流

2004年 7月	モハメド・ジュイニ国際協力開発大臣が知事を表敬訪問。
2006年10月	JICAチュニジア研修団一行が来県産業科学技術センターを視察。

●ボツワナ共和国との交流

2004年10月	オテン・ジェナモ・テバベ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
2013年11月	ジェイコブ・ディキエ・ンカテ駐日ボツワナ共和国大使が来県、副知事を表敬訪問。

●マラウイ共和国との交流

2003年 9月	マラウイ共和国バキリ・ムルジ大統領一行が来県、知事と会見、県内を視察。
2004年11月	マラウイ共和国外務次官が来県、出納長を表敬訪問。
2005年 8月	ルーズベルト・ラストン・ゴンドゥエ駐日マラウイ共和国特命全権大使が来県、知事を表敬訪問。

●南アフリカ共和国との交流

2008年10月	ボールドウィン・シボ・ングバネ駐日大使、クワズール・ナタール州健康局長一行が地域医療支援調査のため来県、知事を表敬訪問。
----------	--

●ケニア共和国との交流

2014年 8月	ケニア共和国地方政府幹部15名が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
2025年 3月	JICA草の根技術協力事業 医療スタッフ訪問団が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
10月	JICA草の根技術協力事業 医療スタッフ訪問団が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
12月	JICA草の根技術協力事業 医療スタッフ訪問団が来県し、企画振興部長を表敬訪問。

●コンゴ民主共和国との交流

2025年 8月	ダニエル・ムココ・サンバ副首相兼国家経済大臣が来県し、尾野副知事を表敬訪問。
----------	--

15 多様な分野での国際交流の状況

① 芸術・文化交流

県民の芸術鑑賞機会の充実を図り、芸術文化活動を更に促進するため、国際的な催事を実施している。

・別府アルゲリッチ音楽祭（企画振興部芸術文化振興課）

平成10年から、世界最高峰の音楽家の招へい等により優れたクラシック音楽を享受する機会を県民に提供するとともに、海外からも鑑賞のために来県する方がいるなど、日本を代表する国際音楽祭との高い評価を受けており、大分から全国・世界に向けた芸術文化の情報発信を行っている。

事業主体：公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

内 容：世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチを総監督に世界から一流の演奏家や大分県出身の若手演奏家等を招いた音楽祭を開催

別府アルゲリッチ音楽祭における海外出演者（単位：人）

回	出身国数	人 数
第1回（H10）	7か国	8
第2回（H11）	6か国	7
第3回（H13）	11か国	17
第4回（H14）	7か国	7
第5回（H15）	7か国	10
第6回（H16）	9か国	9
第7回（H17）	8か国	10
第8回（H18）	4か国	7
第9回（H19）	5か国	6
第10回（H20）	3か国	4
第11回（H21）	6か国	8
第12回（H22）	5か国	7
第13回（H23）	4か国	14
第14回（H24）	5か国	5
第15回（H25）	6か国	6
第16回（H26）	6か国	6
第17回（H27）	4か国	4
第18回（H28）	3か国	3
第19回（H29）	5か国	10
第20回（H30）	10か国	11
第21回（H31）	7か国	11
第22回（R4）	5か国	5
第23回（R5）	5か国	5
第24回（R6）	3か国	3
第25回（R7）	2か国	2

※R2・R3は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

・大分アジア彫刻展（企画振興部芸術文化振興課）

平成4年から、ビエンナーレ（2年に1回）で開催。近代日本彫塑の基礎を築き、東京美術学校や「朝倉塾」で後進の育成に努めた本県出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門としての才能の発掘及び国際公募展を豊後大野市と共同で開催している。

事業主体：大分県、豊後大野市、大分アジア彫刻展実行委員会

内 容：国内大学や美術館、海外美術館等の協力のもと、作品を公募。開会式やレセプション等には、海外受賞者も参加し、地元市民と交流を深めている。

大分アジア彫刻展応募者

(単位：人)

回	募集対象国	応募者数
第1回(H4～5)	日本、韓国	145
第2回(H6～7)	日本、韓国、マレーシア	219
第3回(H8～9)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン	248
第4回(H10)	作家5人による竹を素材にした滞在制作	—
第5回(H11～12)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン、中国	353
第6回(H13～14)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン、中国	355
第7回(H15～16)	アジア全域	418
第8回(H17～18)	アジア全域	459
第9回(H19～20)	アジア全域	311
第10回(H21～22)	アジア全域	431
第11回(H23～24)	アジア全域	246
第12回(H25～26)	アジア全域	262
第13回(H27～28)	アジア全域	411
第14回(H29～30)	アジア全域	318
第15回(R1～R2)	アジア全域	311
第16回(R3～R4)	アジア全域	172
第17回(R5～R6)	アジア全域	209
第18回(R7～R8)	アジア全域、オーストラリア	275

・青少年の芸術・文化交流（教育庁文化課）

年 度	事 業 名
平成17年度	・第8回高校生日韓文化活動交流 ・中国歴代王朝展 ・バウハウス・デザイン展 ・首藤コレクション プレゼンテーションとパネルディスカッション
平成18年度	・第9回高校生日韓文化活動交流 ・北京故宫博物院展 ・世界ナスカ展
平成19年度	・第10回高校生日韓文化活動交流 ・ロシア国立東洋美術館所蔵「首藤コレクション展」 ・20世紀の巨匠ルオー「ミセーレ」の世界展 ・美術鑑賞講座「インド美術紀行」
平成20年度	・第11回高校生日韓文化活動交流 ・没後50年モーリス・ド・ヴラマンク展 ・セルビアのナイーヴ・アート展 ・吉村作治の新発見！エジプト展
平成21年度	・第12回高校生日韓文化活動交流 ・エルミタージュ美術館所蔵「エカテリーナ2世の晩餐会」
平成22年度	・第13回高校生日韓文化活動交流 ・世界遺産アンコールワット展
平成23年度	・第14回高校生日韓文化活動交流
平成24年度	・第15回高校生日韓文化活動交流
平成25年度	・第16回高校生日韓文化活動交流
平成26年度	・第17回高校生日韓文化活動交流
平成27年度	・第18回高校生日韓文化活動交流
平成28年度	・第19回高校生日韓文化活動交流
平成29年度	・第20回高校生日韓文化活動交流

平成30年度	・ 第21回高校生日韓文化活動交流
令和元年度	・ 第22回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和 2 年度	・ 第23回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和 3 年度	・ 第24回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和 4 年度	・ 第25回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和 5 年度	・ 第26回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和 6 年度	・ 第27回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和 7 年度	・ 第28回高校生日韓文化活動交流（中止）

②スポーツ交流

・日独スポーツ少年団交流事業（教育庁体育保健課）

（公財）日本スポーツ協会が実施する本事業を大分県スポーツ協会が受託し、スポーツ少年団の指導者及びリーダーをドイツへ派遣するとともに、ドイツ・スポーツ・ユース・ユーゲントを迎えて、指導者、リーダー及び団員の交流を行い、両国の友好親善を図る。

（県スポーツ協会）

		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
派遣	人数	2人	2人	2人	2人	2人	中止	中止	中止	2人	1人	2人
	期間	18日	18日	18日	18日	18日				19日	16日	16日
受入	人数	9人	8人	9人	8人	8人	中止	中止	中止	5人	9人	中止※
	期間	5日	5日	5日	5日	5日				3日※	5日	中止※

※台風のため5日→3日に短縮

※九州内輪番によりR7~R9は大分県の受入なし

・高校生日韓スポーツ活動交流事業

本県高校生のスポーツ活動を充実・発展させるため、本県と大韓民国忠清南道の高校生のスポーツ交流（隔年で派遣・招へい）を行い、日韓友好の心情を培い、相互理解を深めるとともに両国のスポーツ活動の振興に寄与した。

（体育保健課）

		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
派遣	人数	中止	—	20人	—	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止
	期間		—	4日	—							
受入	人数	—	中止	—	20人	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止
	期間	—		—	4日							

※R2~R4は新型コロナウイルス感染症の影響による中止

※R5は社会情勢の影響による中止。R6は相手国の都合により中止。

・大分国際車いすマラソン

国内及び外国・地域の身体障がい者が車いすマラソンを通じて、社会に参加する意欲を高めるとともに、県民の身体障がい者に対する理解を深めることを目的として開催している。（障害者社会参加推進室）

大分国際車いすマラソン開催状況（出走者数）

		2015年 第35回	2016年 第36回	2017年 第37回	2018年 第38回	2019年 第39回	2020年 —	2021年 第40回	2022年 第41回	2023年 第42回	2024年 第43回	2025年 第44回
外国	国・地域数	14	14	15	15	17	—	3	12	15	12	13
	選手人数	42	44	55	45	48	—	4	25	45	41	34
日本	都道府県	32	31	31	29	29	23	26	30	29	30	31
	選手人数	190	186	169	178	162	99	127	133	145	149	143
選手人数合計		232	230	224	223	210	99	131	158	190	190	177

※第37回大会はレース中止により受付数を掲載

※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、国内選手限定の「大分車いすマラソン2020」を開催したため、外国選手の参加実績なし

③教育・学術交流等

・高校生の海外留学等

高校生の受入れ、派遣については、AFS、YFUやロータリークラブ、ライオンズクラブ等の仲介による交換留学が中心である。なお、県内の公立高校の留学生について見ると、特に英語圏との留学交流が盛んである。(教育改革・企画課)

* 海外留学状況（公立高校生）

留 学 先	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
アメリカ		5	3	3	3	5	1	1		3	2	1	1	4	6	2
カナダ			1	1			1	2	1	2		2	1	11	9	2
オーストラリア						1							1	6	2	10
ニュージーランド				1		1	1						1	1	3	6
フィジー																1
イギリス														2	4	2
コスタリカ																
ドイツ									1	1	2	1	1	1		
アイスランド															1	
ブラジル																
パナマ															1	
マルタ共和国															1	1
ハンガリー																
フィリピン																1
フランス									1	1	1				1	1
タイ														1		
中国																
インドネシア																
カンボジア																
インド															1	
台湾															1	
シンガポール															1	
マレーシア															1	
オランダ			1													
フィンランド					1								1			1
スイス					1			1						1		1
イタリア						1		1	1					1	1	
チェコ									1					1		
韓国									1					1		
計	—	5人	5人	5人	5人	8人	3人	5人	6人	7人	4人	4人	11人	30人	33人	28人

* 外国人留学生受入状況（公立高校）

国 籍	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
カナダ													1			1
ドイツ									2				1			
フランス									1	1					1	
フィリピン																
フィンランド																
スウェーデン																
ノルウェー		1	1		1											
タイ		1			1	1	1	1		1					1	
インドネシア		1														
チリ																
スイス																
マレーシア																
シンガポール																
ベトナム																
ボリビア																
アルゼンチン																
カンボジア																
ラオス																
コスタリカ																
メキシコ		1														
ブラジル				1			1									1
アメリカ		1	1	1				1	3					1	2	1
中国						1										
オーストラリア			1				1									1
オーストリア		1														
チェコ			1	1						1				1		
ペルー							1							1		
グアテマラ								1						1		
ラトビア															1	
スリランカ															1	
ハンガリー																1
イタリア																1
計	－	6人	4人	3人	2人	2人	4人	3人	6人	3人	0人	0人	2人	4人	6人	6人

・教職員の海外派遣

優秀な教員を対象として諸外国の教育、文化及び社会等の諸事情を視察させる短期派遣を実施したほか、日本人学校などの在外教育施設への教員派遣や、マレーシア政府派遣留学生に対する予備教育派遣、スポーツ競技力向上のためのトップコーチ派遣を実施した。

(教育人事課) (トップコーチ派遣：体育保健課)

教員海外派遣者数(人)

年度	短期派遣	長期派遣	若手派遣	日米国民交流	在外教育施設への教員派遣	マレーシア政府派遣留学生予備教育派遣	トップコーチ派遣	派遣者合計
H16	-	-	-	-	13	2	2	17
H17	3	1	-	-	15	0	2	21
H18	4	1	-	-	16	1	2	24
H19	3	-	-	-	17	3	3	26
H20	3	-	-	-	20	3	3	29
H21	3	-	-	-	22	2	2	29
H22	3	-	-	-	22	1	1	27
H23	3	-	-	-	20	2	2	27
H24	3	-	-	-	16	1	2	22
H25	0	-	-	-	13	0	2	15
H26	0	-	1	-	12	0	2	15
H27	0	-	-	-	8	0	2	10
H28	0	-	-	-	9	0	2	11
H29	0	-	-	-	7	0	-	7
H30	0	-	-	-	8	0	-	8
R 1	0	-	-	-	8	1	-	9
R 2	0	-	-	-	8	1	-	9
R 3	0	-	-	-	4	0	-	4
R 4	0	-	-	-	3	0	-	3
R 5	0	-	-	-	1	0	-	1
R 6	0	-	-	-	2	0	1	3
R 7	0	-	-	-	3	0	1	4

④青少年交流

訪日教育旅行に伴う学校交流等

中国や台湾など海外からの教育旅行団が県内学校等を訪問し、双方の児童生徒が様々な交流を行った。学校交流は、未来を担う若い世代が異文化相互理解を深めて国際感覚を養う良い機会となっている。

※訪日教育旅行については、国・地域によって様々な実施形態がある。日本の修学旅行とは異なり、希望者を集めた団体旅行であることが多く、規模も数名から数十名程度で、学校ではなく青少年団体が主催となる場合もあるなど、必ずしも学校行事の一環として実施されるものではない。

年度		R1		R2～R3		R4		R5		R6		R7	
国・地域	団体内訳	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
中国	大学	5	40	0	0	0	0	1	38	2	18	4	28
	高校	0	0	0	0	0	0	4	36	3	43	3	67
	中学校	4	75	0	0	0	0	3	79	2	40	1	19
	小学校	4	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14	249	0	0	0	0	8	153	7	101	8	114
韓国	大学	7	55	0	0	2	22	4	22	3	29	6	73
	高校	1	20	0	0	0	0	4	48	6	86	8	205
	中学校	0	0	0	0	1	5	1	22	2	43	1	21
	小学校	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	21	0	0	1	6	0	0	0	0	1	4
	小計	11	113	0	0	4	33	9	92	11	158	16	303
台湾	大学	1	12	0	0	0	0	0	0	1	7	3	44
	高校	14	337	0	0	1	4	6	237	12	226	12	320
	中学校	1	21	0	0	0	0	2	47	0	0	2	26
	小学校	1	20	0	0	0	0	2	75	0	0	3	44
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23	1	17
	小計	17	390	0	0	1	4	10	359	14	256	21	451
タイ	大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	28
	高校	5	78	0	0	2	30	3	82	2	22	1	13
	中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	78	0	0	2	30	3	82	2	22	2	41
その他	大学	4	59	0	0	2	48	6	70	4	76	3	24
	高校	16	331	0	0	0	0	4	31	20	275	8	195
	中学校	2	54	0	0	0	0	2	32	3	117	0	0
	小学校	1	38	0	0	0	0	0	0	2	40	0	0
	その他	3	18	0	0	0	0	15	143	6	80	3	91
	小計	26	500	0	0	2	48	27	276	35	588	14	310
合計	大学	17	166	0	0	4	70	11	130	10	130	17	197
	高校	36	766	0	0	3	34	21	434	43	652	32	800
	中学校	7	150	0	0	1	5	8	180	7	200	4	66
	小学校	7	184	0	0	0	0	2	75	2	40	3	44
	その他	6	64	0	0	1	6	15	143	7	103	5	112
	計	73	1,330	0	0	9	115	57	962	69	1,125	61	1,219

国際協力・国際貢献の状況

16 独立行政法人 国際協力機構（JICA）事業の状況

「JICAボランティア事業」は、日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣される。

活動分野は農林水産、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政など多岐にわたり、自分の持っている知識、技術、経験などを生かせるのがJICAボランティアの特徴である。

（国際政策課）

JICAボランティア派遣実績（令和8年4月末現在、大分県出身者のみ）

青年海外協力隊	累計579人、78カ国	昭和40年以降
シニア海外ボランティア	累計57人、31カ国	昭和61年以降
日系社会青年ボランティア	累計14人、4カ国	
日系社会シニアボランティア	累計4人、2カ国	

青年海外協力隊

アジア		アフリカ	
インドネシア	5	マリ	1
マレーシア	23	モザンビーク	4
フィリピン	30	ニジェール	7
タイ	10	ルワンダ	6
カンボジア	5	セネガル	15
ラオス	17	小計 23カ国	177人
ベトナム	7	北米中南米	
中国	14	ベリーズ	2
モンゴル	7	コスタリカ	8
ブータン	11	ドミニカ共和国	10
バングラデシュ	17	エルサルバドル	4
インド	7	グアテマラ	8
モルディブ	3	ホンジュラス	15
ネパール	11	ジャマイカ	8
スリランカ	8	メキシコ	2
キルギス	2	ニカラグア	16
ウズベキスタン	2	パナマ	4
小計 17カ国	179人	セントルシア	1
中東		セントビンセント	1
ヨルダン	8	ボリビア	21
イエメン	1	チリ	3
エジプト	2	コロンビア	1
モロッコ	7	エクアドル	9
チュニジア	3	パラグアイ	21
小計 5カ国	21人	ペルー	15
アフリカ		ベネズエラ	2
ボツワナ	2	小計 19カ国	151人
エチオピア	5	大洋州	
ガーナ	21	フィジー	9
ケニア	12	マーシャル	2
リベリア	1	ミクロネシア	2
マラウイ	24	パプアニューギニア	4
ナミビア	2	ソロモン	2
ウガンダ	5	トンガ	5
タンザニア	22	バヌアツ	2
ザンビア	18	サモア	8
ジンバブエ	5	パラオ	5
ベナン	6	小計 9カ国	39人
ブルキナファソ	6	欧州	
カメルーン	4	ブルガリア	6
コートジボワール	1	ルーマニア	3
ジブチ	3	セルビア	1
ガボン	3	ハンガリー	1
マダガスカル	4	ポーランド	1
		小計 5カ国	12人
		累計 78カ国	579人

シニア海外ボランティア

インドネシア	1
マレーシア	5
カンボジア	1
ラオス	4
ベトナム	3
モンゴル	1
ブータン	1
スリランカ	1
ウズベキスタン	2
ジョージア	1
ヨルダン	2
チュニジア	2
エチオピア	2
コスタリカ	3
ドミニカ共和国	1
グアテマラ	1
メキシコ	1
パナマ	3
セントルシア	1
アルゼンチン	3
ボリビア	1
チリ	2
エクアドル	1
パラグアイ	4
ペルー	1
マーシャル	2
ミクロネシア	1
パプアニューギニア	2
トンガ	1
サモア	2
パラオ	1
累計 31カ国	57人

日系社会青年ボランティア

メキシコ	1
アルゼンチン	4
ブラジル	5
パラグアイ	4
累計 4カ国	14人

日系社会シニアボランティア

アルゼンチン	1
ブラジル	3
累計 2カ国	4人

（単位：人）

青年海外協力隊(現在派遣中)

大洋州	
ソロモン	1
小計 1カ国	1
北米中南米	
ドミニカ共和国	1
アルゼンチン	2
パラグアイ	1
小計 3カ国	4
アフリカ	
カメルーン	1
マダガスカル	1
小計 2カ国	2
欧州	
セルビア	1
小計 1カ国	1
東南アジア	
ラオス	1
ベトナム	3
小計 2カ国	4
東アジア	
モンゴル	1
小計 1カ国	1
合計 16カ国	13

(単位:人)

シニア海外ボランティア(現在派遣中)

東南アジア	
ラオス	1
小計 1カ国	1
合計 1カ国	1

(単位:人)

令和8年4月末現在

産業・経済交流の状況

17 貿易の状況

令和7年の本県の貿易額は、通関実績（確々報値）によると、輸出1兆38億円（前年比99.5%、約136億円増）、輸入1兆8633億円（対前年比93.2%、約429億円減）となっている。

（門司税関貿易統計より）

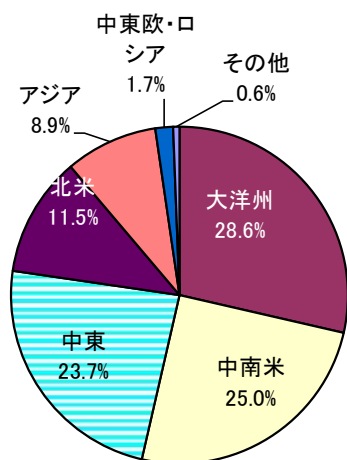
（百万円）

	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
輸出額	1,003,845	1,008,645	995,022	907,378	859,139	603,417	742,144
輸入額	1,863,396	1,996,567	2,039,456	2,384,857	1,471,039	997,700	1,166,395

① 輸入

地域別輸入額構成割合

令和7年輸入額 1兆8,633億9,600万円

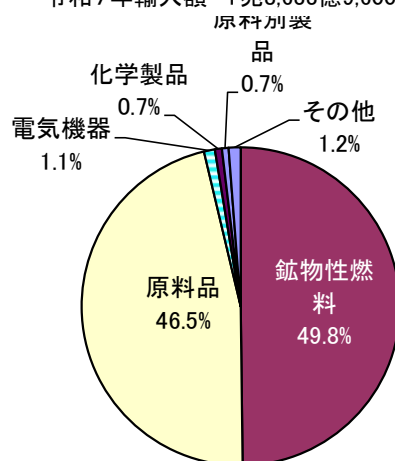


輸入上位5カ国

- ①オーストラリア
- ②アラブ首長国連邦
- ③チリ
- ④アメリカ合衆国
- ⑤ブラジル

品目別輸入構成割合

令和7年輸入額 1兆8,633億9,600万円



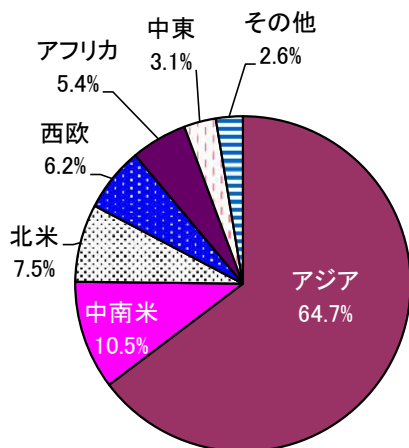
輸入上位5品目

- ①非鉄金属鉱
- ②原油及び粗油
- ③鉄鉱石
- ④石炭
- ⑤石油製品

② 輸出

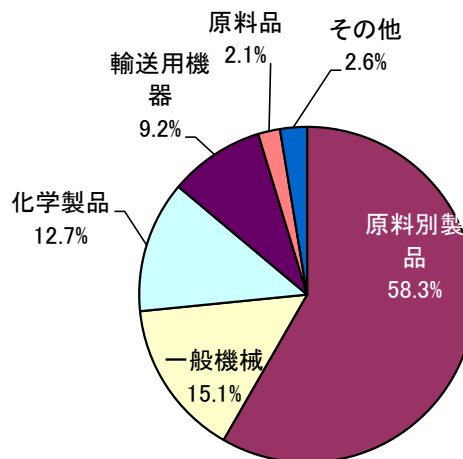
地域別輸出額構成割合

令和7年輸出額 1兆86億3,396万円



品目別輸出構成割合

令和7年輸出額 1兆86億3,396万円



輸出上位10力国・地域(最近10年)

(百万円)

年順位	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
1	中国 137,817	中国 159,438	中国 179,286	中国 157,296	中国 147,073	中国 175,531	中国 167,459	中国 192,293	中国 193,275	中国 179,160
2	韓国 66,862	アメリカ 88,800	アメリカ 89,323	アメリカ 77,613	アメリカ 56,591	タイ 119,554	タイ 120,825	タイ 110,995	タイ 104,790	タイ 97,096
3	オランダ 59,793	韓国 82,341	オランダ 83,636	韓国 69,735	韓国 50,972	韓国 73,359	韓国 98,065	韓国 104,919	アメリカ 81,864	インド 88,170
4	アメリカ 57,808	オランダ 70,049	タイ 71,605	オランダ 57,246	タイ 39,724	アメリカ 70,112	アメリカ 67,056	アメリカ 95,858	韓国 76,259	韓国 85,004
5	タイ 43,779	タイ 61,367	韓国 66,649	タイ 51,830	オランダ 37,135	台湾 44,778	台湾 56,557	台湾 67,608	台湾 75,778	アメリカ 75,013
6	台湾 28,918	台湾 37,819	台湾 45,059	インド 49,261	台湾 30,385	オランダ 39,079	イタリア 29,247	インド 36,644	インド 67,657	台湾 58,036
7	パナマ 16,014	パナマ 26,890	パナマ 43,945	台湾 37,944	ベトナム 24,047	インドネシア 22,222	インドネシア 27,136	オランダ 28,493	パナマ 43,139	オランダ 46,328
8	インドネシア 15,834	シンガポール 24,879	シンガポール 32,336	パナマ 30,650	パナマ 23,789	ベトナム 19,509	オランダ 26,769	マレーシア 26,892	シンガポール 37,587	パナマ 42,349
9	シンガポール 15,577	ベトナム 20,351	インド 30,032	シンガポール 21,076	インド 15,372	パナマ 18,317	シンガポール 24,415	シンガポール 25,713	オランダ 35,993	シンガポール 30,238
10	マレーシア 15,561	マレーシア 17,647	ベトナム 22,391	ベトナム 18,126	シンガポール 13,976	メキシコ 16,294	ベトナム 23,414	パナマ 23,268	ベトナム 25,916	ベトナム 22,205

輸出上位10品目(最近10年)

(百万円)

年順位	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
1	鉄鋼 177,808	鉄鋼 218,748	鉄鋼 233,854	鉄鋼 223,689	鉄鋼 207,426	鉄鋼 387,872	鉄鋼 407,133	鉄鋼 397,399	鉄鋼 386,601	鉄鋼 333,203
2	銅及び同合金 90,819	事務用機器 111,719	銅及び同合金 124,382	銅及び同合金 117,901	銅及び同合金 125,088	銅及び同合金 163,383	銅及び同合金 161,763	銅及び同合金 207,697	銅及び同合金 225,378	銅及び同合金 235,823
3	事務用機器 89,274	有機化合物 102,988	映像機器 112,393	有機化合物 113,984	事務用機器 84,983	事務用機器 94,219	有機化合物 83,116	有機化合物 105,859	事務用機器 110,155	事務用機器 117,011
4	有機化合物 81,658	銅及び同合金 92,382	事務用機器 108,028	事務用機器 95,622	有機化合物 62,636	有機化合物 65,788	事務用機器 81,180	事務用機器 94,381	有機化合物 91,620	有機化合物 103,290
5	船舶 65,828	船舶 67,225	有機化合物 94,470	映像機器 55,683	船舶 54,727	船舶 50,472	船舶 66,347	船舶 75,519	船舶 89,506	船舶 91,803
6	映像機器 20,930	映像機器 61,280	船舶 64,017	船舶 52,053	荷役機械 10,562	荷役機械 19,374	石油製品 16,740	荷役機械 22,887	荷役機械 26,024	荷役機械 34,072
7	荷役機械 17,052	石油製品 18,881	荷役機械 13,697	荷役機械 16,250	映像機器 8,500	セメント 9,507	荷役機械 13,616	映像機器 14,645	合成ゴム 12,703	合成ゴム 12,399
8	セメント 9,604	荷役機械 14,700	石油製品 11,948	石油製品 9,981	セメント 8,082	合成ゴム 8,064	セメント 12,962	セメント 11,429	映像機器 11,688	セメント 11,691
9	石油製品 8,798	合成ゴム 9,573	合成ゴム 8,381	合成ゴム 8,236	合成ゴム 6,408	プラスチック 7,076	無機化合物 12,552	石油製品 10,551	セメント 11,523	映像機器 11,565
10	プラスチック 8,561	プラスチック 9,093	プラスチック 7,491	プラスチック 6,145	プラスチック 5,285	石油製品 6,053	合成ゴム 9,102	合成ゴム 9,412	プラスチック 5,369	無機化合物 7,067

18 産業技術交流の状況

①海外技術・文化研修員受入事業等

県では、開発途上国に対する技術協力の一環として、昭和53年度から海外技術研修員受入事業を実施した。
また、平成25年度から、ブラジル大分県人会子弟を対象とした日本語研修を実施している。

(国際政策課)

(単位：人)

国名	H26 以前	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	計
ブラジル連邦共和国	121	2	2		2	2			1	2	2	2	136
フィリピン共和国	25												25
マレーシア	19												19
ボリビア共和国	9												9
ペルー共和国	9												9
アルゼンチン共和国	9												9
パラグアイ共和国	6												6
ネパール共和国	3												3
ホンジュラス共和国	4												4
バングラデシュ人民共和国	2												2
タンザニア連邦共和国	2												2
スリランカ民主主義共和国	2												2
インドネシア共和国	21												21
中華人民共和国	22												22
タイ王国	1												1
マラウイ共和国	1												1
コスタリカ共和国	2												2
モンゴル	8												8
カンボディア王国	2												2
ドイツ連邦共和国	1												1
ミャンマー連邦	1												1
合 計	270	2	2	-	2	2	-	-	1	2	2	2	285

※令和2年～4年は新型コロナウイルス感染症の国際的な拡大に伴う入国制限措置により、受入を中止

② 自治体職員協力交流事業

年度	研修員名	性別	派遣元	受入期間
H16	張雪蓮	女	中国上海市人民対外友好協会	5.25～11.25
17	殷蘭	女	中国浙江省嘉興市嘉興経済開発区	5.22～3.21
18	毛曉旦	男	中国江蘇省無錫市錫山経済開発区	5.21～11.21
25	李新華	女	中国湖北省恩施土家族苗族自治州	5.19～11.24
26	熊婧	女	中国湖北省咸寧市	5.18～11.23
27	陳瑾	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.17～11.22
28	謝芳	女	中国湖北省宜昌市	5.15～11.20
29	戴立君	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.21～11.26
30	陳娟	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.20～11.20
R1	李婷	女	中国湖北下陸長樂山工業園区管理委員会	5.19～11.20
2			※受入実績なし	
3			※受入実績なし	
4			※受入実績なし	
5	劉雪原	男	中国湖北省人民政府外事弁公室 アジア処	5.21～11.20
6	程 蒙	女	中国湖北省黄石市財政局	5.27～11.25

③ 海外派遣事業（農業関係）

農業の国際化・自由化に対応した、農業・農村の確立普及を図るため、農業大学校生を派遣している。

（新規就業・経営体支援課）

（単位：人）

事業名	派遣先	派遣年度別人数																	
		派遣区分	H22迄	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	計
海外農業体験研修事業	アメリカ カリフォルニア州	農業大学校 2年生	435																435
	オランダ・ドイツ		354																354
	ドイツ		62	29	37	40	28	33											229
	オーストラリア								38	29	34	37	0	0	0	0			138
	台湾																23		23
	ニュージーランド																	14	14
	小 計		851	29	37	40	28	33	38	29	34	37	0	0	0	0	23	14	1,193

19 観光の状況

① 外国人宿泊客数の動向

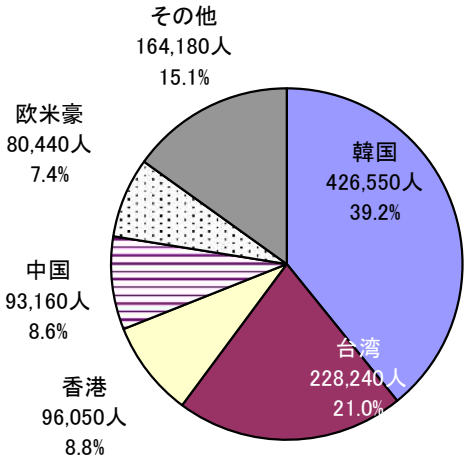
令和7年の外国人宿泊客数は令和6年と比べて4.9%減少したものの、多様な国・地域からの誘客が進んでいる。

(観光政策課)

外国人宿泊客数(観光庁宿泊旅行統計調査)							単位:人
国・地域	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
韓国	410,770	28,810	900	64,170	440,170	471,170	426,550
台湾	145,210	22,450	30	5,040	124,750	198,940	228,240
香港	99,870	15,730	70	7,110	107,920	130,210	96,050
中国	99,810	13,040	1,150	2,440	51,660	71,640	93,160
欧米豪	63,530	4,940	1,710	6,290	44,710	56,900	80,440
その他外国	103,680	22,690	11,440	26,130	109,830	125,010	164,180
外国人延べ宿泊者数	1,206,770	162,050	25,020	169,620	1,306,960	1,568,820	1,491,590

【国・地域別出典：参考第1表(従業者数10人以上の施設)】
【外国人延べ宿泊客数出典：推移表 3-1. 都道府県別 外国人延べ宿泊者数 推移表(年計)】
※ 欧米豪：アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、イタリア、スペイン(国籍(出身地))(21区分)

令和7年 国地域別外国人宿泊者数比率
(参考第1表 従業者数10人以上の施設)



② 旅券発行・海外渡航

大分県における旅券の発行件数は、海外渡航者の増加とともに平成7年に初めて4万件を超え、10年旅券の発行開始や高校生の海外修学旅行が大幅に増加したことなどにより、平成12年には過去最高の46,677件の発行件数を記録した。

その後、平成13年の米国同時多発テロ、平成15年のイラク戦争やSARSの流行により海外渡航者数・旅券発行件数は全国的に激減した。SARSの終息と共に平成16年は増加に転じ、以後増減を繰り返してきた。

しかし、平成25年には、円安や中国、韓国との歴史問題等を背景に海外渡航者数が減少し、旅券発行数も大きな減少となり、この傾向は平成27年まで続いた。

平成28年は、平成7年に発行開始された10年旅券の2回目の切替発給の年にあつたことから増加した。平成29年からも海外渡航者数が引き続き増加し、特に令和元年は5月が長期連休になったことなどから、旅券発行件数が平成25年以降、最高の件数になった。しかし、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、各国で入国制限措置が取られ海外渡航者数が大幅に減少したことから、旅券発行件数も減少した。令和4年までその影響が続いたが、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、5月から8月にかけて2,000件前後、9月以降は1,500件前後で推移し、令和5年は18,901件まで回復した。令和6年は21,070件、令和7年は19,497件と引き続き増加傾向で推移している。

(国際政策課パスポート班)

(単位：件、人)

年 別	旅券発行件数 (A)				海外渡航者数 (B)				$\frac{(B)}{(A)}$	
	全 国		大 分 県		全 国		大 分 県		全 国	大分県
	件 数	増加率	件 数	増加率	人 数	増加率	人 数	増加率		
20	3,801,384	5.2	23,794	△ 11.9	15,987,250	△ 8.1	68,663	△ 18.6	4.21	2.89
21	4,015,470	5.6	25,091	5.5	15,445,684	△ 3.4	67,788	△ 1.3	3.85	2.70
22	4,185,080	4.2	26,108	4.1	16,637,224	7.7	72,741	7.3	3.98	2.79
23	3,961,382	△ 5.3	27,292	4.5	16,994,200	2.1	76,286	4.9	4.29	2.80
24	3,924,008	△ 0.9	28,162	3.2	18,490,657	8.8	84,061	10.2	4.71	2.98
25	3,296,805	△ 16.0	20,688	△ 26.5	17,472,748	△ 5.5	71,918	△ 14.4	5.30	3.48
26	3,210,844	△ 2.6	20,169	△ 2.5	16,903,388	△ 3.3	67,721	△ 5.8	5.26	3.36
27	3,249,593	1.2	17,773	△ 11.9	16,213,789	△ 4.1	61,142	△ 9.7	4.99	3.44
28	3,738,380	15.0	20,566	15.7	17,116,420	5.6	65,213	6.7	4.58	3.17
29	3,959,468	5.9	22,193	7.9	17,889,292	4.5	69,085	5.9	4.52	3.11
30	4,182,207	5.6	25,472	14.8	18,954,031	6.0	77,567	12.3	4.53	3.05
R1	4,365,290	4.4	26,651	4.6	20,080,669	5.9	84,294	8.7	4.60	3.16
2	1,234,928	△ 71.7	6,128	△ 77.0	3,174,219	△ 84.2	11,899	△ 85.9	2.57	1.94
3	513,943	△ 58.4	1,998	△ 67.4	512,244	△ 83.9	1,079	△ 90.9	1.00	0.54
4	1,218,692	137.1	5,280	164.3	2,771,770	441.1	7,334	579.7	2.27	1.39
5	3,401,533	179.1	18,901	258.0	9,624,158	247.2	37,630	413.1	2.83	1.99
6	3,700,111	8.8	21,070	11.5	13,007,282	35.2	53,053	41.0	3.52	2.52
7	3,493,238	△ 5.6	19,497	△ 7.5	14,731,615	13.3	58,988	11.2	4.22	3.03

(注) (B)は出入国管理統計年報(法務省発行(毎年7月公開))による。

年代別旅券発行件数

(単位：件)

令和5年

年代別 \ 性別	男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%
0 ～ 19	1,552	8.2	2,058	10.9	3,610	18.5
20 ～ 29	1,714	9.1	2,899	15.3	4,613	23.7
30 ～ 39	1,042	5.5	1,118	5.9	2,160	11.1
40 ～ 49	1,214	6.4	1,309	6.9	2,523	12.9
50 ～ 59	1,166	6.2	1,410	7.5	2,576	13.2
60 ～ 69	968	5.1	1,129	6.0	2,097	10.8
70 ～ 79	526	2.8	577	3.1	1,103	5.7
80歳以上	90	0.5	129	0.7	219	1.1
計	8,272	43.8	10,629	56.2	18,901	100.0

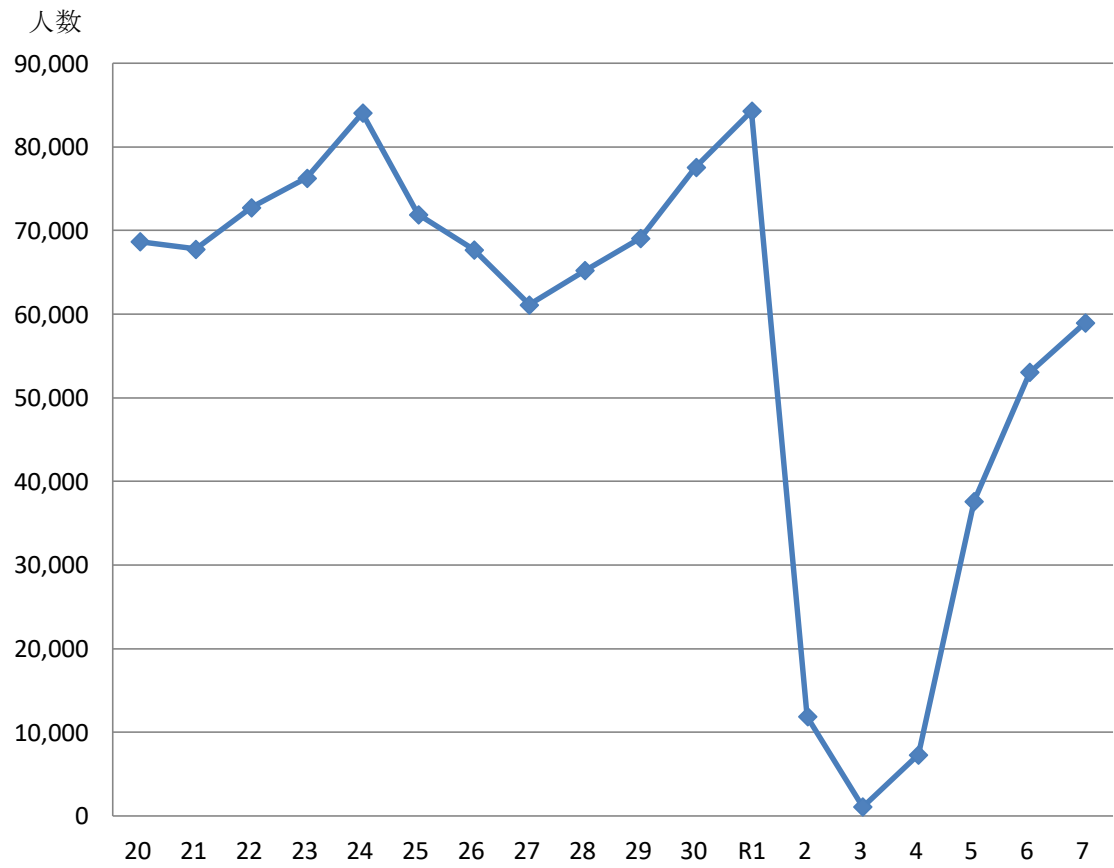
令和6年

年代別 \ 性別	男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%
0 ～ 19	2,051	9.7	2,608	12.4	4,659	22.1
20 ～ 29	1,890	9.0	3,044	14.4	4,934	23.4
30 ～ 39	1,141	5.4	1,218	5.8	2,359	11.2
40 ～ 49	1,230	5.8	1,396	6.6	2,626	12.5
50 ～ 59	1,197	5.7	1,591	7.6	2,788	13.2
60 ～ 69	955	4.5	1,257	6.0	2,212	10.5
70 ～ 79	555	2.6	699	3.3	1,254	6.0
80歳以上	97	0.5	141	0.7	238	1.1
計	9,116	43.3	11,954	56.7	21,070	100.0

令和7年

年代別 \ 性別	男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%
0 ～ 19	1,766	9.1	2,252	11.6	4,018	20.6
20 ～ 29	1,768	9.1	2,475	12.7	4,243	21.8
30 ～ 39	1,033	5.3	1,089	5.6	2,122	10.9
40 ～ 49	1,231	6.3	1,266	6.5	2,497	12.8
50 ～ 59	1,157	5.9	1,498	7.7	2,655	13.6
60 ～ 69	979	5.0	1,297	6.7	2,276	11.7
70 ～ 79	636	3.3	791	4.1	1,427	7.3
80歳以上	99	0.5	160	0.8	259	1.3
計	8,669	44.5	10,828	55.5	19,497	100.0

年次別海外渡航者数の推移(大分県)



付 属 資 料

1 国際交流関係機関等

① 国等の国際交流関係機関

機 関 名	電話・FAX番号	所在地・業務内容・HPアドレス
総務省	(代)03-5253-5111	東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館(〒100-8926)
自治行政局国際室	(直)03-5253-5527	地域レベルの国際化、外国青年招致事業
外務省	(代)03-3580-3311	東京都千代田区霞が関2-2-1 (〒100-8919)
大臣官房総務課地方連携推進室	内線 4410	地方と外務省との連携の推進、地方自治体からの各種照会等の窓口業務
領事局政策課	内線 2333	安全な海外渡航、海外生活における福利増進に関する総合的な政策及び移住者の定着安定に関する政策
領事局海外邦人緊急事態課	内線 2851	海外での緊急事態等に関する日本人の安全対策や保護
領事局海外邦人安全支援室	内線 3047	海外における緊急事態以外の個別的な事案に関する日本人の安全対策や保護及び海外安全に関する広報・啓発
領事局旅券課	内線 2313・4949	旅券（パスポート）に関する事務 [パスポートA to Z] http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/index.html
領事局外国人課	内線 5049	査証（ビザ）に関する事務及び在日外国人に関する外交政策 [日本国査証案内] http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/index.html
領事局領事サービスセンター 証明班	内線 2308	公印確認証明及びアポステイユ証明等 [公印確認・アポステイユ] https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/shomei/index.html
領事局領事サービスセンター 海外安全相談班	内線 2902・2903	海外安全情報の提供 [海外安全ホームページ] http://www.anzen.mofa.go.jp/
経済局総務課	内線 5807	主要国首脳会議（サミット）をはじめとした対外経済関係に関する外交政策
国際協力局政策課	内線 4622	独立行政法人国際協力機構の組織・運営一般
国際文化交流審議官人物交流室	内線 2391	人物交流事業の促進（国費留学生，JETプログラム，スポーツ交流など）
文部科学省	(代)03-5253-4111	東京都千代田区霞が関3-2-2(〒100-8959)
高等教育局学生支援課留学生交流室	(代)03-5253-4111	留学生交流の推進 [ホームページ] http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/main4_a3.htm
法務省出入国在留管理庁	(代)045-370-9755	東京都千代田区霞が関1-1-1 中央合同庁舎 6 号館(〒100-8973)
福岡出入国在留管理局	(代)092-717-5420 (FAX) 092-717-5425	福岡県福岡市中央区舞鶴3-5-25 福岡第1法務総合庁舎 (〒810-0073) (入国・在留等の手続き)
外国人在留総合インフォメーションセンター	(直)0570-013904	福岡出入国在留管理局内 (日本語、英語、中国語等に対応可)
福岡出入国在留管理局大分出張所	(代)097-536-5006 (FAX) 097-536-5030	大分県大分市荷揚町 7-5 大分法務総合庁舎 1 階 (〒870-8521)
(一財)自治体国際化協会(CLAIR)	(代)03-5213-1730 (FAX) 03-5213-1741	東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル6,7階(〒102-0083)
JETプログラム事業部	(代)03-5213-1733 (FAX) 03-5213-1743	外国青年招致事業
国際協力機構 (JICA)	(代)03-5226-6660	東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル1F-6F(〒102-8012)
九州センター(JICA九州)	(代)093-671-6311 (FAX) 093-671-0979	福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1(〒805-0062)
日本貿易振興機構(JETRO)大分貿易情報センター	(代)097-513-1868 (FAX) 097-513-1881	大分市東春日町17-19(〒870-0037) 大分ソフィアプラザビル 4 階
日本学生支援機構(JASSO) (本部)	(直)045-924-0812	神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3 (東京科学大学すずかけ台キャンパス内)
国際交流基金 (本部)	(直)03-5369-6075 (FAX) 03-5369-6044	東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ1～3階 (「コモレ四谷」内) (〒160-0004)
(公財)海外日系人協会	(代)045-211-1780 (FAX) 045-211-1781	神奈川県横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜2階(〒231-0001)
(公財)国際人材協力機構(JITCO)	(代)03-4306-1100 (FAX) 03-4306-1112	東京都港区芝浦2-11-5 五十嵐ビルディング11階(〒108-0023)

②県内市町村の国際交流担当課

市町村名		担当課	電話番号	FAX
大 分 市		国際課	097-537-5719	536-4044
別 府 市		文化国際課	0977-21-1131	22-1919
中 津 市		総合政策課	0979-22-1111	24-7522
日 田 市		観光課	0973-22-8210	22-8328
佐 伯 市		みんなつながる課	0972-22-4623	22-3124
臼 杵 市		産業観光課	0972-72-1092	64-0203
津 久 見 市		経営政策課	0972-82-9510	82-9520
竹 田 市		総務課	0974-63-1043	63-0995
豊 後 高 田 市		地域活力創造課	0978-25-6392	22-2725
杵 築 市		みらい都市創生課	0978-62-1803	62-3293
宇 佐 市		秘書広報課	0978-27-8240	32-1138
豊 後 大 野 市		まちづくり推進課	0974-22-1042	22-3361
由 布 市		総合政策課	097-582-1158	582-3971
国 東 市		まちづくり推進課	0978-72-5186	72-9002
東国東郡	姫 島 村	企画振興課	0978-87-2282	87-3629
速 見 郡	日 出 町	政策推進課	0977-73-3116	72-7294
玖 珠 郡	九 重 町	社会教育課	0973-76-3888	76-3877
	玖 珠 町	みらい創生課	0973-72-1151	72-0810

③ 県内国際交流団体（令和8年5月時点）

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分県青年海外協力協会	会長 足立 順一郎	足立 順一郎	-	青年海外協力隊事業への参加経験を生かし、国際親善と世界平和に寄与すること	JICAボランティア事業、主に青年海外協力隊事業への支援、刊行物の発行、在大分県研修生、留学生、技能実習生との交流等	-	otakaigaihyokyu@gmail.com
大分県ユネスコ協会連盟	会長 丸尾 直彦	事務局員 橋口 大佑	870-8503 大分市内駅前3丁目10番1号 大分県教育文化課内	ユネスコ憲章にのっとり、大分県におけるユネスコ活動を推進することを目的とする。	研修会の実施（大分県高等学校ユネスコクラブ等交流研修会）、募金活動の実施（ユネスコ一校のスポンサープロジェクト、府県募金活動等）、世界遺産屋運動への参加（書きもんじハギ回収運動）、日本ユネスコ協会連盟等主催行事への参加	TEL: 097-506-5499 FAX: 097-506-1811	a31700@pref.otaka.jp
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団（おおいち国際交流プラザ）	所長 中島 英司	-	870-0029 大分市富砂町2-33 ichiko総合文化センター内（B1F）	県民と外国人の相互理解と友好親善の増進	①県民、外国人住民等に広く開放された国際交流の拠点づくり ②大分県外国人総合相談センターの運営等による外国人住民等の生活支援 ③日本語教育の充実等によるコミュニケーション支援	TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052	info@mo.or.jp
大分市国際都市交流親善会議	会長 足立 信也	-	870-8504 大分市富砂町2-33番31号	大分市と外国都市との国際交流を通じて、市民の国際的理解を深めるとともに、友好親善を促進することを目的とする。	(1) 市民の国際的理解の普及、高揚 (2) 各種親善事業の計画、立案及び実施 (3) 関係諸団体との連絡調整 (4) その他目的達成に必要な事業	TEL: 097-537-5719 FAX: 097-536-4044	-
別府市国際交流推進協議会	会長 長野 恭紘	事務局員 森重 亜由美	874-8511 別府市上野町1番15号	別府市との間に姉妹都市等を提携している都市との交流をはじめ、その他の外国との交流を推進するとともに、留学生を総合的に支援し、別府市の国際化に寄与することを目的とする。	総立目的の事業を目指して、自治体交流をはじめ他国の人々との親交を深め、相互理解を推進することにより、市民の国際理解と国際親善を高めると共に、市内在住外国人を支援、併せて、国際観光観光文化都市別府市におけるグローバル化を目指して事業を展開している。	TEL: 0977-21-1131 FAX: 0977-22-1919	int-ma@city.bepu.lg.jp
竹田市外国人相談窓口サポートセンター	専務理事 渡邊 一宏	デスク 工藤 哲郎	〒878-0013 大分県竹田市大字竹田1920-1	竹田市内に住む外国人がより快適な生活を送るため、生活などの相談窓口として情報提供や相談をワンストップで対応する 市民と外国人居住者の交流を促進する	1.外国人・市民からの相談対応 2.生活支援のための情報提供 3.交流事業の開催 4.日本語教室の開催	TEL: 0974-63-9018 FAX: 0974-62-3050	soudan@taketa-sci.or.jp
JICAデスク大分	独立行政法人国際協力機構 九州センター（JICA九州）所長 若林 基治	独立行政法人国際協力機構 九州センター（JICA九州）国際協力推進員（大分県） 渡邊 了孔	870-0029 大分市富砂町2-33 ichiko総合文化センター内（B1F）	「地域のJICA窓口」として、JICAの国際協力事業の支援、広域国際活動事業の推進及び地方自治体・地域国際化協会等が行う国際協力事業との連携促進等を担う。地域とJICA、地域と世界を結ぶパイプ役として活動する。	① 地方自治体、地域国際化協会等と連携した国際協力事業の広域国際活動の推進 ② 地方自治体、地域国際化協会、大学、NGO及び企業等が行う国際協力事業との連携推進 ③ 地域の開発教育（国際理解教育）支援業務の促進 ④ 地域の草の根技術協力事業及び民間連携事業の推進 ⑤ 地域のボランティア事業への参加促進、広域相談及び帰国ボランティアの社会還元活動支援 ⑥ その他、地域の国際化事業の推進	TEL: 097-533-4021 090-7167-4235 FAX: 097-533-4052	jisaketa-desk-otaken@jica.go.jp
公益社団法人 ツーリズムおいた	会長 和田 久雄	-	〒870-0022 大分市大牟町3丁目1番1号 大分県庁舎本館7階	大分県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図り、併せて健康な観光旅行の普及促進と国際観光の振興を図る。もつて県民の生活・文化及び経済の向上発展に寄与すると共に、国際親善に寄与することを目的とする。	国内外への観光情報発信、観光客の誘致、受入態勢整備 等	TEL: 097-536-6250 FAX: 097-536-6251	tourism@we-love-otita.or.jp

【経済団体等】

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
一般社団法人 大分県貿易協会	理事長 疋田 智昭	事務局長 伊藤 理砂	870-0266 大分市大字大在6番地 大分国際貿易センター ビル4階	大分県の貿易を振興し、もって本県産業の発展と経済の国際化に寄与する。	①貿易に関する相談及び斡旋 ②貿易に関する情報の収集及び提供 ③貿易に関する各種調査及び研究 ④貿易に関する実務講習会、講演会、研修会等の開催 ⑤海外経済調査団の派遣及び受け入れ等	TEL:097-592-5932 FAX:097-593-3338	info@oita-fta.jp
大分県経営者協会	会長 杉原 正晴	専務理事 藤野 久信	870-0026 大分市金池町2丁目3番 4号、九州電力大分支店 本館4階	会員相互の連絡提携により、企業経営の合理化、労使の安定を図り、かつ産業平和を確立し、地方経済の発展に寄与すること。	1、例会、研究会等の開催 2、労務相談 3、調査・情報提供 4、経済団体としての諸活動	TEL:097-532-4745 FAX:097-536-3012	oita- keiky@ruby.plala.or.jp
大分県商工会連合会	会長 首藤 文彦	総務課 都留 祐也	870-0026 大分市金池町3丁目1-64	地区内における商工会の健全な発達を図り、もって商工業の振興に寄与することを目的とする。	県内17商工会と連携して、小規模事業者の経営支援活動や地域振興活動を実施。	TEL:097-534-9507 FAX:097-537-0813	shokoren@oita-shokakai.or.jp
大分県中小企業団体中央会	会長 戸高 有基	総務課長 藤田 里美	870-0026 大分市金池町三丁目1番64号	地区内における中小企業等協同組合、企業組合、協業組合、商工組合、商工組合連合会、商店街振興組合及び商店街振興組合連合会、生活衛生同業組合、共同出資会社、中小企業者が関係する社団法人・財団法人、LLP、任意グループ、新連携等(以下「組合等」という。)の組織、事業及び経営の指導並びに連絡その他の組合の健全な発達を図るために必要な事業を行い、併せて中小企業の振興を図るために必要な事業を行うことを目的とする。	(1)組合等の組織、事業及び経営の指導並びに連絡、(2)組合等の設立指導、(3)組合等の監査、(4)組合等の指導者の養成、(5)講習会、研究会及び講演会の開催、(6)情報の提供、(7)調査及び研究、(8)表彰、(9)図書・機関紙及び資料の刊行	TEL:097-536-6331 FAX:097-537-2644	info@chuokai-oita.or.jp

【二ヶ国間交流】

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分・カンボジア(シェムリアップ)協会	会長 梶原 九州男	-	870-0846 大分市花園14組5	大分県とカンボジア王国および、同国シェムリアップ州との友好親善を図ることを目的とする。	①大分県とカンボジア王国および同国シェムリアップ州との友好を促進する活動を行う団体・個人への支援 ②認定NPO 法人SOHEC 大分県支部の活動への支援 ③大分県在住のカンボジア留学生への支援 ④親善訪問団の構成・派遣 ⑤会員相互の親睦 ⑥本会目的達成のために必要と認める事業	TEL:097-545-8060 FAX:097-545-8060	3801kajiwara@gmail.com
大分華僑華人会	会長 黄 梅雄	事務局長 里中 玉佳	870-0018 大分市豊満3丁目2番1号 タイコー青果(株)内	大分県に在住している華僑華人の社会的価値を高めるために、活動を行う非営利組織である。	2014年2月(第1回)春節祭inおいた 2015年2月(第2回)春節祭inおいた 2016年1月(第3回)春節祭inおいた 2017年2月(第4回)春節祭inおいた 2018年2月(第5回)春節祭inおいた 2019年1月(第6回)春節祭inおいた 2020年2月(第7回)武漢チャリティ〜春節祭inおいた 2017年6月に大分中文学園設立 毎週大分国際文化交流会(別府京町)にて主に小学生向け、聞く、話す、読む、書くのすべての言語能力を基ひの要素を取り入れながら、中国語の運用スキルを向上させることに重点におく。毎年学園の祭典や中国語スピーチ大会などにチャレンジしている。また、中国の上海、廈門、香港、瀋陽、長春の大学機関等と連携をとり、県内在住の華僑華人子女を引率し、中国への短期留学を実施している。さらに、ボランティア中国語教員を育成するため、中国「北京外国語学院」、重 慶 南大学」などの大学に中国語教員を派遣している。コロナ禍のため、現在、オンライン講義の実施やオンラインによる「九州体育少年中国語スピーチコンテスト」運営及び実施に携わる協力団体として参加している。	TEL:097-533-3168 FAX:097-533-3225	ysatonaka@bmnizobe.ac.jp
大分県インドネシア友好協会	中野 潤也		870-0021 大分市府内町3丁目3-13 サッチージャワ	本会の目的は、日本・インドネシア両国民相互の理解を深め、更に友好親善を図りつつ、文化・芸術・経済・その他、各方面における交流に努める。	・大分県在住インドネシアの人々との友好親善、交流 ・インドネシア留学生、研修生、技能実習生との交流 ・インドネシア、日本両国料理教室の開催 ・インドネシア大使及び政府経済実習生との懇談会 ・インドネシア友好親善の旅 ・APUインドネシア留学生との諸行事参加、交流 ・大分県内各種国際イベントへの参加	TEL:097-536-3515 FAX:097-536-3515	krellhs@gmail.com
大分県日華親善協会	会長 福島 知克	理事 河野 聡	874-0928 別府市北的ケ浜町6番25号	日華両国民の理解と友好を深め、経済・文化の交流と相互の繁栄に寄与することを目的とする。	①協会の日華活動の推進 ②日華両国民の人的・物的交流の促進 ③台北駐福岡経済文化分館との連携 ④全国連合会並びに九州各県の日華親善協会との連携 ⑤二豊日華親善協会、大分県日華友好親善連盟との協力・連携 ⑥大分県及び県内国際交流機関との連携	TEL:0977-21-2860 FAX:0977-26-1408	soumu@otagas.com
大分県日中友好協会	会長 釘宮 啓	事務局長 樋口 秀吉	870-0024 大分市錦町1丁目2番2号	①日本と中国両国民の相互理解と友好親善を深め、世界の平和と繁栄に貢献すること。 ②目的実現のため、会報の発行、各種行事の推進	①中国事情と文化の研究と紹介並びに日本及び大分県の事情と文化の中国への紹介 ②産業・経済・文化・芸術・体育・学術・技術・教育など各分野にわたる、日中青少年友好交流の促進 ③各市町村と中国の各都市間の交流の促進 ④在日中国・韓国者との交流 ⑤国際交流協会の連携 ⑥中国語教室、スティーブ・コンラースト・人民土国の普及・大塚孝の普及及び中国料理教室など中国関連の諸活動の普及促進 ⑦各種研修生・留学生の紹介 ⑧スポーツ文化交流事業 ⑨中国出版物の販売	TEL:090-1750-5642 FAX:097-576-7083	otita-chu@bc04.phila.or.jp

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分県ニュージージョーランド友好協会	会長 西 謙二	-	874-0948 別府市大畑1組2 (ニュージージョーランドハウス 内)	ニュージージョーランドとの一層の友好親善を深める為、民間レベルでの各分野にわたる交流を積極的に促進し、地域国際化の推進に寄与するとともに、両国間の相互理解と国際交流・国際親善に貢献する為の多面的な事業活動を展開することを目的とする。	①交換留学生及び青少年等の相互交流の推進と支援・協力(ホームステイ等) ②ニュージージョーランドの姉妹校との交流促進支援・協力 ③国内におけるニュージージョーランド姉妹都市との情報交換・交流の促進 ④ニュージージョーランドに関する各種情報資料等の提供・協力 ⑤ロレアル市からのホームステイ等受け入れの支援・協力 ⑥その他本友好協会の事業目的を達成する為に必要な事業	TEL:0977-21-2141 FAX:0977-23-1471	krishn@lime.ocn.ne.jp
大分県フイリピン友好協会	会長 吉武 ロドラ	書記 川辺 レア	874-0919 別府市石垣東1-1-2- 501号室	①県内・国内に在住するフイリピン人で困っている人を助けること ②県内・国内に在住するフイリピン人でお互いを支えること ③祖国の真しい所に自ら支援をする ④日本で外国人でも社会貢献できるような努力をする	会合を開いたり、交流、相談などの在日フイリピン人の支援活動。 毎月会合あり、12月にクリスマス会。	TEL:070-2811-7805	nyotake@infoellmanpower.co
大分日独協会	-	-	〒 878-8555 竹田市大字会々1650	文化、芸術、学問を通じ、日独両国民の相互理解を深め、友好親善を図る	1.語学教室の開催(竹田市・大分市) 2.全国日独協会連合会事業への参加・協力	TEL:0974-53-4807 FAX:0974-83-0701	kanko@city.taketa.lg.jp
大分日仏協会	会長 大嶋 誠	事務局長 佐藤 麗蔵	870-0933 大分市上野丘車1番11号 大分県立芸術文化短期大 学 美術科 萩野敬研究室	この会は日仏両国民の理解と親善をはかり、文化と経済の交流に寄与することを目的とする。	1.フランスの国情および文化の紹介 2.日仏両国の学術文芸および産業に関する資料の交換 3.フランス語講習会、講演会、映画会、美術展、音楽会等の開催、服飾、料理等の紹介 4.その他のこの会の目的を達成するために必要な事業		sflota@yahoo.co.jp
大分日本ポルトガル協会	会長 杉村 忠彦	事務局長 原五 直子	870-8504 大分市荷揚町2番31号 大 分市役所国際課	本会は、日本、ポルトガル両国の親善に寄与し文化及び経済の交流を促進することを目的とする。	・「ポルトガルワインのタペ」 会員に料理とポルトガルワインを提供し、会員相互の親睦を図り、ポルトガルワインや文化に対する理解を深めてもらう。 ・「オブリガダーポルトガル」(協会会報誌)の発行 年に一度、当協会の活動や、ポルトガルの最新のニュースなどの情報を会報誌に掲載し、報告する。	TEL:097-537-5719 FAX:097-536-4044	portugal@city.okata.lg.jp
特定非営利活動法人 大分市日中友好協会	会長 佐藤 日出美	事務局長 森 哲也	870-0024 大分市錦町1丁目2番2号	日本・中国両国民の相互理解と友好を深め、世界の平和と繁栄に貢献すること。 そのため、各分野において具体的な活動の推進。	①中国事情と文化の研究と紹介並びに大分県・大分市の事情と文化の中国への紹介 ②産業・経済・文化・芸術・体育・学術・教育など各分野にわたる友好姉妹都市間の交流の促進 ③日中青少年友好交流の促進 ④中国帰国者との交流 ⑤中国留学生との交流 ⑥中国語教室・スピーチコンテストへの参加・水曜会の普及及び中国料理教室など中国関連の諸活動の普及促進 ⑦各種研修生・留学生の紹介 ⑧文化交流事業の促進 ⑨各種国際交流事業への参加	TEL:080-1759-5642 FAX:097-576-7083	oita-chu@bz04.plala.or.jp
特定非営利活動法人 大分バヤンホンゴル交流協会	理事長 亀山 哲	事務局長 福崎 智幸	879-7501 大分市大字竹中宇上長谷 613-1 やすらぎ重園内	大分県民とモンゴル・バヤンホンゴル県、及びモンゴル総合生協学校児童生徒との相互交流を通じて、両国児童生徒の健全育成と両国県民の友好親善を深めることを目的とする。	①モンゴル国、バヤンホンゴル県と大分県の児童生徒の相互交流 ②モンゴル総合生協学校の支援 ③モンゴル及び大分県の伝統芸術などのPR ④大分県内モンゴル留学生との交流	TEL:097-598-0100 FAX:097-598-0101	y-m@yasuragi-reiten.jp

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
中津市日韓親善協会	代表 中野 登	事務局長 伊藤 敏宏	871-0058 中津市豊田町3丁目2番地 21 清耀館	○日本と韓国国民の相互理解と友好をより一層深めるとともに、スポンサーをばいじめとし、経済・文化交流・相互繁栄を期して、「世界平和」に寄与すること。	○本分県日韓親善協会の事業(例、韓国語スピーチ大会他)の協賛 ○中津青年会議所と韓国青年会議所との交友支援活動 ○豊州市私立善明女子高等学校・VHS一部と中津市私立東九州総合高等学校との交流・交流支援 ○本県の交流支援活動 ○豊州市と中津市市民交流の訪韓事業並びに地元企業との交流支援 ○韓国との交流親善に功績のあった方の推薦及び祭典等への招待(豊州市名譽市民安藤元博、豊州市韓日親善協会委員の本会での名譽会員就任) ○以上。本会の目的・事業等を点検・推進・進捗等の確認のために総会(年1回)・理事会(年4回)の開催	TEL:0979-22-2222 FAX:0979-22-2222	ando2222@ep.bbq.jp
日本ベトナム友好協会大分県支部	会長 賀賀沢 忠夫	事務局長 甲斐 武夫	870-0921 大分市萩原3-1-15	友好協会は、「日本とベトナムとの親善友好を深め、経済、文化、科学技術の交流をはかり、アジアおよび世界の繁栄と平和に寄与すること」を目的としています。	①ベトナム人留学生との交流「お花見会」「ベトナム料理を楽しむ会」「焼肉・ソムニ」流し「学習交流」 ②明日香日本学校「入学、卒業式」出席 ③ベトナム大使館・韓国総領事館との交流等 ④留学生のお世話、引越し手伝い、バイト紹介、生活用品調達等	TEL:090-3604-4424 FAX:090-560-3003	tk1234@eri.bbq.jp
大分日米協会	会長 姫野 清高	事務局長 福田 健二	870-0023 大分市東浜町2丁目7-22 株式会社マイダスコミュニケーション ケンヨン内	日米両国民の相互理解を深め、文化・経済・教育の交流など国際友好の増進を図り、大分県の発展に寄与することを目的とします。	本協会は非営利とし、目的達成のために次のような事業を予定しています。 1. 大分県に在住する米国人との交流を図る 2. 来日した米国人企業と意見交換の場を設け交流を図る 3. 米国の文化、経済を学ぶ理解を深めるための講演会、懇談会を開催する 4. 本協会と目的を同じくする日米両国の諸団体を連携し、友好関係を促進する 5. その他本協会の目的達成のために必要とする事業	TEL:097-536-2677 FAX:097-536-2678	ajiso@midas-net.co.jp
大分 カメルーン共和国友好協会	会長 横山 明樹	会長 横山 明樹	870-0138 大分市原川3丁目2番28号 (森三和プレス内)	大分県、カメルーン共和国両者の親善に寄与し、文化及び経済の交流を促進することを目的とする。	ビジネスミーティングの開催 企業のカメルーン進出支援	TEL:097-558-8368 FAX:097-552-4704	tomoki-sp@oasch.co.ne.jp
一般社団法人 大分ネパール友好協会	共同代表 宮崎 省三	共同代表 バスコタ ローナク	874-0934 大分県別府市駅前本町1-4	一般社団法人大分ネパール友好協会は、大分とネパールの発展と友情を永続的に支援することと日本とネパールの友好の懸け橋となるよう努めます。	数人の日本人とネパールの人の仲間で大分ネパール友好協会(ONFA)は、2020年在郷団体として始まりました。その後お互いに交流を深めていくにつれ仲間も増え、今の友好的な関係を継続的にさらに発展させるため2022年7月一般社団法人として発足することとなりました。 一般社団法人、大分ネパール友好協会は、大分とネパールの発展と友情を永続的に支援することと日本とネパールの友好の懸け橋となるよう努めます。	TEL:0977-23-1100 FAX:0977-23-1100	info@otanepal.com
大分県日韓親善協会	会長 橋本 均	事務局長 印 成銀	870-0932 大分市東浜1-8-3 大分韓国会会館2F	日本と韓国国民の理解と友好を深め、経済・文化の交流と密接の繁栄を期して、世界平和に寄与する。	①姉妹協会 韓国蔚山広域市韓日親善協会(2001.5調印)との総合訪問、文化交流等を通じ、日韓交流の拡大推進 ②韓国語スピーチ大会主催(1回/年)、韓国語の普及、異文化理解 ③全朝「一衣帯水」を奉行し、情報伝達と広報(会/年) ④支部協会(大分、別府・中津)の事業の支援 ⑤県下各交流団体・グループの事業後援・支援	TEL:097-553-1870 FAX:097-553-1870	korian631@gmail.com
NPO法人 日韓芸術文化交流会	理事 長 印 成銀	理事 長 印 成銀	870-0926 大分市北下郡11-7 野田ビル201号	市民が自発的に参加する民間非営利団体(Non-Profit organization)である。積極的な文化交流活動を行い、日本と韓国の文化・歴史・学術・芸能・風俗・スポーツなどを通じて豊かなコミュニケーションを市民レベルで行うことにより、日・韓両国の真の相互理解と信頼を築くことを目的に活動する特定非営利活動法人である。 また、日・韓映画の貴重な作品を上映する映画祭を開催するなど、まちづくり、観光産業、地域経済、地域文化の発展に寄与することなどを目的とする。	①映画祭等開催事業 ②日韓学生交流事業 ③APU KOREAN WEEK 支援事業 ④市民交流事業(日韓友好のついでin OITA開催) ⑤土曜映画上映会の事業 ⑥韓国映画評論家協会とのエンターテインメント交流事業 ⑦食文化交流事業 ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業	TEL:090-4992-6743	ins67178@gmail.com

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
スリランカ親日協会	会長 クラトウンガ アサンタ	会長 クラトウンガ アサンタ	874-0819 大分県別府市石垣東8丁目5-30	スリランカと大分・別府の友好の懸け橋	①県民、在住外国人に広く開放された国際交流の拠点づくり事業 ②在住外国人の生活支援や県民、在住外国人への情報発信事業 ③国内外の国際交流団体との交流・連携と国際人材の育成事業 ④お互い観光客により行き来しやすいように両国の観光や文化や歴史について情報発信窓口開設 ⑤留学生向け授業料ローンプロジェクト	TEL:0977-85-8423 FAX:0977-85-8879	srilankashinnichikyukai@gmail.com
NPO法人 遼風国際文化交流協会	代表者 矢野 麻理	代表者 矢野 麻理	870-0816 大分市田窪町9-80-110	大分・武蔵・上海の作品を展示する美術展の開催、子供たちを対象とした人材育成、九州の自然・観光・産業・伝統文化等に関する情報発信など、中国との市民レベルでの芸術文化交流を行い、及び発展に寄与する。更に、芸術文化交流をアジア・韓国へ広げていくことで、新しい芸術文化の創造を目指すとともに、地域間の国際交流の発展と、友情・平和の促進に寄与することを目的とする。	①中国との芸術文化に関する国際交流事業 ②日本の自然、文化等の情報発信及びそれに関連する事業 ③芸術文化の指導及び人材育成事業 ④芸術文化に関するワークショップ事業	TEL:090-9481-1057 FAX:097-544-5841	shenilulu@yahoo.co.jp
在大分県ベトナム人協会	会長 PHAN TRUNG PHUC (ファン チュン フック)	副会長 TRAN TUAN ANH (チャン トゥアン アン)	874-0942 別府市千代町11-25	大分県に在住しているベトナム人のサポート及び交流促進を目的としています。	①県民と在住ベトナム人の交流の拠点づくり ②在住ベトナム人の生活支援や県民、在住ベトナム人への情報発信 ③日本語及び日本文化・法律等の勉強会	TEL:0977-75-8145	olavietnam@gmail.com

【国際交流一般】

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
NPO法人 大分県国際交流団体 地球人倶楽部	理事長 安部 光紀	副理事長 宮瀬 とも子	大分市壬子西町1-28	大分県内に在住又は、滞在する外国人若しくは日本国籍を有する外国出身者に対して、地域との係わりに関する支援や相互交流、日本語指導等に関する事業を実施することによって、相互の異文化理解を図り、もって日本と諸外国との友好関係の発展と公益の増進に寄与すること。	①県内の外国人等を対象に、日本語学習の機会を提供する事業 ②県民と県内の外国人等との相互交流を推進する事業 ③県民と県内の外国人等の異文化理解を推進する事業 ④県内で開催される国際的なイベントに協力する事業	TEL:090-6290-3538 FAX:097-537-2165	m-9674redji@ymobile.ne.jp
特定非営利活動法人 べつぶ未 来塾	代表理事 川浪 佳恵	代表理事 川浪 佳恵	870-0920 別府市北浜1丁目1-16	「ほんどうに、いきごちのいべつぶ」ノーマライゼーションが図られた地域社会をめざして、別府を知る機会の場を提供し、人と出合い、学び、気づき、知る。の喜びを多く、個人がよりよく愛われ、周囲社会もより良くなる。を実践したい、実践の継続を図るため、また行政、地方自治との協働を求めるため、NPO法人を設立。	地域における生活情報、歴史、文化等を学び知るための事業や、ユニバーサルデザイン思考の普及を図る事業などを行う。●保健、医療または福祉の増進●社会教育の推進●まちづくりの推進●観光振興●地域安全活動●学術、文化、芸術又はスポーツの振興●環境の保全●人権の擁護又は平和の推進●国際協力●男女共同参画社会の形成の促進●子どもの健全育成●経済活動の活性化 上記活動を通ずるため、別府市街地、商店街内に「多機能拠点ベつぷみ未来塾(センター・ロビー)」を建設し、コミュニティカフェ・レンタルスペース(ギャラリー・セミナー)、複写機、複写機・複写機・複写機業務を展開している。(2018年2月～)	TEL:090-2399-9382	beppuoyoia@gmail.com
大分国際重いすマラソン通訳ボランティア Can-do	代表 後藤 恵子	国際渉外 衛藤 千乃	870-1136 大分市光吉台4-233	重いすマラソンに参加される外国選手と、日本選手や地元の小・中学生との交流、バラスポーツの普及、気持ち良くレースをしていただくためのお手伝いがしたい。	バラスポーツ(特に重いす)に関する知識を増やすために月1回の研修会 外国選手が大会に入ってから、送迎、ホテル滞在中の重いすメンテ、食事・開・閉会式、受付、記者会見、メダル取材の通訳、レース全般的にわたる文書の翻訳、接遇のアナウンス、各学校・施設訪問の支援、他 県内イベント(ラグビー等)のボランティア要請。	TEL:097-568-1888 FAX:097-568-1888	chino.feb6@gmail.com
外国人 Life Support	代表 松下 清高	事務局 原田 みゆき	871-0112 中津市三光日本925番地	日本に在留する外国人が抱える様々な問題(身分関係、相続関係、雇用、近隣関係、民事関係等)の解決を助ける。	1. 毎週土曜日の午後1時より4時まで無料相談を行っています。 2. 研修による相談員のスキルアップ。 3. 国際交流団体等との協力、共同。	FAX:0979-43-5586	tutetu-miyuki@v6.dion.ne.jp
公益財団法人 AFS日本協会大分中部支部	理事 志賀 志保子	経理 小加部 聖子	870-0874 大分市にいが丘3-17 17-11-402	公正で平和な世界の実現に必要な知識・能力・理解力育成のための異文化体験の場を提供するため。	海外からの高校生のために 1)ホストスクールの開拓 2)ホストファミリー探し 3)留学生滞在中のサポート、日本から海外に留学を目指す高校生の為に 4)派遣テストの会場設定、の4点を主軸にしている。	TEL:097-546-1377 FAX:097-546-1377	s-shiga@afs.or.jp
公益財団法人 ガールズカウト大分県連盟	連盟長 工藤 喜賀	事務局長 石井 奈緒美	870-0938 大分市今津留2丁目12-6	少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人を育てる。	「自己開発」「人とのまじわり」「自然とともに」の3つを教育のポイントとし、少女たちの実行力、コミュニケーション能力、責任感を身につける活動をしている。	TEL:097-556-6808 FAX:097-556-6849	gsjoita@estate.ocn.ne.jp

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
さくら日本語教室	川野 慶子	川野 慶子	住所非公開	国際交流を推進してゆぐため	①在在外国人に日本語教育の支援をする ②会員に日本語教授の方法を教える	TEL:097-528-1865 090-7163-4969 Fax: 097-528-1865	-
多文化こどもネットワークいろは	立山 愛	立山 愛	874-0839 別府市南立石中津留町 27番23-1307号 口 フティ別府南立石武番 館	外国にルーツをもつ子どもたちに対する学校内での日本語支援の取り組みは整っていないため、そうした子どもたちの現状・課題の解決に向けて、日本語支援に取り組むことを目的として設立	・外国にルーツをもつ子どもたちに対する小・中学校内での日本語指導やシベリチェック ・日本語指導に必要なテキスト、教材、指導方法の紹介 ・小・中学校内での異文化理解ワークショップ ・年4回のネットワーク会（勉強会・研修会）	TEL:080-2720-5151	nikdsiroha@gmail.com
特定非営利活動法人 おおいたNPOデザインセンター	代表理事 山下 瑩三	山下 瑩三	870-0844 大分市古国府四丁目9番24号 コーポふじの101号室	新しい市民社会の実現に向けて、あらゆる分野や地域で活動するNPO・ボランティア団体等の公益的団体の活動基盤強化や育成することにより、又は自ら活動し、国、地方公共団体、企業、NPO等との連携協働によって、地域社会がかかえる諸問題の解決や私たちの暮らし（文化・経済・環境・教育など）の維持発展に寄与することを目的に設立。	1)NPOの活動及び運営に係る相談・助言、または推進するためのコンサルティング及びコーディネート ★事務局支援活動／NPO法人事業基盤応援プロジェクト、など (2)NPO基盤整備のための情報発信、調査研究、政策提言及び研修等企画推進事業 ★NPO法人会計基礎研修会／おおいたNPO情報交換会／事務カレッジセミナーも協定、など (3)地域の活性化や課題解決のために地域の経営資源等を活用して行う事業 ★コミュニティハウス創造事業、など	TEL:097-574-5258 FAX: 097-574-5258	oita.npodesign@gmail.com
特定非営利活動法人 大分県海外教育支援機構	理事長 三宮 康司	-	870-0034 大分市都町1丁目3番19号 大分中央ビル7F	将来、アジアと日本、韓国と九州の経済文化交流の橋渡し役となる次世代の子供達を育成する。	毎年、韓国済州島にて現地の高校生を対象とした「日本語スピーチコンテスト」が在済州日本国総領事館が主催、済州特別自治道韓日親善協会と当機構が共催。本コンテストで特別賞を受賞した学年を「九州体験学習ツアー」に招待。ホームステイ、学校訪問、観光等を企画。	TEL:097-534-2277 FAX: 097-515-7878	-
特定非営利活動法人 鶴崎文化研究会	理事長 野村 廣幸	事務局長 安東 忠則	870-0106 大分市鶴崎500番地	この会は、会員の友愛をもとに、相互の親睦を深めつつ、毛利空桑記念館の維持、運営と鶴崎小学校校区及びその周辺6小学校区を中心とするおおいの歴史的文化、芸術、史跡を発掘・探求し維持する事を目的としています。	1. 毛利空桑記念館の維持、運営、管理する活動 2. 鶴崎の歴史、文化、芸術、史跡を掘り起こし、維持する活動 3. 鶴崎の芸術文化を形成する担い手を育成する活動 4. 鶴崎を訪れる人のおもてなしとガイド、案内をする活動 5. 地域の偉人を顕彰し、伝説文化を後世に残していく活動 6. ボランティア観光ガイドを養成する活動	TEL:097-527-3343 FAX: 097-527-3343	hiro1938@oct-net.ne.jp
特定非営利活動法人 森と海の共生・ネットワーク	会長 諫本 信義	事務局長 谷口 世志子	877-1222 日田市小河内町2851番	地球環境の保全を図り、森や海の自然と共生している人々に対して豊かな自然環境と調和した地域開発に関する事業を行い、豊かな森と豊かな海を創り出すことに寄与する。	・フルボ酸鉄化合物の研究及び実証実験 ・サクラのテング集病に関する調査 ・地域環境の美化活動	TEL:0973-24-9547 FAX: 0973-24-9547	isamoto@hita-net.jp
日本語ボランティア ひまわり	代表 深田 美香	代表 深田 美香	870-0108 大分市三好987-2	大分在住の外国人に日本語支援をすることで、日本文化を理解させ、彼らの生活が円滑にいようサポートし、多文化共生社会に貢献する	（日本語教室） （学食・調理実習） （日本舞踊） 【注1（一般）・毎週土曜日 10:00～11:30 鶴崎教室（鶴崎公民館） 【注2（一般）・月3回土曜日 14:00～15:30 明野教室（明野明野公民館） 【注3（一般）・毎月第1土曜日 14:00～15:30 大分中央公民館 【外国にルーツがある児童・生徒】毎週土曜日 14:00～15:30	TEL:097-527-2614 FAX: 097-527-2614	mhongo.himawari_ocha@afncc.co.jp

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
HAPPY LINK	代表 森川 寿子	代表 森川 寿子	〒879-3105 大分県佐伯市	①国際協力 ・使用済みトナー・インクカートリッジ、ベルマーク、書き損じはがき、古本、CD等の回収。 NPO法人シャラニール（市民による海外協力の会）への寄付 ②イベント企画 ・交流会、講演会、上国会、音楽会など様々なイベントを不定期で開催 ③勉強会 ・国際理解や地域の課題、社会問題など幅広く学び合う ④その他 ・他団体のサポート等	①国際協力 ・使用済みトナー・インクカートリッジ、ベルマーク、書き損じはがき、古本、CD等の回収。 NPO法人シャラニール（市民による海外協力の会）への寄付 ②イベント企画 ・交流会、講演会、上国会、音楽会など様々なイベントを不定期で開催 ③勉強会 ・国際理解や地域の課題、社会問題など幅広く学び合う ④その他 ・他団体のサポート等	TEL:090-4510-7909	kokobuk214@hotmail.co.jp
フレンドシップフォーラス 大分 (略称FF大分)	会長 田部 朋二	事務局長 志賀 喜久美	878-0011 竹田市会々1636-23	クラブ相互のホームステイや受け入れ(世界50ヶ国「550クラブ」)～原則1週 これらの交換を通じて 国際親善及び民間平和外交の促進を図ることを目的とする。	・世界550クラブとの交流を行う。基本一年受け入れ1クラブ(1週間)、渡航1クラブ以上(1週間以上)～経費は個人持ち。 ・諸外国に組織されているフレンドシップフォーラス(略称FF)のクラブとの交流を目的に渡航し、メンバー宅にホームステイし、交流する。 ・国内のFFメンバーの会員相互の親睦を図る。 ・FFメンバー間の相互理解及び国際親善に役立つ事業を行う。 ・その他、会との目的による事業及び活動をする。	TEL:0974-62-4793 FAX:0974-62-4793	tomochan@spice.ocn.ne.jp
べっはち Beppu Rainbow Society	代表 神 智子	代表 神 智子	大分県別府市	多様性を認め合い、多文化交流の輪を広げることが目的として設立。	1月:新春カルタ取り、福笑い大会 2月:節分 3月:ひな祭り 4月:お花見 7月:七夕 9月:運動会 その他、料理教室など	TEL:070-6595-4466	beppu.rainbow@gmail.com
一般社団法人 外国人留学就労支援協会	代表理事 松見俊信	代表理事 松見俊信	870-0021 大分市府内町1丁目6番 27号 府内中央ビル303号	外国人の留学と就労を支援する	①介護福祉士留学生の受け入れ紹介活動 ②外国人介護人材受入・定着支援事業 ③受け入れ国との交流並びに受け入れ外国人の支援	TEL:097-578-6460 FAX:097-578-6460	ays.matsumi@gmail.com
よのうつ国際交流の会	会長 渡邊 正太郎	佐伯市あまべ商工会 米水津支所 佐保 和広	876-1401 佐伯市米水津大字浦代浦 1239-2 佐伯市あまべ商工会米水津支所内	米水津地区住民と外国人との交流を図り、米水津地区の振興に資する活動を行うことを目的とする。	(1) 地域住民と外国人の交流活動 (2) 外国人の日本語能力向上のための講習会 (3) その他目的達成のための事業活動	TEL:0972-35-6119 FAX:0972-35-6110	anabe-yonouzu@city-shikokai.or.jp
NPO法人 マツクネットシステム 外国人支援部 クレシタ	理事長 武石 好春	理事 甲斐 しのぶ	874-0025 大分県別府市大字亀川 1140番地21	在住外国人の日常生活支援を行い生活の安定化を図る	①日常生活支援・ソーシャルワーク支援 ②医療通訳(英語のみ) ③ホームステイ・異文化交流 ④観光案内	TEL:0977-75-6053	maenet@mac-r.or.jp
NPO法人 福祉コミュニケーションズAKI	稲生 亨	宮崎 義光	879-2111 大分市大字本神崎897番地4	本神崎地区住民(大分市民)に対して、環境保全・美化、住民相互の支え合い、子どもと若い親世代の参画による活動を通じ、楽しく働き、安心して暮らすことができ、子どもたちの声が響きわたる地域社会の実現に寄与することを目的とする。	神崎(こうさき)海岸の清掃活動(毎月第4日曜日)ほか各種環境活動、安全安心の地域づくり、交流拠点「みんなの家」運営、認知症カフェ「ハムユウ」、キッズカフェ「コナドリ」、「男が帰る夕食会」等交流活動事業、技能実習生を対象とした日本語教室、こうさき自然海浜公園運営活動事業。	TEL:097-576-0053 FAX:097-576-0053	tinage@hyper.ocn.ne.jp

団体名	代表	事務局		設立の趣旨	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
いきいき今津まちづくり協議会	萩原 道信	-	879-0103 中津市大字楠野972番 地1	この協議会は、地域住民の総意と協働により、今津校区をいきいきと 明るく安全で住みやすいまちにすることを目指し活動する。	「国際交流卓球大会」や「今津校区納涼盆踊り大会」、「今津校区ふれあ いわいわい祭り」など、地域住民と地元企業で働く外国人技能実習生な どが交流するイベントを開催している。	-	-
ひた国際交流会	吉田 祐一	吉田 祐一		市民と外国人の異文化理解と友好関係の構築	国際交流（パーティー、おでかけ等）	TEL:080-4274-6120	dandan0216@gmail.com
院内国際交流会	佐矢 弘憲	-	宇佐市院内町温見	オーストラリアの小学校との教育交流を目的とする。	オーストラリアへの教員訪問（ホームステイ）と、オーストラリアからの教 育交流団の受け入れを相互に続け、今年で活動32年目を迎える。これまで に参加した双方の児童生徒は500名以上にのぼる。本会では、年間を 通じて月1、2回の勉強会を重ね、会員間の交流を図るほか、通訳を入れ ずにホームステイの日程作成、旅行手配を自ら行っている。 教育交流団の受け入れの際は地域住民との交流等も行い、近年は「日米 草の根交流サミット大分大会」へ参加、協力するなど行政関連の国際文 化行事にも積極的に関わっている。 本会の活動は、子ども達をはじめ地域において英語や異文化に触れあ う機会を創出するとともに、国際的視点の育成に大きく貢献しており、本 市における国際意識の向上、青少年の健全育成に対する功績は多大で あるため、令和2年度に宇佐市功労者表彰を授与している。		
グローカルおおの	森 美由紀	-	879-6431 豊後大野市大野町酒井寺 388	豊後大野市に暮らす日本人と外国人がお互いに顔の見える関係を築き、双方 が安心して暮らせるまちづくりを目指す。	・カルパ・おおの(外国人と地域住民との交流会、勉強会、料理教室など) ・多文化交流DAY(外国人による母国料理の販売、各種文化交流など) ・国際交流授業(学校訪問)	TEL:080-6429-7003	mmiyukimori@gmail.com

日本語教室一覧

市町村	教室名	場所	住所	曜日・時間等	定員	形式	連絡先
1	あいうえおCUI8 (NPO法人大分県国際交流団体 地球人倶楽部)	大分県消費生活・ 男女共同参画プラザ (アイネス)	大分市東春日町1-1	【住民一般】 毎週火曜日、金曜日 10：20～11：50	—	個別指導形式	担当者：宮瀬 とも子 携帯：090-8353-2485 E-mail：miyase@oct-net.ne.jp
		コンパルホール	大分市府内町丁目5-38	【住民一般】 毎週水曜日 18：30～20：30	—	個別指導形式	担当者：加藤 多喜子 携帯：090-7169-4466
2	大分市	鶴崎教室 (鶴崎公民館)	大分市東鶴崎丁目1-7	【住民一般】 毎週土曜日 10：00～11：30	—	個別指導形式 グループ学習	担当者：深田 美春 電話：097-527-2614 E-mail：nihongo_hinawari_oita@yahoo.co.jp
		明野教室 (明治明野公民館)	大分市明野北4丁目7-8	【住民一般】 月3回水曜日 14：00～15：30	—	個別指導形式 グループ学習	
3	大分市立エスベランサ・コレジ オ「ステップにほんご」	大分中央公民館	大分市荷揚町3番45号	【外国にルーツがある児童・生徒】 毎週土曜日 14：00～15：30	5人	個別指導形式	担当者：安藤 清 電話：097-522-3415 E-mail：esuperansa@city.oita.oita.jp
		大分中央公民館	大分市荷揚町3番45号	【住民一般】 毎週水曜日 19：00～20：00	15人	個別指導形式 グループ学習	
4	Beppu Japanese Conversation Class	APU PLAZA OITA 1Fホール	別府市京町11-8	【対象者を限定していない】 ※ボランティアによる講座 毎週日曜日 初中級 10：00～12：00	10人	グループレッスン	代表者：神 智子 担当者：館塚 清里子 携帯：070-6595-4466 (神) E-mail：beppu8.rainbow@gmail.com
5	別府市 日本語らくらくトーク	別府市役所 GF教養室	別府市上野口町1番15号	【住民一般・一般児童・技能実習生】 毎週月曜日 14：00～15：30	—	日本語レベル別 グループ学習	別府市文化国際課 代表者：高木 智香 担当者：箕崎 博樹
		APU PLAZA OITA 1Fホール	別府市京町11-8	【住民一般・一般児童・技能実習生】 毎週水曜日 13：00～16：30	—	日本語レベル別 グループ学習	電話：0977-21-1131 E-mail：int-ma@city.beppu.lg.jp
6	多文化に生きるこどものための サポーターネット「あいこと ば」	豊田公民館	中津市大字上宮永29-1	【外国にルーツがある児童と保護者対象】 第2日曜日 10：00～12：00	—	個別指導形式	担当者：山本 裕子 携帯：080-6409-1048 E-mail：yamamoto-hirako@oen.ed.jp
7	中津市 日本語教室きさら	如水コミュニティー センター	中津市大字合馬479番地1	【対象者を限定していない】 毎月第2・第4日曜日 13：30～16：30	—	個別指導形式	担当者：井上 順二 携帯：080-1774-6936 E-mail：inorinj@gmail.com
		下郷地区公民館	中津市耶馬溪町大字大島 126番地	【対象者を限定していない】 毎月第1木曜日 (毎月1回) 9：30～12：00	—	個別指導形式	

市町村	教室名	場所	住所	曜日・時間等	定員	形式	連絡先
8	日田市日本語教室	日田市総合文化施設 A05E	日田市上城内2-6	【日田市または近隣の日本語学習希望者】 第1、第3日曜日 14：00～16：00	—	講義形式 個別指導形式	担当者：河崎 弘美 電話：0973-22-6868(日田市社会教育課) E-mail：hiro3.kawasaki@gmail.com hiro3.0702@me.com
9	佐伯市日本語教室	佐伯民衆日本語学校 (旧佐伯税務署)	佐伯市豊田9番5号	対象は、市内在住若しくは市内企業に勤務する者 時期：12月～2月 回数：2時間/回×2回/週×3カ月 = 全24回程度 講座レベル：生活のための日本語を学べるレベル	20人程度	受講生・講師ともに対面 授業	担当：鶴光・国際交流課 国際交流係 電話：0972-22-4623 E-mail：kokusai.koryu@city.saiiki.lg.jp
10	にほんごこうぞ 豊後高田市	豊後高田市中央公民館	豊後高田市玉津987	【対象は、豊後高田International Contribution事業協同組合に加盟している企業の技能実習生限定】 第1、第3日曜日 13：00～15：00	—	講義形式	代表者：黒田紅羽（豊後高田International Contribution事業協同組合） 担当者：橋本博彦 電話：0978-24-0011 E-mail：bungotakadaic@gmail.com
11	国際交流の会 日本語教室	豊後高田市昭和の町チ ラス	豊後高田市新町	【対象者を限定していない】 毎週水曜日、土曜日、日曜日 水曜日 14：00～16：00 土曜日、日曜日 16：00～18：00	—	(水) グループレッスン (土・日) 個別指導形式	担当者：安達 かずみ 携帯：080-6402-9099 E-mail：fuekazumi@gmail.com
12	宇佐日本語教室	四日市コミュニティ センター	宇佐市四日市111番地の2	【日本語能力試験受験希望者対象】 (将来受験希望があれば、日本語スタートからでもOKです。) 第2、第4日曜日 12：30～15：30 ※6月と11月は第2、第3、第4日曜日 12：30～16：30	—	クラス別 講義形式	担当者：中野 美幸 携帯：090-1085-5803 E-mail：as1ajan-miyukil23577@icloud.com

<抜粋>

大分県海外戦略(2025～2027)

世界から選ばれるおおいた

～海外への挑戦と多文化共生社会の実現～



令和7年(2025年)3月
大分県

1 戦略の策定にあたって

1 戦略策定の趣旨

- ・本県では、海外施策の取り組むべき方向性を示す羅針盤として、平成23年5月に「大分県海外戦略」を策定しました。これまで、海外情勢の変化に対応しながら適宜戦略を見直し、第4期の戦略期間では、農林水産物輸出額や訪日外国人旅行者の県内消費額、県内で就労する外国人数などで過去最高を更新するなど、一定の成果を上げています。
- ・しかしながら、国際情勢の不安定化や急速な人口減少による国内市場の縮小、増加する外国人住民への対応など、本県を取り巻く環境は刻々と変化しています。
- ・そのような中、本県では令和6年9月に、県行政の長期的、総合的な指針を示した最上位計画である新たな大分県長期総合計画(安心・元気・未来創造ビジョン2024)を策定しました。
- ・本計画の達成により、年齢や性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合い、誰もがいきいきと活躍している「共生社会おおいた」、魅力・ブランド力が高まり、移住・定住や観光、企業進出、投資など、あらゆる分野で県内外から「選ばれるおおいた」の実現を目指しています。
- ・こうしたことを背景に、第4期大分県海外戦略(2022～2024)が令和6年度末で終期を迎えることから、これまでの成果や本県を取り巻く情勢の変化を的確に捉え、「共生社会おおいた」、「選ばれるおおいた」の実現に資する新たな海外戦略を策定します。

2 戦略の性格・役割

- ・この戦略は、大分県長期総合計画(安心・元気・未来創造ビジョン2024)を達成するための海外施策に関する部門計画です。

▼安心・元気・未来創造ビジョン2024の基本目標と海外関連施策の位置づけ▼

基本目標	○誰もが 安心 して 元気 に活躍できる大分県 ○知恵と努力が報われ 未来 を 創造 できる大分県	「共生社会おおいた」 「選ばれるおおいた」 の実現
政策 (元気分野)	海外の成長を取り込み 共に発展する大分県の実現	施策 ①企業の海外展開と県産品の輸出の促進 ②外国人に選ばれ、共生できる大分県づくり

3 戦略の期間

- ・戦略の期間は、令和7年(2025年)4月から令和10年(2028年)3月までの3年間とします。

4 戦略の推進体制・進捗管理

- ・戦略に掲げる施策については、県庁内の関係所属で構成される「大分県海外戦略推進本部」及び有識者等で構成される「大分県海外戦略アドバイザー会議」において適切に進捗管理を行うとともに、関係機関等との連携・協力により円滑・効果的に推進していくこととします。

2 本県を取り巻く情勢の変化

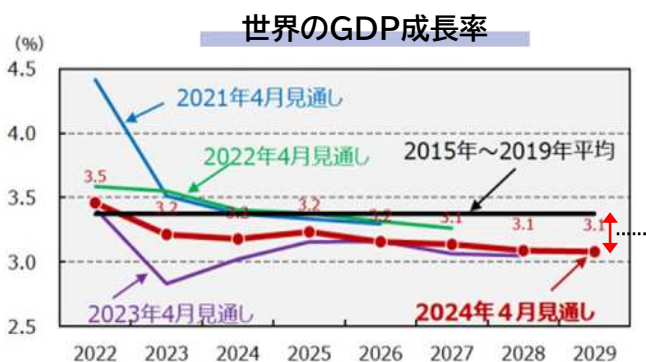
変化 1

刻一刻と変化する国際情勢と経済動向

- ・グローバル化の進展に伴い、ASEAN諸国をはじめとする新興国・発展途上国の経済成長や世界的な経済統合の動きが加速しています。
- ・一方で、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻に伴う物価高騰、急激な為替・株価変動など、世界経済の不確実性が一段と高まっています。
- ・複雑化するリスクに直面する中でも、近年の円安進行による対日投資や輸出拡大、インバウンドの増など外需を取り込む好機が到来しています。

① コロナ禍からの世界経済の回復

- ・インフレは足下で落ち着きが見られ始めていますが、依然として高水準で推移しており、世界経済が成長軌道に復するには相応の時間を要するとみられています。



出典：通商白書2024(経産省)

対前年で成長は堅持するものの、
コロナ禍前の水準には届かず

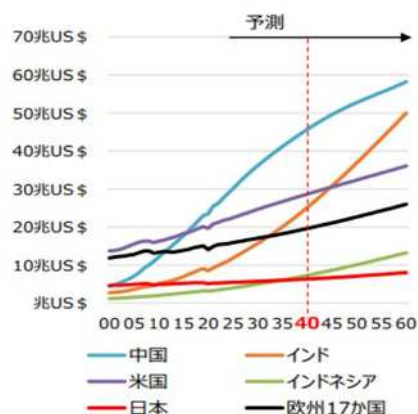
- ・一方で、新興国・発展途上国は目覚ましい成長を遂げており、中でもインドやインドネシアをはじめとするグローバル・サウス諸国の成長が著しい状況です。

実質GDP成長率(%)

	推計	予測	
	2024	2025	2026
世界GDP	3.2	3.3	3.3
先進国・地域	1.7	1.9	1.8
米国	2.8	2.7	2.1
ユーロ圏	0.8	1.0	1.4
日本	-0.2	1.1	0.8
新興市場国・発展途上国	4.2	4.2	4.3
中国	4.8	4.6	4.5
インド	6.5	6.5	6.5

出典：世界経済見通し2025年1月改訂版(国際通貨基金)

OECDによる実質GDP予測



OECDによると、2040年までにインドネシアが経済規模で日本を追い抜くと予測

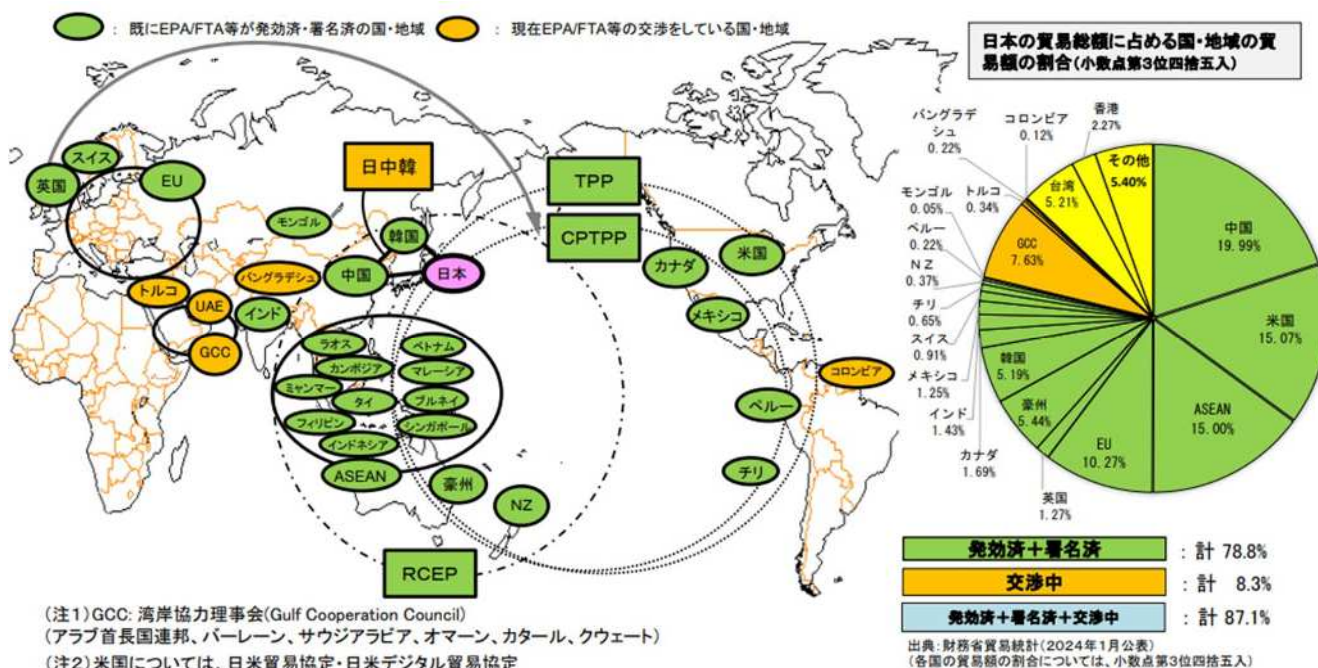
出典：対外経済政策をめぐる最近の動向
(2024年6月、経産省)

2 本県を取り巻く情勢の変化 ～変化1～ 刻一刻と変化する国際情勢と経済動向

②自由貿易・経済統合の進展

- ・これまで我が国においては、24の国・地域の間で21の経済連携協定(EPA/FTA)等を発効・署名してきました。
- ・発効・署名済のEPA/FTA等の相手国との貿易が貿易総額に占める割合は78.8%となっており、我が国貿易の発展にはこれら経済連携協定が大きく寄与しています。また、トルコ、バングラデシュなど新興国とも交渉中であり、今後さらなる拡大が見込まれています。

我が国の経済連携協定(EPA/FTA)等



出典: 我が国の経済連携協定(EPA/FTA)等の取組
(2025年1月、外務省)

③世界経済の不確実性の高まり

- ・各国で経済成長や世界的な経済統合の動きが加速する一方で、コロナ禍やウクライナ情勢による物価高騰、中国での日本産水産物の輸入停止など、国際情勢の不安定化等に伴うリスクが複雑化しています。
- ・また、令和6年は世界的な選挙イヤーであり、国の新たなリーダーによる言動や経済政策の動向にも国際情勢は大きく左右されます。関税の引き上げなどの政策転換により、世界経済の分断のリスクも高まっています。
- ・このように、特定の国への過度な依存によるリスクが顕在化していることから、輸出入やインバウンドなど各分野において相手国の分散化が求められています。
- ・国際情勢の不安定化は、急激な為替変動のリスクを増大させます。円安の長期化による原材料価格の高騰、円高の進行時には株価下落や輸出産業の業績悪化など、及ぼす影響は様々です。
- ・為替変動の仕組みや円安・円高のメリット・デメリット等を理解したうえで、刻々と変化する動向を的確に把握しながら、リスクへの対応を進めることが一層重要となっています。

2 本県を取り巻く情勢の変化 ～変化1～ 刻一刻と変化する国際情勢と経済動向

④海外の需要を取り込む好機

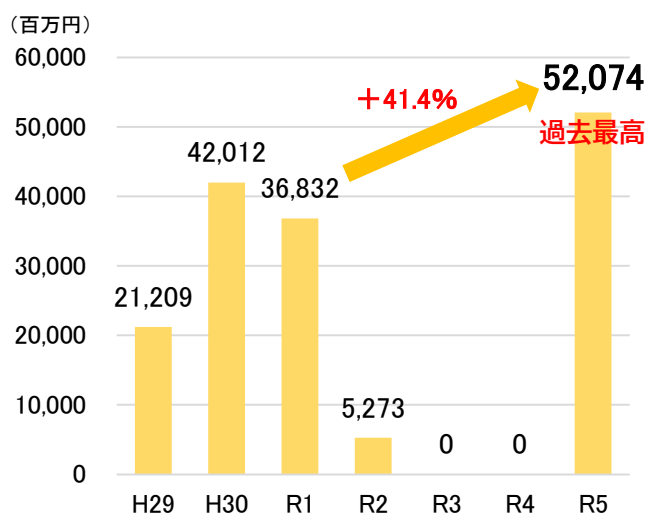
- ・近年の円安進行は対日投資や輸出拡大、インバウンドの増など、外需を取り込む好機です。訪日外国人旅行者による消費額や農林水産物の輸出額等において過去最高を更新するなど、様々な分野で円安の進行を追い風にした成果が表れています。
- ・また、TSMCの熊本県への進出などにより九州への関心が高まっています。本県の強みである半導体製造の後工程分野を活かした取引拡大や新たな投資の呼び込み、企業誘致促進の好機が到来しています。

国内での訪日外国人旅行者
による消費額の推移



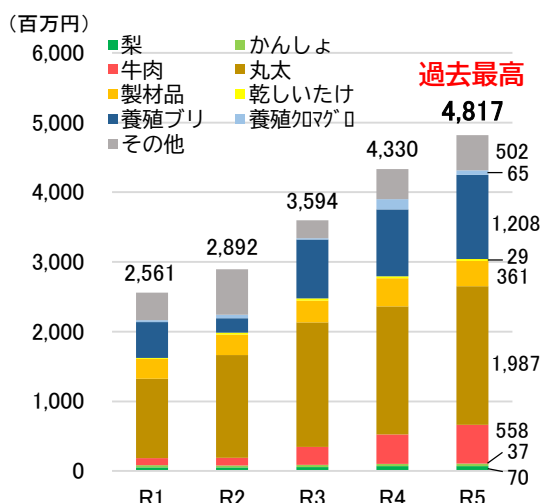
出典：インバウンドの回復状況(観光庁)

県内での訪日外国人旅行者
による消費額の推移



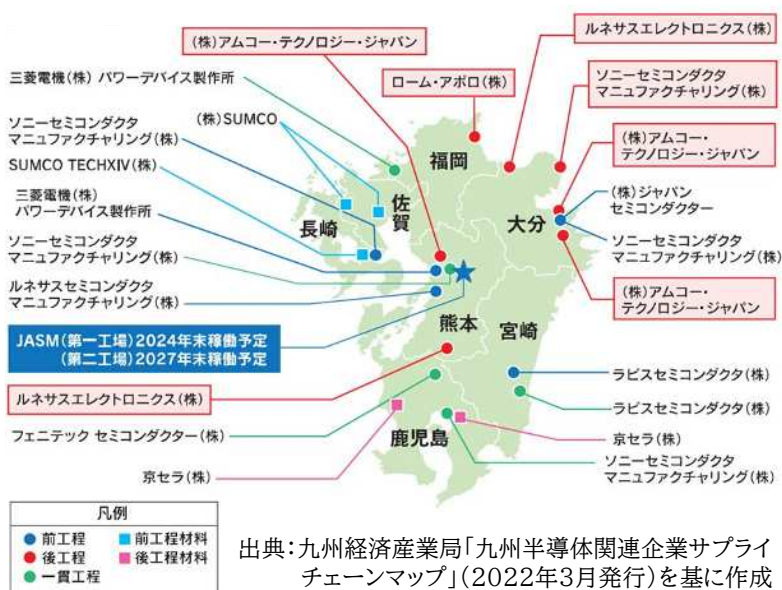
出典：大分県調べ

県内の農林水産物の輸出額



出典：大分県調べ

九州における主な半導体関連事業所



出典：九州経済産業局「九州半導体関連企業サプライチェーンマップ」(2022年3月発行)を基に作成

- ・複雑化するリスクに備えた対応を進める一方で、本県産業の発展には、リスクを逆手にとり、成長のエンジンに転換していくことが重要です。
- ・成長を続ける海外市場のさらなる獲得に向けて、県産品の輸出促進やインバウンドの拡大等に挑戦する事業者への支援が求められています。

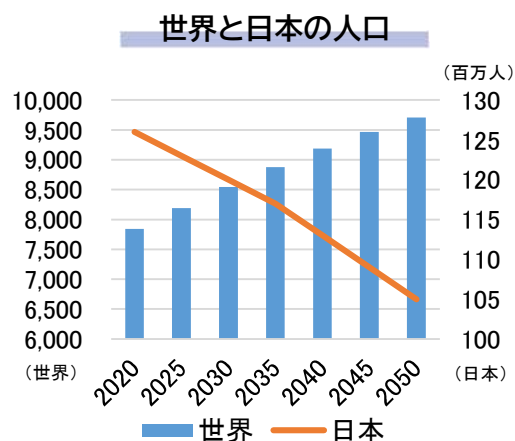
変化
2

急速な人口減少による国内市場の縮小

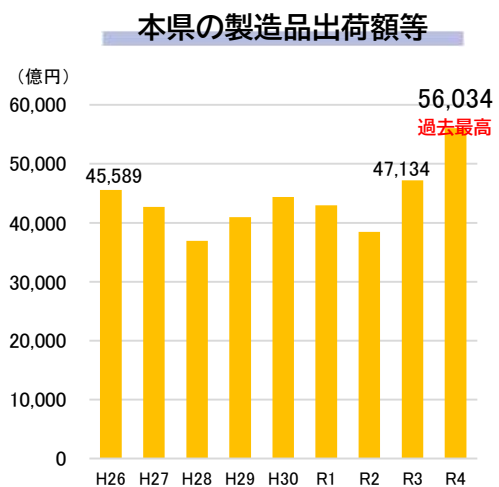
- ・日本の総人口は減少の一途をたどっており、その流れは今後さらに加速することが見込まれています。消費減による国内市場縮小への対応は喫緊の課題です。
- ・他方で、世界の人口は急速な増加を続けており、拡大するEC市場やオンライン商談会の普及など、事業者が海外展開への挑戦の一步を踏み出しやすい環境も整ってきています。
- ・本県産業の発展には、さらなる競争力強化により拡大を続ける海外の市場を積極的に取り込むことが不可欠であることから、事業者の挑戦を後押しする支援の一層の充実が必要です。

①国内市場の縮小と本県産業を取り巻く環境

- ・国立社会保障・人口問題研究所の令和5年推計によると、日本の総人口は2070年に8,700万人まで減少し、65歳以上人口は約4割を占めると予測されています。
- ・本県の人口は、2050年には84万人余りまで減少すると推計されており、2020年と比較して25.1%減少する厳しい状況にあります。
- ・一方で、世界の人口は2022年に80億人を突破し、アジアやアフリカを中心に今後も増加を続け、2050年には97億人になると推計されています。



- ・本県には、大分コンビナートをはじめ、半導体、自動車関連産業など、高い競争力を有する企業が立地しており、国内市場が縮小する中においても、令和4年の本県の製造品出荷額等は過去最高を更新しました。
- ・世界に目を向けてみると、米国石油化学企業の攻勢や中国・アジアでの大規模プラントの新增設など、国際競争が激化しています。また、生成AIや量子コンピュータなど、大量かつ高速な情報処理等に伴う半導体需要の拡大が期待されています。
- ・このように、世界的なカーボンニュートラルの要請とデジタル化が進展する中、GX※¹、DX※²の取組を加速させるなど、時流を捉えた競争力の強化が求められています。



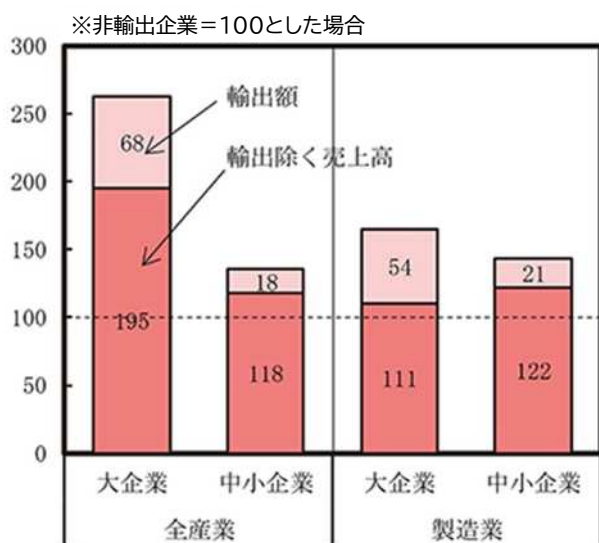
※1 グリーントランスフォーメーション(Green Transformation)の略。温室効果ガスの排出削減と経済成長をともに実現すべく、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やそれに向けた活動
 ※2 デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)の略。ユーザー目線でビジョンを描き、ビジョンの実現に向けてデータとデジタル技術を活用して、これまでのビジネス等を変革すること。

2 本県を取り巻く情勢の変化 ～変化2～ 急速な人口減少による国内市場の縮小

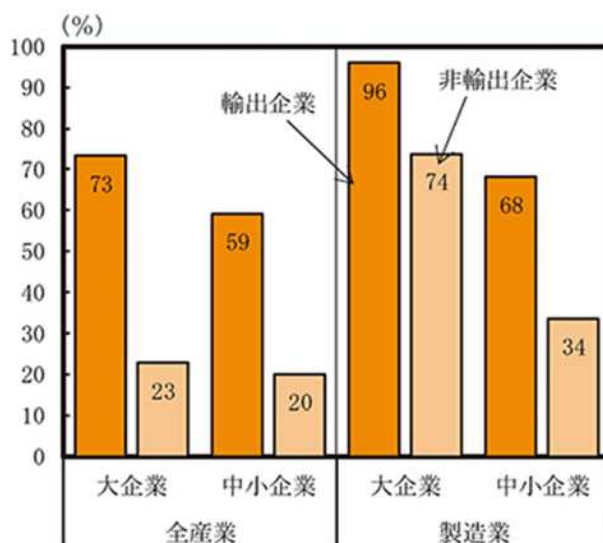
②海外展開による事業者・生産者の稼ぐ力の向上

- ・国内需要の制約に直面する事業者等にとって、輸出による外需獲得は成長実現の鍵を握ります。内閣府の調査によると、輸出を行う企業は、輸出を行わない企業に比べて稼ぐ力が強い傾向もみられています。
- ・もともと高い生産性を有するなど稼ぐ力のある企業が輸出を行っており、輸出を通じてさらに稼ぐ力を高めているといった面もあると考えられますが、輸出企業と非輸出企業との間で「研究開発実施率」に差がみられることは、両者の稼ぐ力の差の背景の一つです。
- ・全産業ベースでは、輸出を行っていない企業のうち研究開発投資を行っている企業は約2割にとどまっているのに対し、輸出企業では大企業で約7割、中小企業で約6割と大きな差が生まれています。
- ・製造業でも同様に、輸出を行っていない企業の研究開発実施の割合は大企業で約7割、中小企業で約3割であるのに対し、輸出企業では大企業で96%とほぼすべて、中小企業でも約7割となっています。
- ・輸出企業においては、海外企業との競争環境の中で自社の製品に競争力をもたせるための研究開発が積極的に行われており、こうした取組の結果が、売上高や付加価値の向上にもつながっている可能性があるとうかがえます。

輸出企業の1社当たり売上高



研究開発実施率



出典:日本経済2022-2023(内閣府)
※数値は2016～2020年度平均

- ・世界のEC市場は今後も拡大傾向にあり、越境EC※3の活用など、事業者の海外展開の選択肢が広がっています。
- ・内閣府の調査によると、海外展開していない中小企業が抱える課題は、販売先の確保や現地の市場動向・ニーズ調査、海外展開を主導する人材確保などが上位を占めています。
- ・事業者・生産者に寄り添ったきめ細かな支援により、「輸出挑戦 → 改善 → 生産性・付加価値向上」の好循環を創出することが重要です。

世界のBtoC EC市場規模



出典:電子商取引に関する市場調査(経産省)

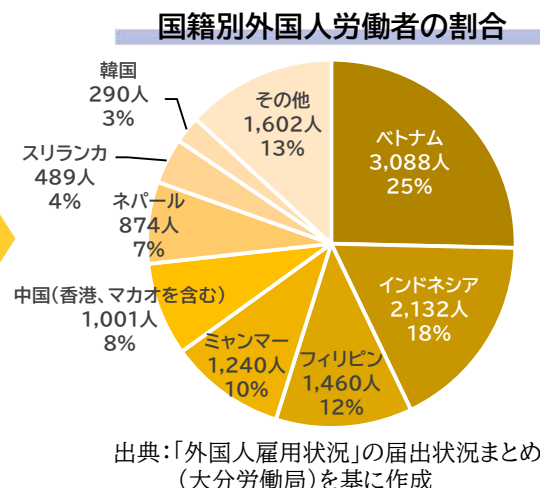
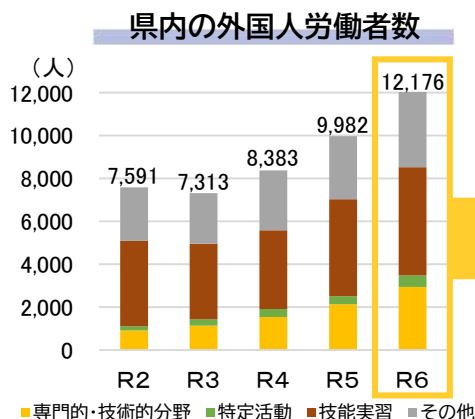
変化 3

人手不足の深刻化と人材獲得競争の激化

- ・本県の生産年齢人口は減少を続ける一方で、県内で就労する外国人数、外国人を雇用する事業所数はともに過去最高を更新しています。
- ・各国で外国人材の獲得競争が激化する中、我が国においては人手不足分野における人材の育成・確保を目的とした新たな「育成就労制度※¹」が創設されました。

①人手不足の深刻化と外国人材受入れの状況

- ・国立社会保障・人口問題研究所によると、本県の生産年齢人口は2050年には41万人余り、2020年と比較して32.7%減少すると推計されており、人手不足が一層深刻化しています。
- ・令和6年10月末現在で県内で就労する外国人数は12,176人、前年比で2,194人(22.0%)増加し、過去最高を更新しました。また、外国人を雇用する事業所数は2,223か所、前年比で227か所(11.4%)増加し、同じく過去最高を更新しています。



- ・また、本県の社会増減は令和4年は1,393人増、令和5年は366人増となり、初めて2年連続の社会増(転入超過)を達成しました。本県人口の減少抑制にも外国人住民の増加が大きく寄与しています。

②人材獲得競争の激化と制度の創設・拡充

- ・近年、台湾・韓国で就労する外国人が増加するなど、各国において外国人材の獲得競争が激化しています。
- ・我が国においては、外国人材の育成・確保を目的とする育成就労制度の創設や特定技能制度の対象分野の追加※²など、受入拡大に向けた取組を加速させています。
- ・新たな制度を活用した受入れ増が期待される一方で、育成就労制度では、本人の意向に基づく転職なども可能となるため、人材の流動化も進みます。
- ・このため、受入企業の拡大や就労環境整備など、外国人材から選ばれる県となるための取組が必要です。新たな送出し国との関係性構築、MOU(連携協定)締結による連携強化など、海外現地での体制づくりも求められています。

※1 技能移転による国際貢献を目的とする技能実習制度を抜本的に見直し、人手不足分野における人材の育成・確保を目的とする制度。技能実習制度では認められていない本人の意向に基づく転職なども可能となる(令和9年までに制度開始される予定)

※2 特定技能2号(在留期間：制限なし)・・・令和5年6月に9分野追加され11分野に(製造業、宿泊業、農業等を追加)
特定技能1号(在留期間：5年間)・・・令和6年3月に4分野追加され16分野に(自動車運送業、林業等を追加)

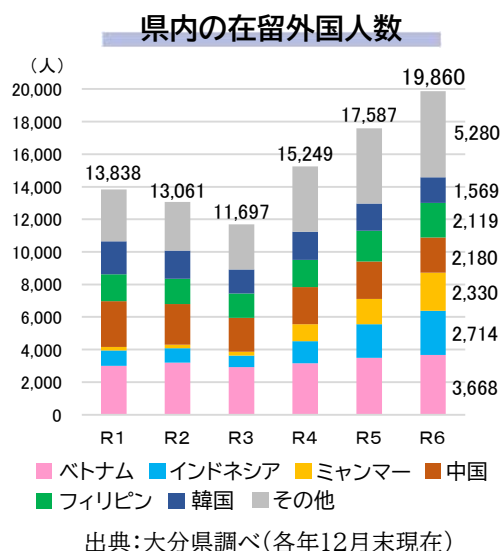
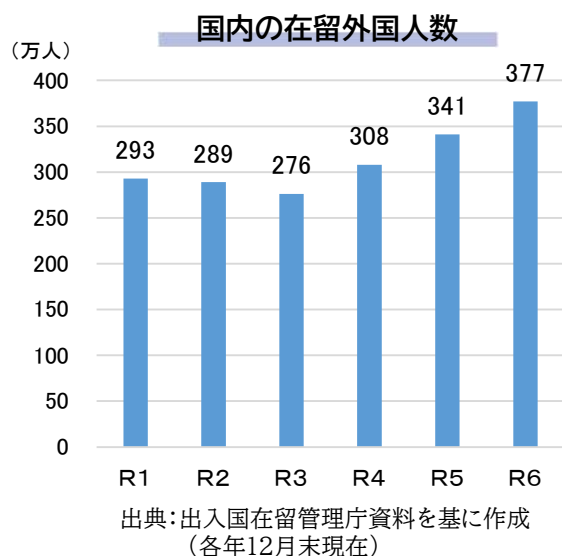
変化 4

多文化共生社会の実現への要請

- ・在留外国人数は増加を続け、国内・県内ともに過去最高を更新しています。特定技能制度の対象分野の拡大等に伴い、今後滞在の長期化や帯同家族の増加も見込まれています。
- ・外国人住民の増加や出身国籍・地域の多様化を背景に、外国人が安心して暮らし、地域社会の一員として活躍できる多文化共生社会※¹の実現が一層求められています。

①増加する外国人住民

- ・令和6年末時点の国内の在留外国人数は約377万人で過去最高を更新しており、県内においても約2万人となり、過去最高を更新しています。



②多文化共生社会の実現に向けて

- ・外国人住民が抱える困りごとの内容としては、仕事に関する内容が上位を占める中、人間関係や日本語学習に関する内容も多い状況です。
- ・また、外国人が就職先を選ぶ際のポイントにも変化があり、給料や仕事内容に加え、人間関係を重視する傾向も強まっています。
- ・外国人住民の中には、地域生活におけるルールやマナーが分からない方も多く、犯罪者や失踪者の増加につながるリスクが顕在化する一方で、日本人ともっと交流したいとの声も多い状況です。
- ・受入れ企業における外国人との共生を図る職場づくりの推進、職場以外においても、日本人との交流による相互理解の促進が求められています。
- ・本県がこれまで築いてきた多文化共生に一層磨きをかけブランドを確立し、さらに世界から選ばれる好循環のサイクルを形成することが重要です。

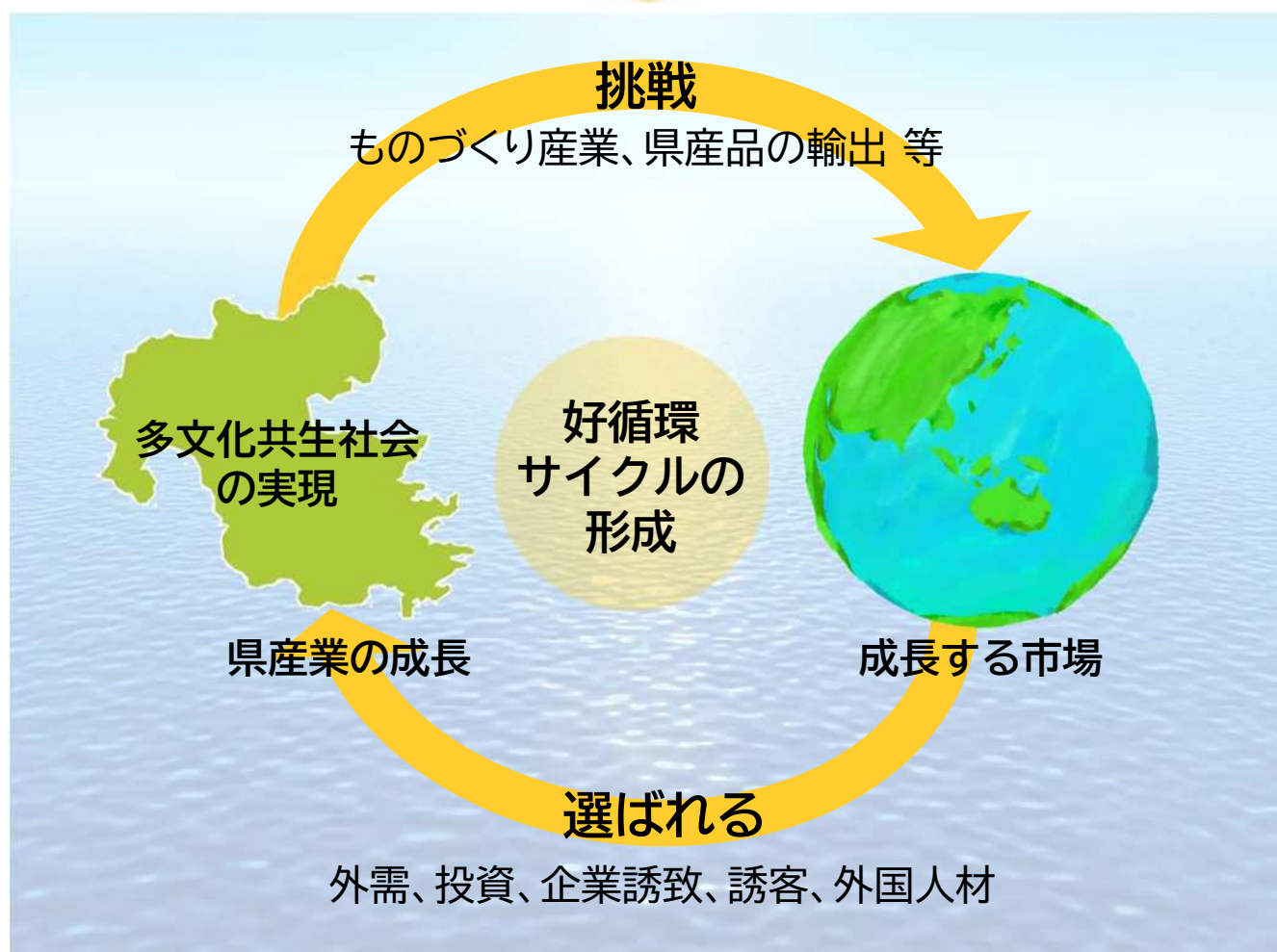
※1 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく社会

3 基本目標

これまでの成果を継承するとともに、本県を取り巻く情勢の変化を読み取り、さらなる成長を実現するため、第5期大分県海外戦略では次の目標を掲げます。

世界から選ばれるおおいた ～海外への挑戦と多文化共生社会の実現～

達成後のイメージ



- 海外に積極果敢に挑戦し、成長を続ける市場を獲得
- 多文化共生のブランド確立により、さらに世界から選ばれる好循環のサイクルを形成

4 戦略の構成

基本目標を達成するため、4つの戦略と15の施策で構成します。

基本目標

世界から選ばれるおおいた ～海外への挑戦と多文化共生社会の実現～

戦略1 海外の成長市場を取り込む

- (1) 企業の海外展開支援と企業誘致の推進
- (2) 県産品の輸出促進
- (3) 海外誘客（インバウンド）の推進
- (4) 海外ネットワークの強化

戦略2 外国人材の活躍促進

- (1) 海外現地での体制づくり
- (2) 円滑・適正な受入体制の強化
- (3) 魅力ある働く場づくり

戦略3 多文化共生社会の実現

- (1) 相互交流・理解の促進
- (2) コミュニケーション支援の充実
- (3) 生活支援の充実
- (4) 留学生等の活躍支援と県内定着促進

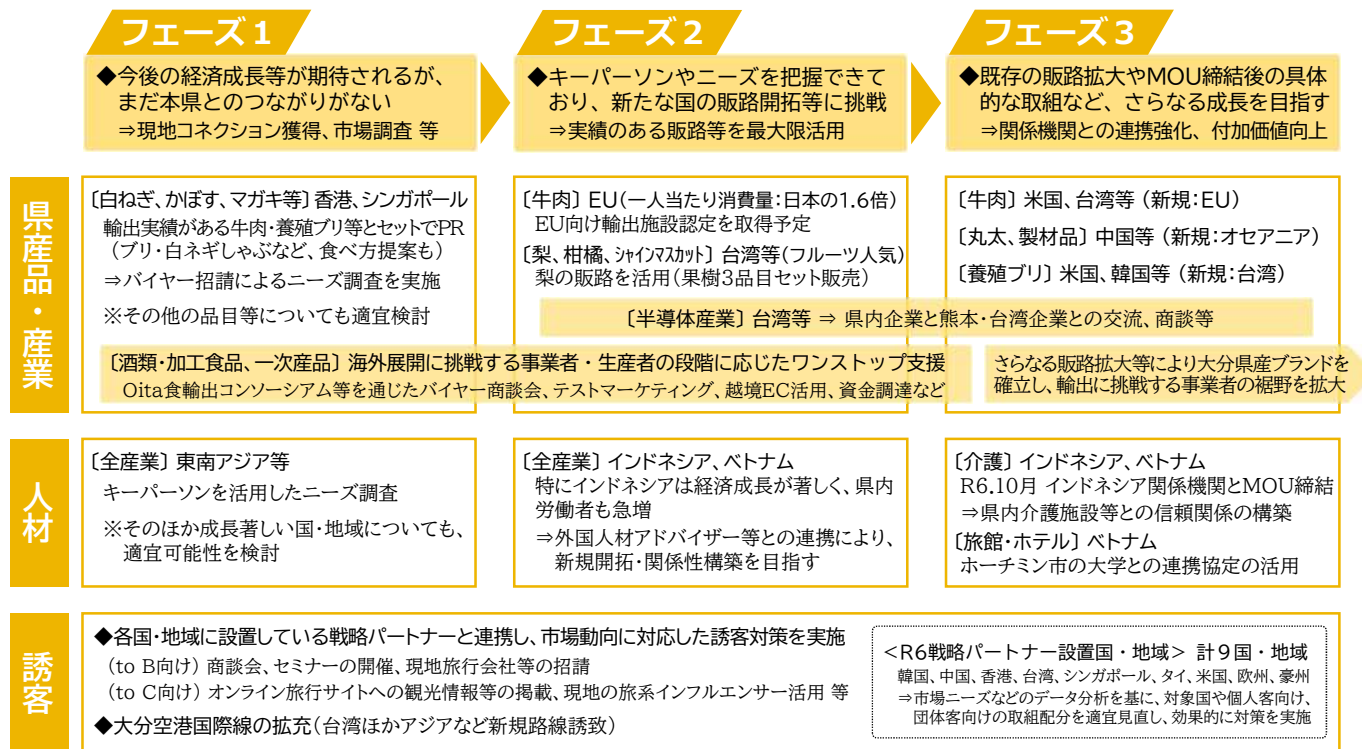
戦略4 国際交流とグローバル人材の育成・活用

- (1) 技術交流の推進
- (2) 芸術文化・スポーツ交流等の推進
- (3) 国際交流・国際貢献の推進
- (4) グローバル人材の育成・活用

5 ターゲット国・地域の基本的な考え方

- ・国・地域によって、市場ニーズや規制の状況は様々であり変動も激しいことから、各施策を実施するにあたっては、品目や産業など分野別にアプローチの手法を考えることが重要です。
- ・各国・地域の市場動向を的確に把握し、本県の分野ごとの強みや成長段階に応じたベストミックスにより戦略的に対策を実施していきます。

成長段階(フェーズ)に応じた分野別施策の組み合わせの例(主なもの)



6 関連する目標指標

本戦略に関連する大分県長期総合計画(安心・元気・未来創造ビジョン2024)の指標は以下のとおりです。

指 標 名	基準値	目標値				
	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	
県の施策により新たに海外取引を開始した企業数(社・累計)	10	20	31	43	56	
農林水産物の輸出額(億円)	48	57	57	59	61	
加工品の輸出額(億円)	10.1	11.4	11.9	12.4	12.9	
外国人宿泊客数(千人)	1,307	1,317	1,328	1,406	1,484	
外国人労働者数(人)	9,982	11,300	12,800	14,200	15,700	
特別の教育課程による日本語指導※1が必要な児童生徒のうち、当該指導を受けられている児童生徒の割合(%)	82.9	100	100	100	100	
日本語教室参加者数(人・累計)	160	340	540	760	1,000	

※1 学校生活を送る上で必要な挨拶や言葉、学習に必要なひらがな・カタカナの発音や表記、漢字の意味、文法などの日本語の指導を在籍学級以外の教室で行うこと。

大分県の国際交流・協力の現状

令和 7 年度版

(令和 8 年度発行)

編集・発行 大分県企画振興部国際政策課

〒870-8501 大分市大手町 3 丁目 1-1

Tel: 097-506-2046

e-mail: a10140@pref.oita.lg.jp